

第3 結婚・家族形成に関する調査（独身者調査）

調査結果詳細

【目次】

第3 結婚・家族形成に関する調査（独身者調査）	調査結果詳細.....	第3- 1
1 あなた自身について（属性）		第3- 1
2 結婚に対する考えについて		第3- 3
問1 将来の結婚意向		第3- 3
問2 結婚により得られるもの		第3- 8
問3 結婚したくない理由		第3- 12
問4 結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの		第3- 17
問5 今の社会は結婚しやすい社会だと思うか		第3- 23
問6 結婚しにくい社会だと思う理由		第3- 28
問7 行政が結婚を支援する施策を行うことについて		第3- 32
問8 結婚にかかわる支援で行政に期待すること		第3- 37
3 妊娠・出産に対する考えについて		第3- 41
問9 将来子どもを持ちたいか		第3- 41
問10 将来持ちたい子どもの数		第3- 41
問11 子どもを持ちたい理由		第3- 46
問12 女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えるか		第3- 52
問13 結婚しないまま子どもを持ちたいか		第3- 55
問14 結婚しないまま子どもを持ちたい理由		第3- 59
問15 子どもがいなくてもよい理由		第3- 60
問16 妊娠と年齢の関係の認知度		第3- 65
問17 妊娠と年齢の関係の認知手段		第3- 69
問18 身近な状況		第3- 72
問19 妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること		第3- 85
問20 ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度		第3- 91
問21 ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知手段		第3- 94
4 子育てに対する考えについて		第3- 95
問22 将来子育てをする上で不安なこと		第3- 95
問23 自分自身の仕事と結婚・子育てについての希望		第3-102
問24 将来のパートナー（配偶者）の仕事と結婚・子育てについての希望		第3-102
問25 家庭内での家事、育児、看護、介護の分担についての考え		第3-116
5 少子化対策について		第3-129
問26 少子化の要因		第3-129
問27 少子化対策としての重要度		第3-133
問28 少子化対策の各施策の取組状況		第3-134
問29 少子化対策関連の制度や事業の認知度		第3-139
問30 少子化対策として必要な経済的支援		第3-146
問31 行政施策に意見が反映されている実感		第3-154
問32 結婚、妊娠・出産、子育てや少子化対策への日頃の考えや行政に対する要望等		第3-159

6	子どもの未来について.....	第3-161
問33	子どもたちの10年後、20年後の未来.....	第3-161
問34	子どもたちの10年後、20年後の不安.....	第3-166

第3 結婚・家族形成に関する調査（独身者調査） 調査結果詳細

1 あなた自身について（属性）

- SC1 あなたの性別をお答えください。
 SC2 あなたの年齢をお答えください。
 SC3 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。
 SC4 あなたがお住まいの市町村をお答えください。
 SC5 あなたの職業をお答えください。
 SC6 あなたの年間収入を教えてください。

【性別】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	307 (43.9%)	390 (55.7%)	3 (0.4%)

【年齢】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	307 (100.0%)	390 (100.0%)	3 (100.0%)
20～24 歳	152 (21.7)	36 (11.7)	115 (29.5)	1 (33.3)
25～29 歳	201 (28.7)	65 (21.2)	134 (34.4)	2 (66.7)
30～34 歳	170 (24.3)	89 (29.0)	81 (20.8)	0 (-)
35～39 歳	177 (25.3)	117 (38.1)	60 (15.4)	0 (-)

【居住地域】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	307 (100.0%)	390 (100.0%)	3 (100.0%)
中部地域	248 (35.4)	114 (37.1)	134 (34.4)	0 (-)
西部地域	204 (29.1)	94 (30.6)	108 (27.7)	2 (66.7)
吾妻地域	14 (2.0)	6 (2.0)	8 (2.1)	0 (-)
利根沼田地域	29 (4.1)	15 (4.9)	14 (3.6)	0 (-)
東部地域	205 (29.3)	78 (25.4)	126 (32.3)	1 (33.3)

【職業】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	307 (100.0%)	390 (100.0%)	3 (100.0%)
正規雇用者（正規）	409 (58.4)	194 (63.2)	212 (54.4)	3 (100.0)
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	119 (17.0)	39 (12.7)	80 (20.5)	0 (-)
自営業（家族従業者含む）	18 (2.6)	11 (3.6)	7 (1.8)	0 (-)
学生	56 (8.0)	15 (4.9)	41 (10.5)	0 (-)
無職・家事	90 (12.9)	43 (14.0)	47 (12.1)	0 (-)
その他	8 (1.1)	5 (1.6)	3 (0.8)	0 (-)

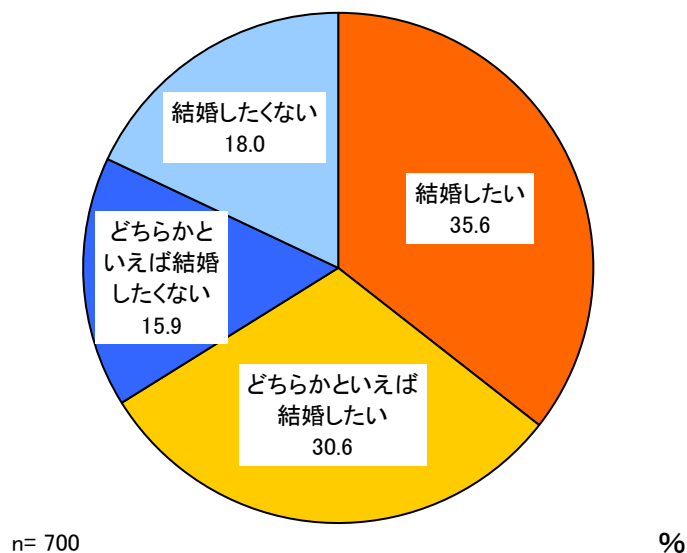
【年収】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	307 (100.0%)	390 (100.0%)	3 (100.0%)
収入なし	67 (9.6)	33 (10.7)	34 (8.7)	0 (-)
200 万円未満	206 (29.4)	68 (22.1)	138 (35.4)	0 (-)
200 万円～300 万円未満	163 (23.3)	47 (15.3)	115 (29.5)	1 (33.3)
300 万円～400 万円未満	131 (18.7)	67 (21.8)	63 (16.2)	1 (33.3)
400 万円～500 万円未満	75 (10.7)	50 (16.3)	24 (6.2)	1 (33.3)
500 万円以上	58 (8.3)	42 (13.7)	16 (4.1)	0 (-)

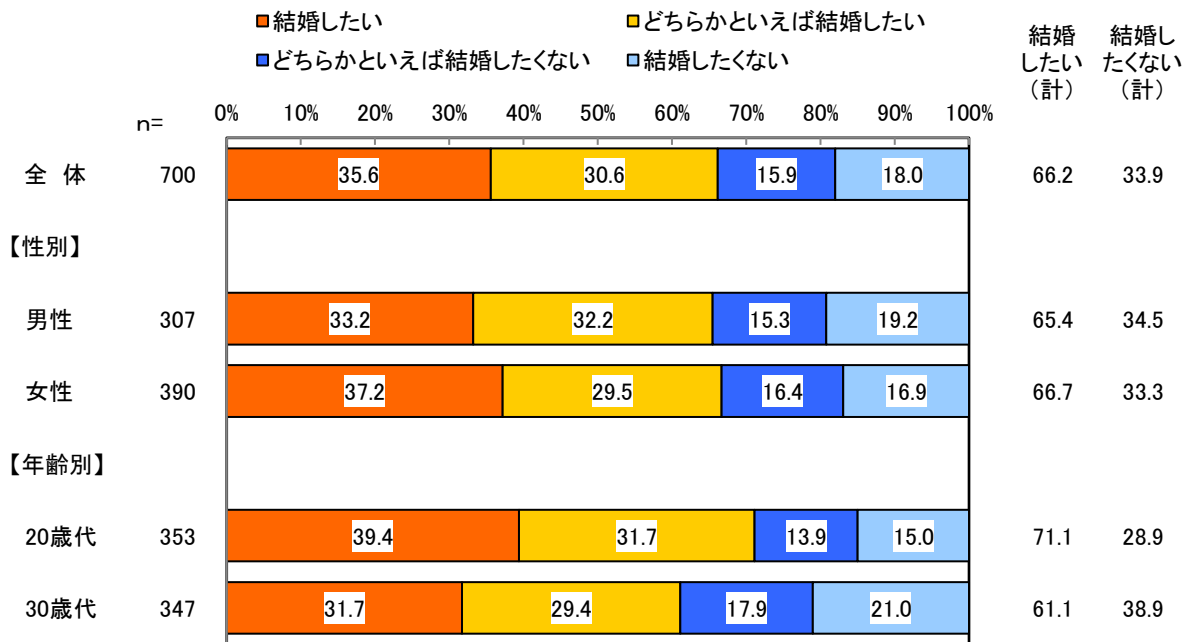
2 結婚に対する考えについて

問1 あなたは将来結婚したいと思いますか。

将来の結婚意向については、「結婚したい」が35.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば結婚したい」が30.6%、「結婚したくない」が18.0%となっている。「結婚したい（計）」（「結婚したい」と「どちらかといえば結婚したい」の合計）は66.2%、「結婚したくない（計）」（「どちらかといえば結婚したくない」と「結婚したくない」の合計）は33.9%となっている。



将来の結婚意向（性別、年齢別）



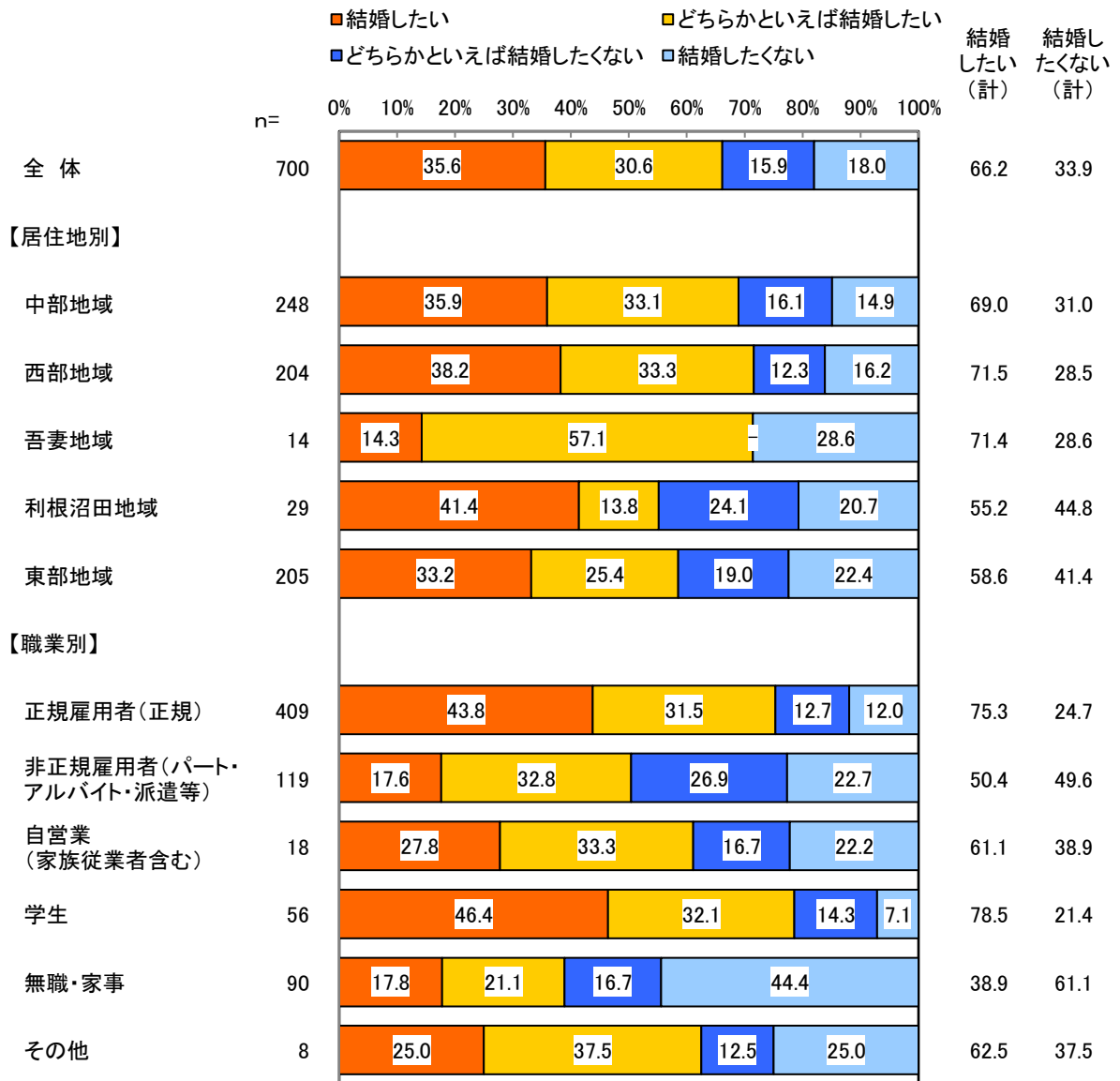
【性別】

性別で見ると、「結婚したい (計)」は男女間で差がないが、「結婚したい」は女性が男性よりも4.0ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「結婚したい (計)」は20歳代で71.1%と高くなっている。一方、30歳代では61.1%と低くなっている。

将来の結婚意向（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

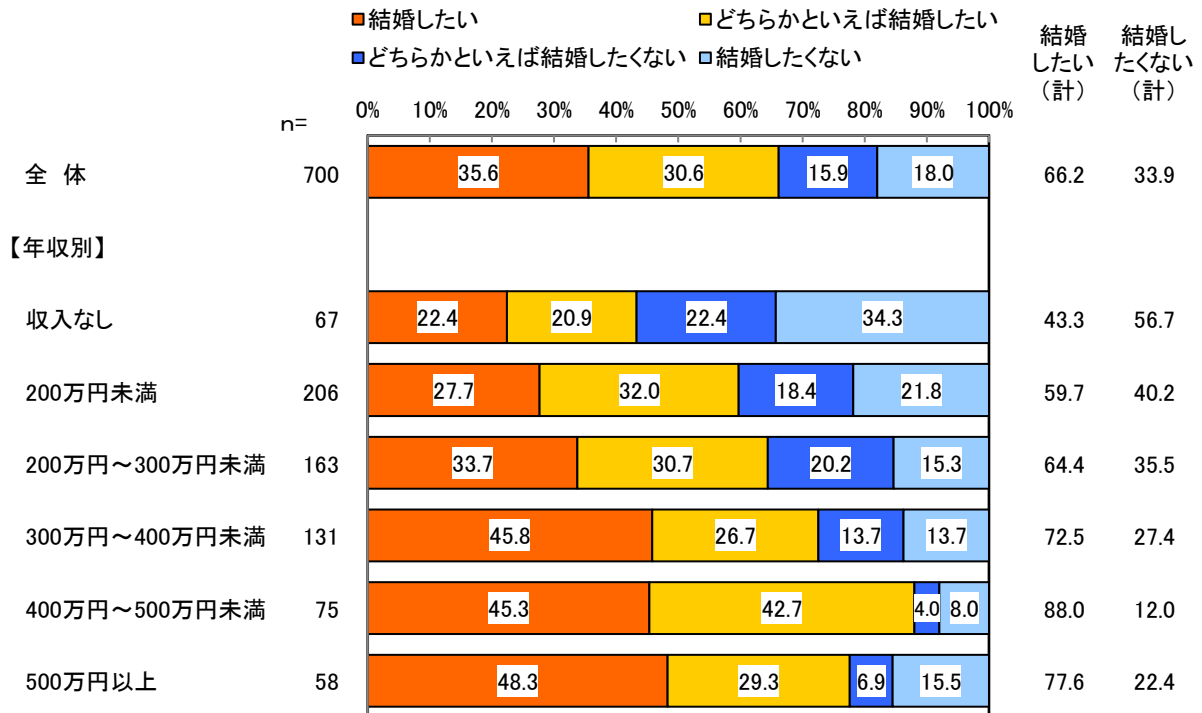
【居住地別】

居住地別でみると、「結婚したい（計）」は西部地域で71.5%と高くなっている。一方、利根沼田地域では55.2%、東部地域では58.6%と低くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「結婚したい（計）」は学生で78.5%、正規雇用者（正規）で75.3%と高くなっている。一方、無職・家事では38.9%、非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）では50.4%と低くなっている。

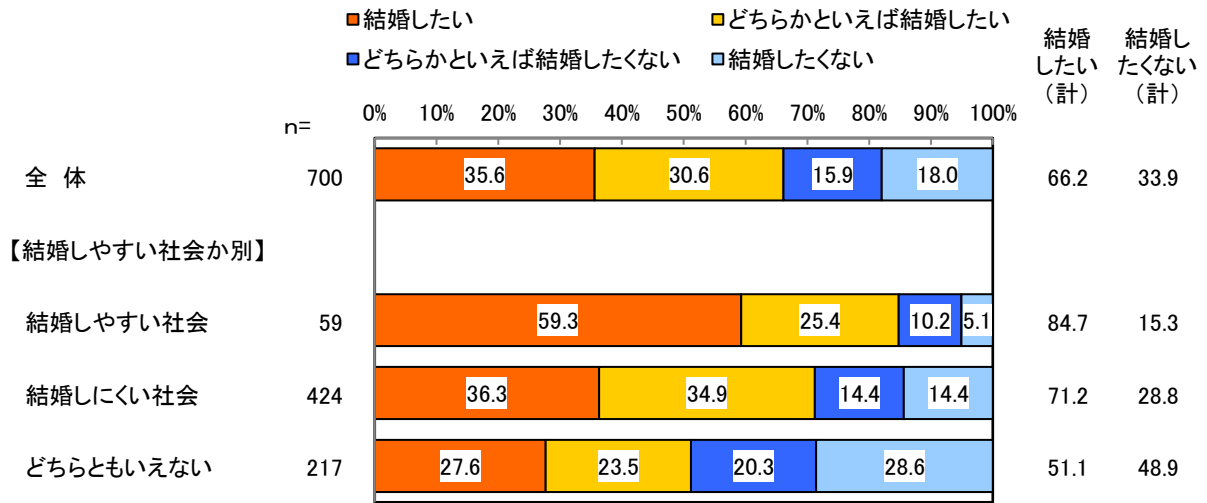
将来の結婚意向（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「結婚したい（計）」は500万円未満では年収が上がるほど高くなり、400～500万円未満で88.0%となっている。一方、収入なしでは43.3%と低くなっている。

将来の結婚意向（結婚しやすい社会か別）

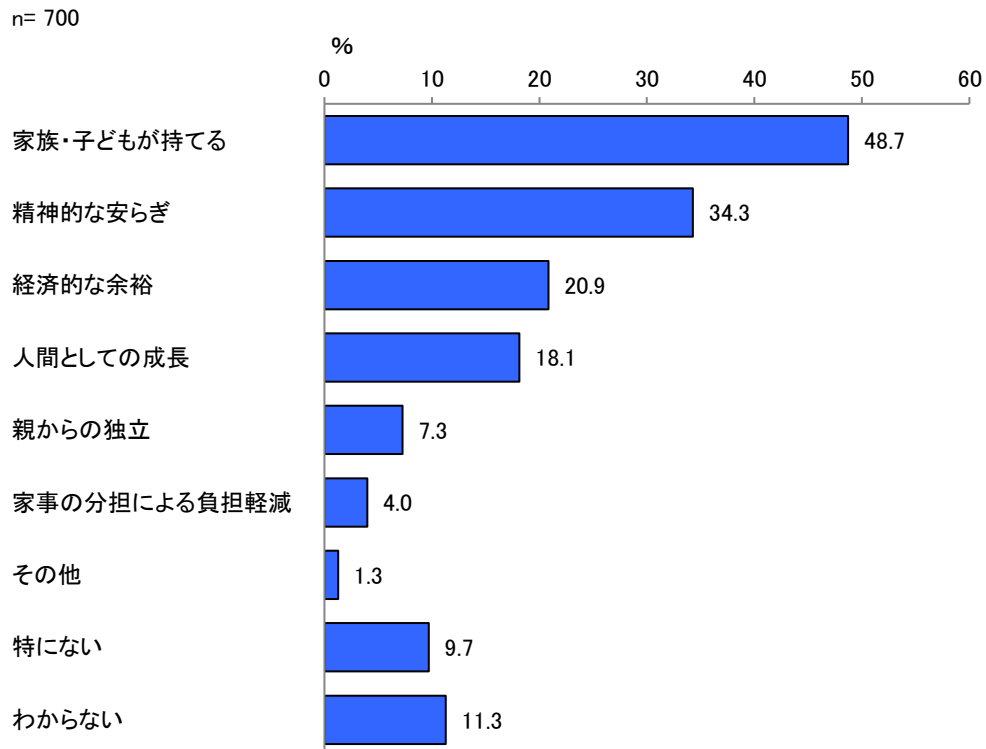


【結婚しやすい社会か別】

問5の結婚しやすい社会か別で見ると、「結婚したい（計）」は“結婚しやすい社会”で84.7%と高くなっている。一方、「どちらともいえない」では51.1%と低くなっている。

問2 結婚により得られるものは何だと思えますか。(回答は2つまで)

結婚により得られるものは、「家族・子どもが持てる」が48.7%で最も高く、次いで「精神的な安らぎ」が34.3%、「経済的な余裕」が20.9%となっている。



結婚により得られるもの（性別、年齢別、居住地別）

(%)

	n	家族・子どもが持てる	精神的な安らぎ	経済的な余裕	人間としての成長	親からの独立	家事の負担による負担軽減	その他	特になし	わからない
全体	700	48.7	34.3	20.9	18.1	7.3	4.0	1.3	9.7	11.3
【性別】										
男性	307	46.9	33.9	12.1	21.8	4.9	4.6	1.0	11.7	14.0
女性	390	50.0	34.6	27.7	15.4	9.2	3.3	1.5	8.2	9.2
【年齢別】										
20歳代	353	50.4	35.7	22.4	15.0	10.2	5.1	0.6	8.5	10.5
30歳代	347	47.0	32.9	19.3	21.3	4.3	2.9	2.0	11.0	12.1
【居住地別】										
中部地域	248	51.6	35.5	18.1	16.5	6.9	4.0	1.2	10.1	10.1
西部地域	204	45.6	39.2	21.1	20.6	6.9	2.9	1.0	10.8	10.3
吾妻地域	14	28.6	21.4	57.1	7.1	7.1	7.1	7.1	-	21.4
利根沼田地域	29	55.2	31.0	17.2	37.9	3.4	-	-	10.3	6.9
東部地域	205	48.8	29.3	22.0	15.6	8.8	5.4	1.5	8.8	13.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「経済的な余裕」が15.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「人間としての成長」が6.4ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「人間としての成長」は30歳代で21.3%と高くなっている。

【居住地別】

居住地別でみると、「家族・子どもが持てる」は利根沼田地域で55.2%、中部地域で51.6%と高くなっている。「精神的な安らぎ」は西部地域で39.2%と高くなっている。「人間としての成長」は利根沼田地域で37.9%と高くなっている。

結婚により得られるもの（職業別、年収別）

（%）

	n	家族・子どもが持てる	精神的な安らぎ	経済的な余裕	人間としての成長	親からの独立	家事的負担による負担軽減	その他	特にない	わからない
全体	700	48.7	34.3	20.9	18.1	7.3	4.0	1.3	9.7	11.3
【職業別】										
正規雇用者（正規）	409	54.0	37.9	18.1	19.8	5.9	4.6	1.2	8.1	8.1
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	119	47.1	32.8	28.6	14.3	6.7	0.8	0.8	10.9	14.3
自営業（家族従業者含む）	18	38.9	22.2	22.2	27.8	22.2	-	-	11.1	16.7
学生	56	60.7	28.6	32.1	21.4	7.1	10.7	-	3.6	7.1
無職・家事	90	21.1	25.6	16.7	12.2	11.1	2.2	2.2	20.0	23.3
その他	8	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5
【年収別】										
収入なし	67	28.4	22.4	16.4	13.4	10.4	3.0	-	13.4	31.3
200万円未満	206	46.6	28.6	25.7	18.4	7.3	4.4	1.9	11.2	10.2
200万円～300万円未満	163	48.5	34.4	27.6	14.1	9.2	3.1	0.6	9.8	10.4
300万円～400万円未満	131	53.4	42.7	16.0	20.6	9.9	3.8	1.5	7.6	7.6
400万円～500万円未満	75	61.3	41.3	14.7	25.3	1.3	6.7	1.3	4.0	5.3
500万円以上	58	53.4	39.7	8.6	19.0	-	3.4	1.7	12.1	10.3

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「家族・子どもが持てる」は学生で60.7%、正規雇用者（正規）で54.0%と高くなっている。「精神的な安らぎ」は正規雇用者（正規）で37.9%と高くなっている。「経済的な余裕」は学生で32.1%、非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で28.6%と高くなっている。

【年収別】

年収別でみると、300万円以上で「家族・子どもが持てる」が5割以上、「精神的な安らぎ」が4割前後と高くなっている。一方、「経済的な余裕」は200万円未満で25.7%、200万円～300万円未満で27.6%と高くなっている。

結婚により得られるもの（将来の結婚意向別）

(%)

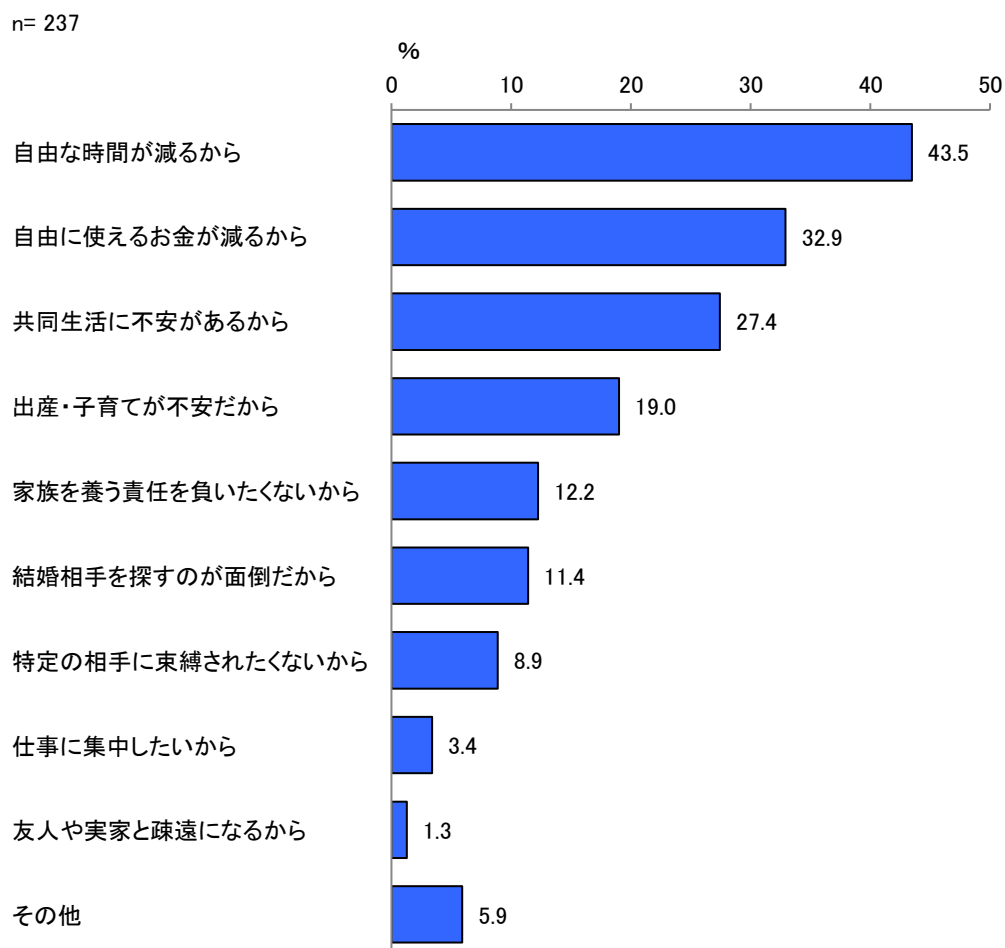
	n	家族・子どもが持てる	精神的な安らぎ	経済的な余裕	人間としての成長	親からの独立	家事の負担による負担軽減	その他	特になし	わからない
全体	700	48.7	34.3	20.9	18.1	7.3	4.0	1.3	9.7	11.3
【将来の結婚意向別】										
結婚したい	249	63.1	46.2	23.3	24.1	8.0	2.8	0.8	0.8	5.2
どちらかといえば結婚したい	214	51.9	40.2	23.8	15.9	8.4	5.6	1.9	6.1	7.0
どちらかといえば結婚したくない	111	37.8	19.8	20.7	19.8	6.3	5.4	1.8	17.1	13.5
結婚したくない	126	24.6	13.5	11.1	8.7	4.8	2.4	0.8	27.0	28.6

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、「家族・子どもが持てる」は結婚意向が高いほど高く、「結婚したい」で63.1%となっている。「精神的な安らぎ」も同様の傾向がみられ、「結婚したい」で46.2%となっている。一方、「特になし」や「わからない」は結婚意向が低いほど高くなっている。

【問1で「どちらかといえば結婚したくない」「結婚したくない」を選んだ方のみにお聞きします。】
問3 「結婚したくない」と思う理由は何ですか。(回答は2つまで)

「結婚したくない」と思う理由は、「自由な時間が減るから」が43.5%で最も高く、次いで「自由に使えるお金が減るから」が32.9%、「共同生活に不安があるから」が27.4%となっている。



結婚したくない理由（性別、年齢別）

(%)

	n	自由な時間が減るから	自由に使えるお金が減るから	共同生活に不安があるから	出産・子育てが不安だから	家族を養う責任を負いたくないから
全体	237	43.5	32.9	27.4	19.0	12.2
【性別】						
男性	106	45.3	34.0	22.6	13.2	17.9
女性	130	42.3	31.5	31.5	23.8	7.7
【年齢別】						
20歳代	102	44.1	36.3	23.5	22.5	7.8
30歳代	135	43.0	30.4	30.4	16.3	15.6

(%)

	n	結婚相手を探すのが面倒だから	特定の相手に束縛されたくないから	仕事に集中したいから	友人や実家と疎遠になるから	その他
全体	237	11.4	8.9	3.4	1.3	5.9
【性別】						
男性	106	11.3	5.7	4.7	2.8	4.7
女性	130	11.5	10.8	2.3	-	6.9
【年齢別】						
20歳代	102	8.8	14.7	3.9	-	5.9
30歳代	135	13.3	4.4	3.0	2.2	5.9

【性別】

性別でみると、男性は女性よりも「家族を養う責任を負いたくないから」が10.2ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「出産・子育てが不安だから」が10.6ポイント、「共同生活に不安があるから」が8.9ポイント、「特定の相手に束縛されたくないから」が5.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「自由に使えるお金が減るから」は20歳代で36.3%、「出産・子育てが不安だから」も20歳代で22.5%と高くなっている。一方、「共同生活に不安があるから」は30歳代で30.4%と高くなっている。

結婚したくない理由（居住地別）

(%)

	n	自由な時間が減るから	自由に使えるお金が減るから	共同生活に不安があるから	出産・子育てが不安だから	家族を養う責任を負いたくないから
全体	237	43.5	32.9	27.4	19.0	12.2
【居住地別】						
中部地域	77	48.1	27.3	35.1	16.9	10.4
西部地域	58	39.7	50.0	15.5	17.2	8.6
吾妻地域	4	-	-	50.0	50.0	50.0
利根沼田地域	13	15.4	38.5	30.8	30.8	15.4
東部地域	85	48.2	27.1	27.1	18.8	14.1

(%)

	n	結婚相手を探すのが面倒だから	特定の相手に束縛されたくないから	仕事に集中したいから	友人や実家と疎遠になるから	その他
全体	237	11.4	8.9	3.4	1.3	5.9
【居住地別】						
中部地域	77	15.6	9.1	2.6	1.3	3.9
西部地域	58	6.9	10.3	5.2	3.4	6.9
吾妻地域	4	-	25.0	-	-	-
利根沼田地域	13	23.1	-	7.7	-	-
東部地域	85	9.4	8.2	2.4	-	8.2

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「自由な時間が減るから」は東部地域で48.2%、中部地域で48.1%と高くなっている。「自由に使えるお金が減るから」は西部地域で50.0%と高くなっている。「共同生活に不安があるから」は中部地域で35.1%と高くなっている。

結婚したくない理由（職業別）

(%)

	n	自由な時間が減るから	自由に使えるお金が減るから	共同生活に不安があるから	出産・子育てが不安だから	家族を養う責任を負いたくないから
全体	237	43.5	32.9	27.4	19.0	12.2
【職業別】						
正規雇用者(正規)	101	47.5	33.7	30.7	17.8	5.0
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	59	39.0	35.6	27.1	23.7	20.3
自営業(家族従業者含む)	7	28.6	42.9	28.6	14.3	-
学生	12	58.3	41.7	33.3	25.0	8.3
無職・家事	55	40.0	25.5	21.8	14.5	20.0
その他	3	33.3	33.3	-	33.3	-

(%)

	n	結婚相手を探すのが面倒だから	特定の相手に束縛されたくないから	仕事に集中したいから	友人や実家と疎遠になるから	その他
全体	237	11.4	8.9	3.4	1.3	5.9
【職業別】						
正規雇用者(正規)	101	10.9	11.9	4.0	2.0	4.0
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	59	15.3	6.8	3.4	-	5.1
自営業(家族従業者含む)	7	42.9	-	14.3	-	-
学生	12	-	8.3	8.3	-	8.3
無職・家事	55	7.3	7.3	-	1.8	7.3
その他	3	-	-	-	-	66.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「自由な時間が減るから」は正規雇用者（正規）で47.5%と高くなっている。「出産・子育てが不安だから」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で23.7%と高く、「家族を養う責任を負いたくないから」も非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で20.3%、無職・家事で20.0%と高くなっている。

結婚したくない理由（年収別）

(%)

	n	自由な時間が減るから	自由に使えるお金が減るから	共同生活に不安があるから	出産・子育てが不安だから	家族を養う責任を負いたくないから
全体	237	43.5	32.9	27.4	19.0	12.2
【年収別】						
収入なし	38	23.7	21.1	28.9	21.1	26.3
200万円未満	83	41.0	31.3	25.3	22.9	12.0
200万円～300万円未満	58	55.2	43.1	22.4	17.2	10.3
300万円～400万円未満	36	44.4	36.1	41.7	13.9	5.6
400万円～500万円未満	9	44.4	22.2	33.3	11.1	-
500万円以上	13	61.5	30.8	15.4	15.4	7.7

(%)

	n	結婚相手を探すのが面倒だから	特定の相手に束縛されたくないから	仕事に集中したいから	友人や実家と疎遠になるから	その他
全体	237	11.4	8.9	3.4	1.3	5.9
【年収別】						
収入なし	38	5.3	7.9	-	2.6	5.3
200万円未満	83	13.3	8.4	2.4	2.4	9.6
200万円～300万円未満	58	12.1	12.1	1.7	-	-
300万円～400万円未満	36	16.7	5.6	2.8	-	5.6
400万円～500万円未満	9	-	22.2	11.1	-	11.1
500万円以上	13	7.7	-	23.1	-	7.7

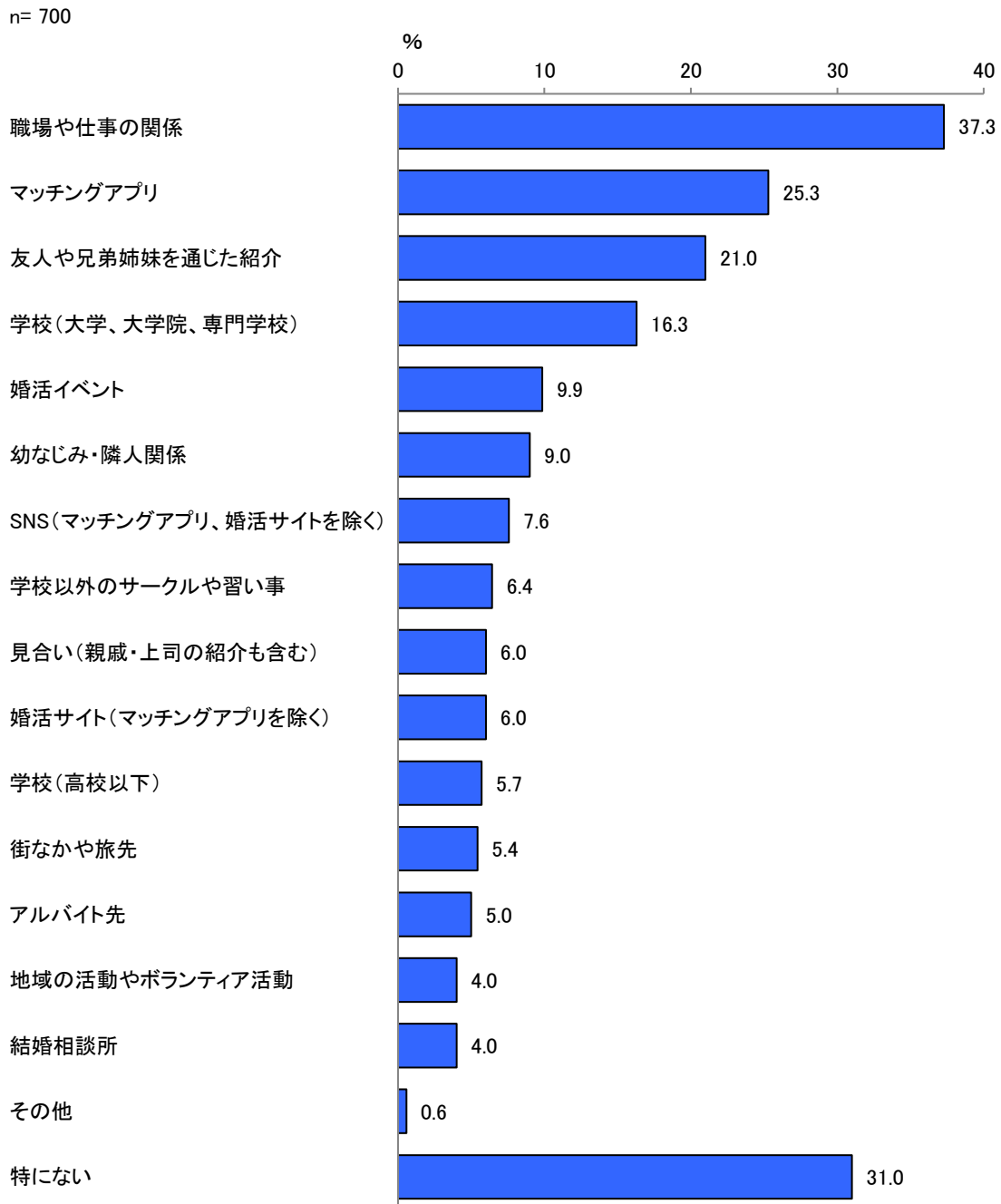
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【年収別】

年収別でみると、「自由な時間が減るから」は200万円～300万円未満で55.2%と高く、「自由に使えるお金が減るから」も200万円～300万円未満で43.1%と高くなっている。「共同生活に不安があるから」は300万円～400万円未満で41.7%と高くなっている。「家族を養う責任を負いたくないから」は収入なしで26.3%と高くなっている。

問4 結婚相手と知り合うきっかけとして期待するものはどのようなことですか。(回答は3つまで)

結婚相手と知り合うきっかけとして期待するものは「職場や仕事の関係」が37.3%で最も高く、次いで「特にない」が31.0%、「マッチングアプリ」が25.3%となっている。



結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの（性別、年齢別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	婚活イベント	幼なじみ・隣人関係	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	学校以外のサークルや習い事	見合い(親戚・上司の紹介も含む)
全体	700	37.3	25.3	21.0	16.3	9.9	9.0	7.6	6.4	6.0
【性別】										
男性	307	33.6	26.1	20.8	11.4	11.1	7.2	9.1	3.9	8.1
女性	390	39.7	24.6	21.0	20.0	9.0	10.0	6.4	8.5	4.4
【年齢別】										
20歳代	353	42.2	29.7	24.9	23.2	5.9	12.5	8.2	7.1	4.2
30歳代	347	32.3	20.7	17.0	9.2	13.8	5.5	6.9	5.8	7.8

(%)

	n	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	学校(高校以下)	街なかや旅先	アルバイト先	地域の活動やボランティア活動	結婚相談所	その他	特にない
全体	700	6.0	5.7	5.4	5.0	4.0	4.0	0.6	31.0
【性別】									
男性	307	6.8	5.2	6.5	2.9	4.9	5.2	0.3	32.2
女性	390	5.4	6.2	4.6	6.7	3.3	3.1	0.8	30.3
【年齢別】									
20歳代	353	4.8	6.8	3.4	7.4	2.8	2.3	0.3	24.9
30歳代	347	7.2	4.6	7.5	2.6	5.2	5.8	0.9	37.2

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「学校（大学、大学院、専門学校）」が8.6ポイント、「職場や仕事の関係」が6.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、20歳代で「職場や仕事の関係」が42.2%、「マッチングアプリ」が29.7%、「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」が24.9%、「学校（大学、大学院、専門学校）」が23.2%と高くなっている。一方、「特にない」は30歳代で37.2%と高くなっている。

結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの（居住地別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	婚活イベント	幼なじみ・隣人関係	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	学校以外のサークルや習い事	見合い(親戚・上司の紹介も含む)
全体	700	37.3	25.3	21.0	16.3	9.9	9.0	7.6	6.4	6.0
【居住地別】										
中部地域	248	34.7	27.0	22.2	16.9	7.7	8.1	7.3	6.0	6.0
西部地域	204	42.6	26.5	22.5	17.6	11.8	10.8	8.8	6.9	5.9
吾妻地域	14	57.1	21.4	14.3	7.1	-	14.3	-	-	21.4
利根沼田地域	29	48.3	13.8	17.2	27.6	10.3	17.2	3.4	6.9	3.4
東部地域	205	32.2	23.9	19.0	13.2	11.2	6.8	7.8	6.8	5.4

(%)

	n	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	学校(高校以下)	街なかや旅先	アルバイト先	地域の活動やボランティア活動	結婚相談所	その他	特にない
全体	700	6.0	5.7	5.4	5.0	4.0	4.0	0.6	31.0
【居住地別】									
中部地域	248	4.4	7.7	3.2	6.9	2.8	2.8	-	32.3
西部地域	204	6.9	5.4	6.4	3.4	3.9	4.9	1.5	24.0
吾妻地域	14	14.3	-	7.1	7.1	7.1	-	-	28.6
利根沼田地域	29	-	3.4	17.2	6.9	10.3	3.4	-	27.6
東部地域	205	7.3	4.4	5.4	3.9	4.4	4.9	0.5	37.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「職場や仕事の関係」は利根沼田地域で48.3%、西部地域で42.6%と高く、「学校(大学、大学院、専門学校)」も利根沼田地域で27.6%と高くなっている。一方、「特にない」は東部地域で37.1%と高くなっている。

結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの（職業別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	婚活イベント	幼なじみ・隣人関係	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	学校以外のサークルや習い事	見合い(親戚・上司の紹介も含む)
全体	700	37.3	25.3	21.0	16.3	9.9	9.0	7.6	6.4	6.0
【職業別】										
正規雇用者(正規)	409	41.6	31.8	25.2	15.6	12.2	8.6	7.6	6.6	7.3
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	29.4	18.5	16.0	6.7	11.8	9.2	8.4	6.7	6.7
自営業(家族従業者含む)	18	55.6	16.7	38.9	16.7	-	11.1	16.7	11.1	-
学生	56	51.8	23.2	17.9	55.4	1.8	14.3	5.4	10.7	1.8
無職・家事	90	16.7	8.9	7.8	7.8	4.4	6.7	5.6	1.1	3.3
その他	8	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-

(%)

	n	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	学校(高校以下)	街なかや旅先	アルバイト先	地域の活動やボランティア活動	結婚相談所	その他	特にない
全体	700	6.0	5.7	5.4	5.0	4.0	4.0	0.6	31.0
【職業別】									
正規雇用者(正規)	409	7.1	5.4	6.6	2.9	5.4	4.4	0.2	23.5
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	7.6	5.0	5.9	7.6	3.4	5.0	1.7	40.3
自営業(家族従業者含む)	18	-	5.6	5.6	11.1	-	-	-	27.8
学生	56	-	10.7	-	16.1	-	1.8	-	14.3
無職・家事	90	4.4	3.3	3.3	3.3	2.2	3.3	-	63.3
その他	8	-	25.0	-	-	-	-	12.5	37.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「学校(大学、大学院、専門学校)」は学生で55.4%と高く、「職場や仕事の関係」も学生で51.8%と高くなっている。「マッチングアプリ」は正規雇用者(正規)で31.8%と高くなっている。一方、「特にない」は無職・家事で63.3%と高くなっている。

結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの（年収別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	婚活イベント	幼なじみ・隣人関係	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	学校以外のサークルや習い事	見合い(親戚・上司の紹介も含む)
全体	700	37.3	25.3	21.0	16.3	9.9	9.0	7.6	6.4	6.0
【年収別】										
収入なし	67	16.4	10.4	7.5	13.4	6.0	7.5	4.5	4.5	3.0
200万円未満	206	36.9	19.9	18.4	19.4	6.8	11.2	7.3	7.3	5.3
200万円～300万円未満	163	41.7	28.8	19.6	16.6	8.0	11.7	7.4	7.4	8.6
300万円～400万円未満	131	47.3	28.2	31.3	15.3	11.5	8.4	6.1	9.2	4.6
400万円～500万円未満	75	34.7	33.3	22.7	16.0	18.7	5.3	9.3	2.7	8.0
500万円以上	58	31.0	34.5	24.1	10.3	15.5	1.7	13.8	1.7	5.2

(%)

	n	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	学校(高校以下)	街なかや旅先	アルバイト先	地域の活動やボランティア活動	結婚相談所	その他	特にない
全体	700	6.0	5.7	5.4	5.0	4.0	4.0	0.6	31.0
【年収別】									
収入なし	67	1.5	3.0	3.0	4.5	3.0	4.5	-	59.7
200万円未満	206	4.4	6.3	2.9	9.2	3.9	3.4	1.0	34.5
200万円～300万円未満	163	7.4	6.7	6.7	3.1	3.1	2.5	0.6	28.2
300万円～400万円未満	131	5.3	4.6	6.1	3.1	5.3	3.1	-	22.1
400万円～500万円未満	75	9.3	9.3	4.0	4.0	2.7	6.7	1.3	22.7
500万円以上	58	10.3	1.7	13.8	1.7	6.9	8.6	-	24.1

【年収別】

年収別で見ると、「職場や仕事の関係」は300万円～400万円未満で47.3%と高く、「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」も300万円～400万円未満で31.3%と高くなっている。「マッチングアプリ」は年収が上がるほど高くなる傾向がみられ、500万円以上で34.5%となっている。一方、「特にない」は収入なしで59.7%と高くなっている。

結婚相手と知り合うきっかけとして期待するもの（結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	マッチングアプリ	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	婚活イベント	幼なじみ・隣人関係	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	学校以外のサークルや習い事	見合い(親戚・上司の紹介も含む)
全体	700	37.3	25.3	21.0	16.3	9.9	9.0	7.6	6.4	6.0
【結婚しやすい社会か別】										
結婚しやすい社会	59	28.8	33.9	25.4	16.9	11.9	8.5	8.5	6.8	6.8
結婚しにくい社会	424	42.9	29.7	23.1	19.1	11.1	11.1	7.8	7.8	7.3
どちらともいえない	217	28.6	14.3	15.7	10.6	6.9	5.1	6.9	3.7	3.2

(%)

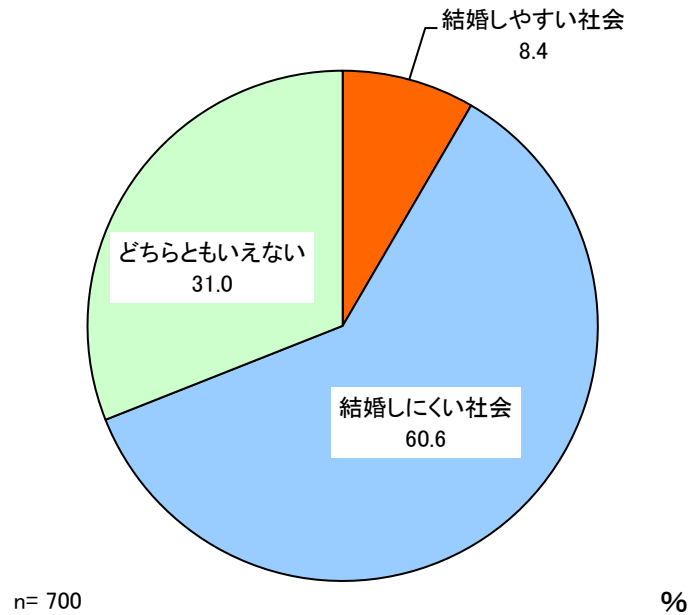
	n	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	学校(高校以下)	街なかや旅先	アルバイト先	地域の活動やボランティア活動	結婚相談所	その他	特にない
全体	700	6.0	5.7	5.4	5.0	4.0	4.0	0.6	31.0
【結婚しやすい社会か別】									
結婚しやすい社会	59	10.2	6.8	3.4	5.1	-	8.5	-	23.7
結婚しにくい社会	424	6.6	6.8	6.6	4.5	5.2	4.5	0.5	22.9
どちらともいえない	217	3.7	3.2	3.7	6.0	2.8	1.8	0.9	48.8

【結婚しやすい社会か別】

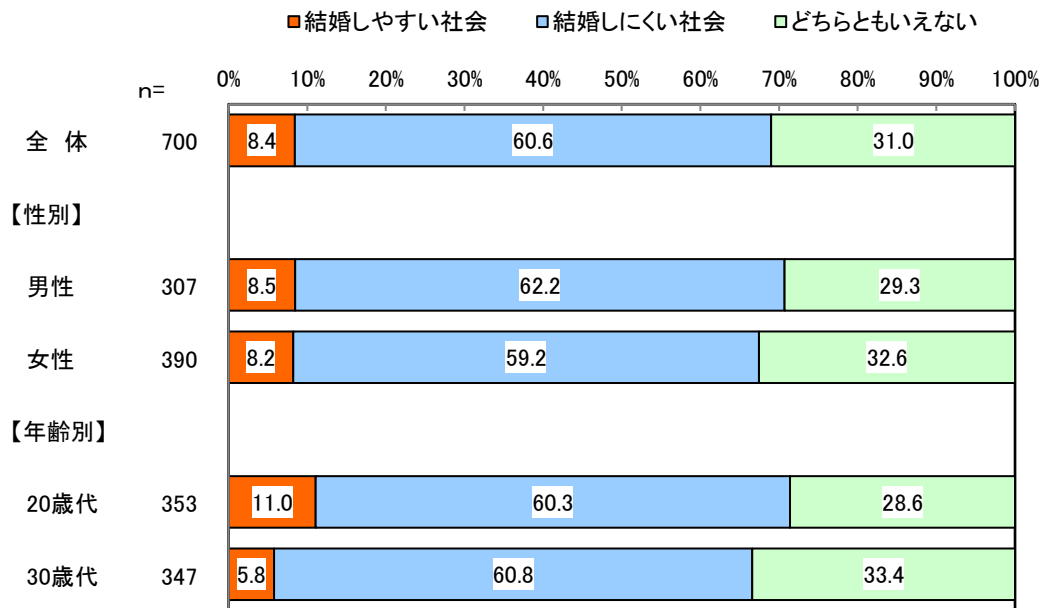
問5の結婚しやすい社会か別でみると、「職場や仕事の関係」は“結婚しにくい社会”で42.9%と高くなっている。一方、「マッチングアプリ」は“結婚しやすい社会”で33.9%と高くなっている。

問5 今の社会は結婚しやすい社会だと思いますか。

今の社会は結婚しやすい社会だと思うかは、「結婚しにくい社会」が60.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.0%、「結婚しやすい社会」が8.4%となっている。



今の社会は結婚しやすい社会だと思うか（性別、年齢別）



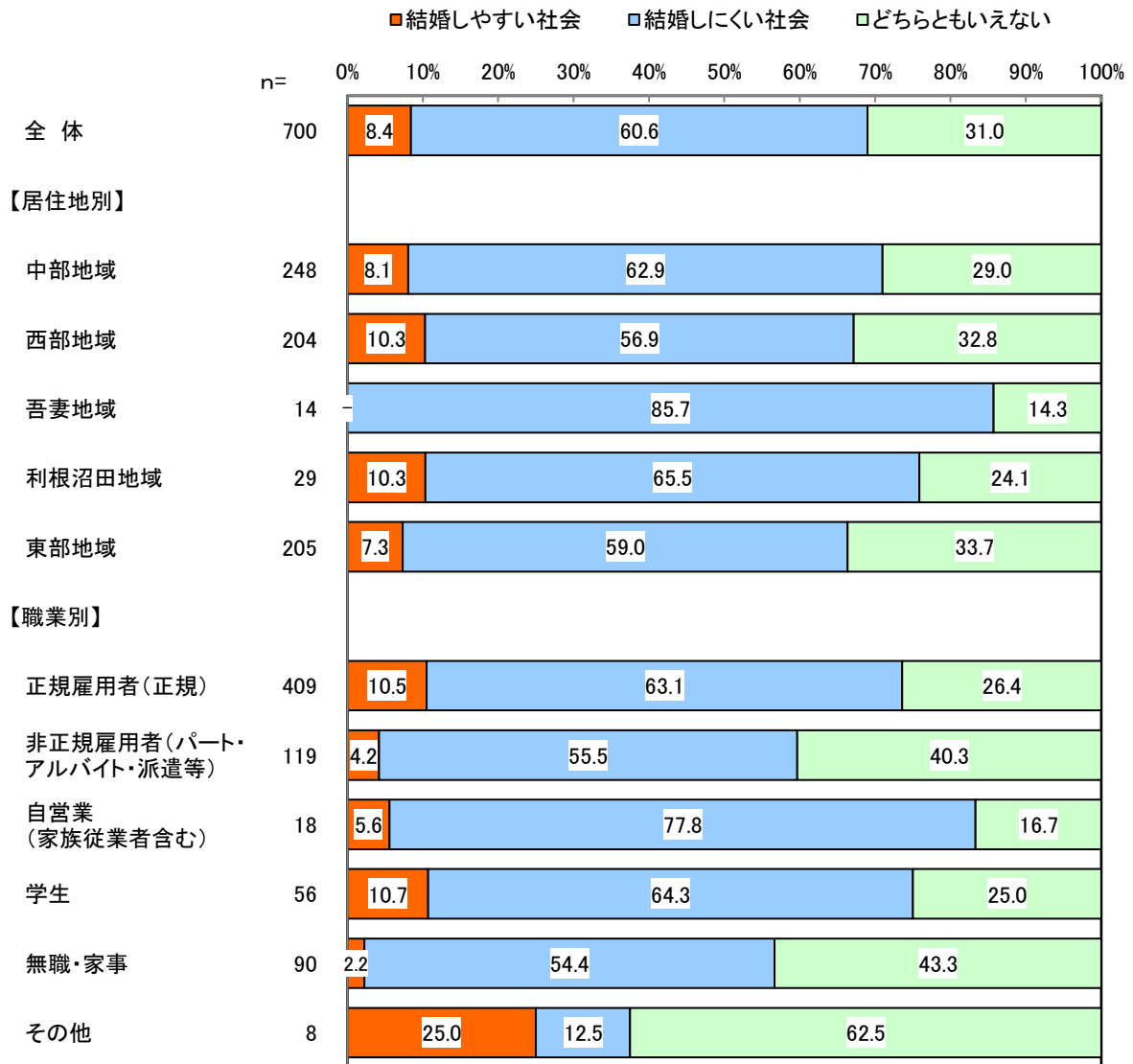
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「結婚しやすい社会」は20歳代で11.0%とやや高くなっている。一方、30歳代では5.8%と低くなっている。

今の社会は結婚しやすい社会だと思うか（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

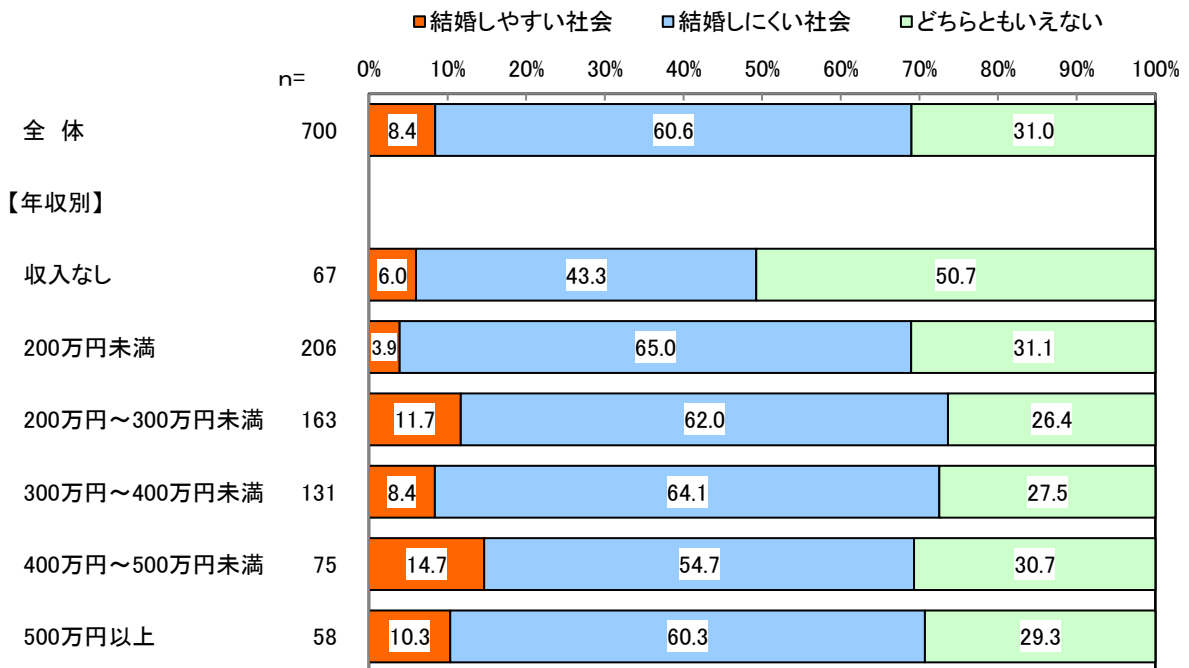
【居住地別】

居住地別でみると、「結婚しにくい社会」は利根沼田地域で65.5%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、正規雇用者（正規）と学生は「どちらともいえない」が低く、「結婚しにくい社会」や「結婚しやすい社会」が他の層よりも高くなっている。

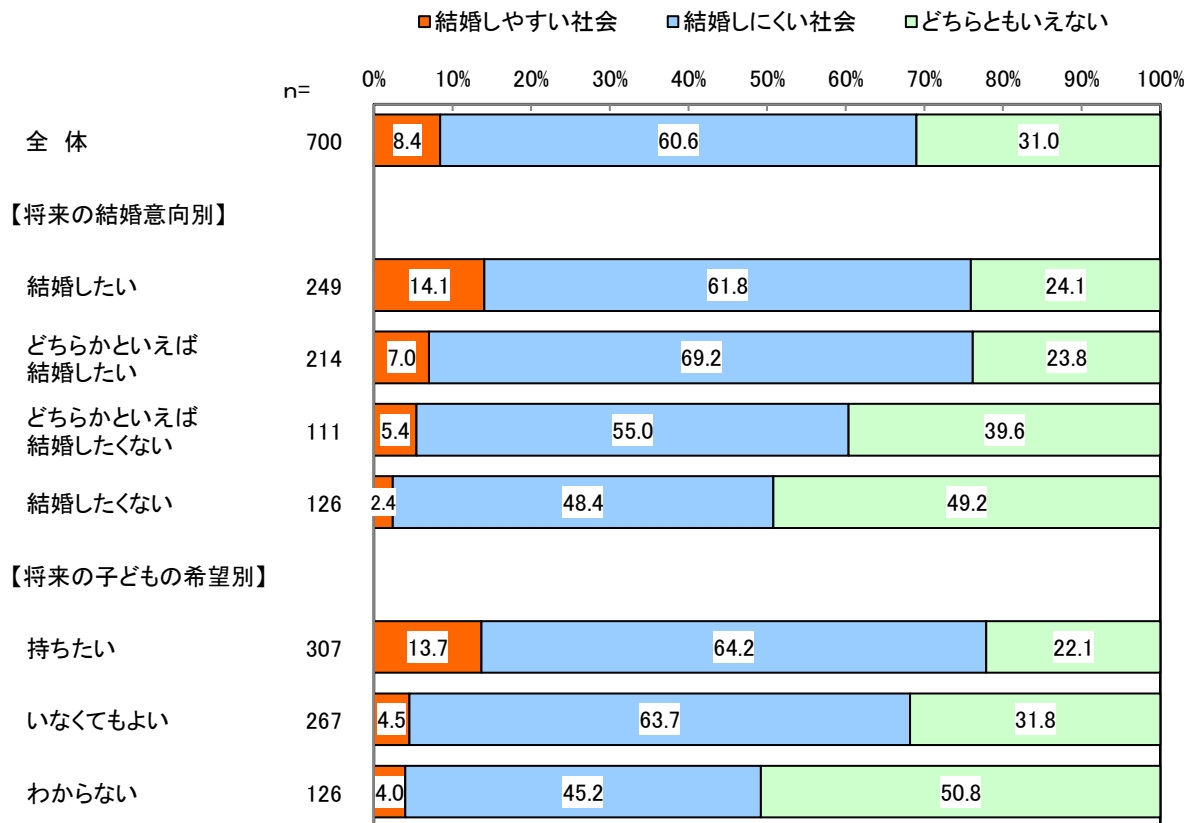
今の社会は結婚しやすい社会だと思うか（年収別）



【年収別】

年収別でみると、「結婚しやすい社会」は400万円～500万円ですべて14.7%とやや高くなっている。一方、200万円未満は「結婚しやすい社会」が3.9%と特に低く、「結婚しにくい社会」が65.0%と高くなっている。

今の社会は結婚しやすい社会だと思うか（将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別）



【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、「結婚しやすい社会」は結婚意向が高いほど高く、「結婚したい」で14.1%となっている。一方、「結婚したくない」では2.4%と低くなっている。

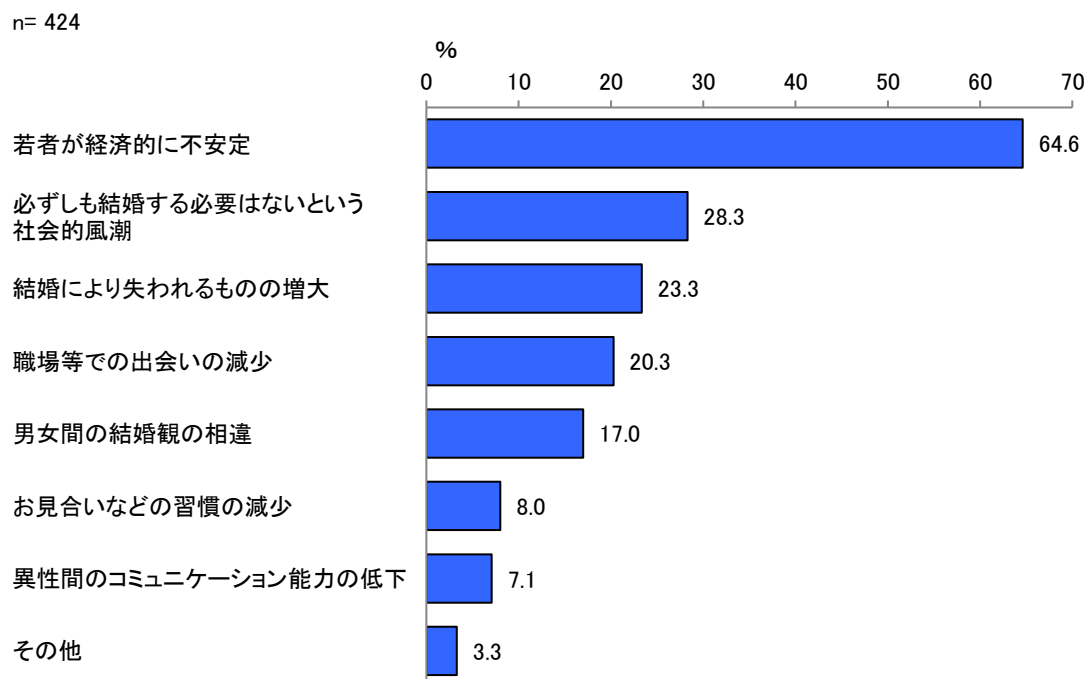
【将来の子どもの希望別】

問9 将来の子どもの希望別でみると、「結婚しやすい社会」は“持ちたい”で13.7%とやや高くなっている。

【問5で「結婚しにくい社会」を選んだ方のみにお聞きします。】

問6 その理由について、どのようにお考えですか。(回答は2つまで)

結婚しにくい社会だと思う理由は、「若者が経済的に不安定」が64.6%で最も高く、次いで「必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮」が28.3%、「結婚により失われるものの増大」が23.3%となっている。



結婚しにくい社会だと思う理由（性別、年齢別、居住地別）

(%)

	n	若者が経済的に不安定	必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮	結婚により失われるものの増大	職場等での出会いの減少	男女間の結婚観の相違	お見合いなどの習慣の減少	異性間のコミュニケーション能力の低下	その他
全体	424	64.6	28.3	23.3	20.3	17.0	8.0	7.1	3.3
【性別】									
男性	191	72.8	26.2	18.8	19.9	15.7	8.4	6.8	3.7
女性	231	57.6	30.3	26.8	20.8	18.2	7.8	7.4	3.0
【年齢別】									
20歳代	213	64.8	31.0	24.9	20.2	20.7	6.1	3.8	2.8
30歳代	211	64.5	25.6	21.8	20.4	13.3	10.0	10.4	3.8
【居住地別】									
中部地域	156	61.5	27.6	19.9	25.0	15.4	8.3	6.4	1.9
西部地域	116	71.6	26.7	23.3	16.4	18.1	9.5	6.9	3.4
吾妻地域	12	83.3	-	8.3	41.7	8.3	8.3	16.7	8.3
利根沼田地域	19	63.2	52.6	10.5	21.1	15.8	10.5	5.3	5.3
東部地域	121	60.3	29.8	31.4	15.7	19.0	5.8	7.4	4.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別でみると、男性は女性よりも「若者が経済的に不安定」が15.2ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「結婚により失われるものの増大」が8.0ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると「必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮」は20歳代で31.0%と高く、「男女間の結婚観の相違」も20歳代で20.7%と高くなっている。

【居住地別】

居住地別でみると、「若者が経済的に不安定」は西部地域で71.6%と高くなっている。「結婚により失われるものの増大」は東部地域で31.4%と高くなっている。

結婚しにくい社会だと思う理由（職業別、年収別）

(%)

	n	若者が経済的に不安定	必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮	結婚により失われるものの増大	職場等での出会いの減少	男女間の結婚観の相違	お見合いなどの習慣の減少	異性間のコミュニケーション能力の低下	その他
全体	424	64.6	28.3	23.3	20.3	17.0	8.0	7.1	3.3
【職業別】									
正規雇用者(正規)	258	62.4	27.1	21.3	24.8	17.4	10.1	5.8	3.5
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	66	78.8	24.2	27.3	13.6	18.2	-	12.1	-
自営業(家族従業員含む)	14	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	14.3
学生	36	63.9	33.3	27.8	13.9	19.4	5.6	11.1	2.8
無職・家事	49	61.2	36.7	22.4	12.2	12.2	10.2	4.1	4.1
その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
【年収別】									
収入なし	29	58.6	44.8	13.8	6.9	17.2	6.9	3.4	6.9
200万円未満	134	64.2	26.1	27.6	14.9	20.1	4.5	11.2	3.0
200万円～300万円未満	101	66.3	27.7	24.8	18.8	12.9	8.9	4.0	4.0
300万円～400万円未満	84	67.9	23.8	17.9	26.2	21.4	11.9	6.0	2.4
400万円～500万円未満	41	61.0	31.7	22.0	22.0	14.6	12.2	9.8	2.4
500万円以上	35	62.9	31.4	25.7	40.0	8.6	5.7	2.9	2.9

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「若者が経済的に不安定」は非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)で78.8%と高くなっている。「必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮」は無職・家事で36.7%、学生で33.3%と高くなっている。「職場等での出会いの減少」は正規雇用者(正規)で24.8%と高くなっている。

【年収別】

年収別でみると、「必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮」は収入なしで44.8%と高くなっている。一方、「職場等での出会いの減少」は500万円以上で40.0%と高くなっている。

結婚しにくい社会だと思う理由（将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別）

(%)

	n	若者が経済的に不安定	必ずしも結婚する必要はないという社会的風潮	結婚により失われるものの増大	職場等での出会いの減少	男女間の結婚観の相違	お見合いなどの習慣の減少	異性間のコミュニケーション能力の低下	その他
全体	424	64.6	28.3	23.3	20.3	17.0	8.0	7.1	3.3
【将来の結婚意向別】									
結婚したい	154	62.3	28.6	16.2	29.9	15.6	13.0	7.1	2.6
どちらかといえば結婚したい	148	65.5	26.4	25.7	21.6	18.2	6.1	8.8	4.1
どちらかといえば結婚したくない	61	72.1	31.1	26.2	6.6	19.7	1.6	3.3	4.9
結婚したくない	61	60.7	29.5	32.8	6.6	14.8	6.6	6.6	1.6
【将来の子どもの希望別】									
持ちたい	197	62.9	26.9	19.8	33.0	15.2	11.2	5.6	2.0
いなくてもよい	170	67.1	27.6	29.4	8.2	16.5	5.3	8.8	5.3
わからない	57	63.2	35.1	17.5	12.3	24.6	5.3	7.0	1.8

【将来の結婚意向別】

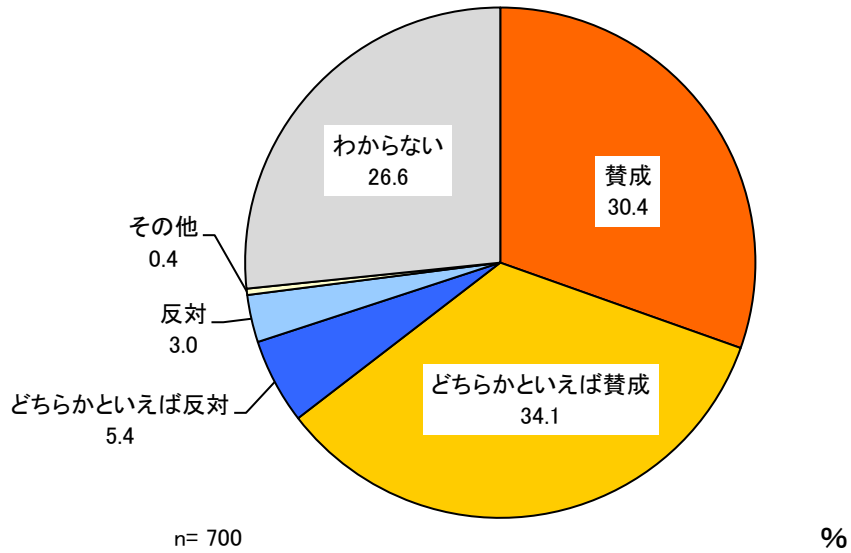
将来の結婚意向別でみると、「結婚により失われるものの増大」は結婚意向が低いほど高く、「結婚したくない」で32.8%となっている。一方、「職場等での出会いの減少」は結婚意向が高いほど高く、「結婚したい」で29.9%となっている。

【将来の子どもの希望別】

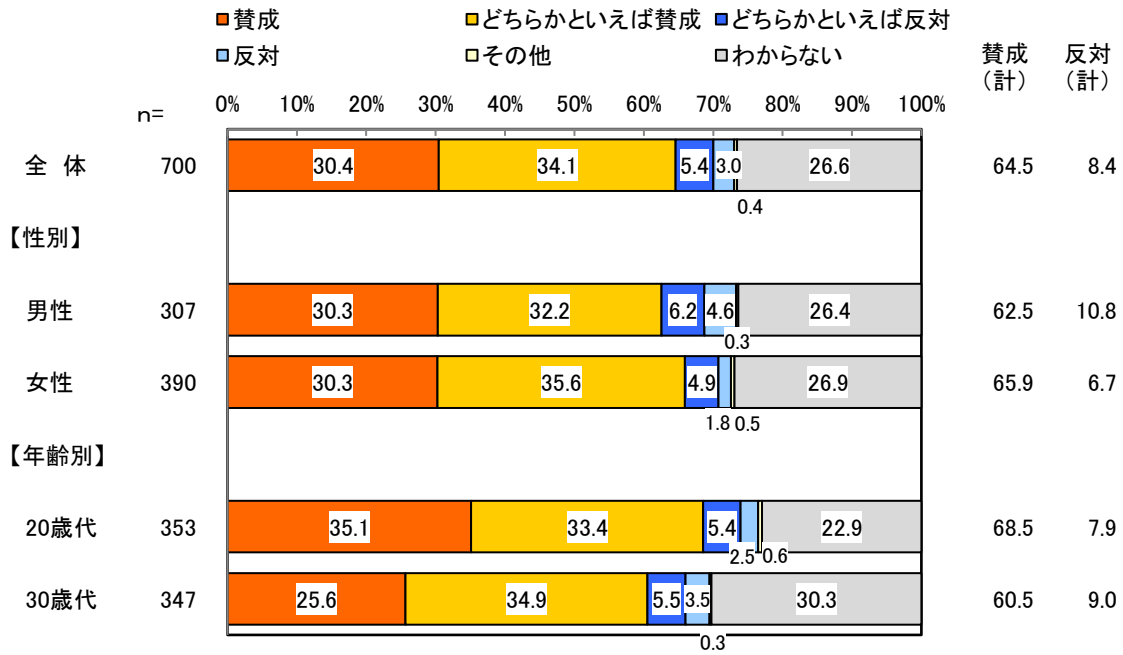
問9の将来の子どもの希望別でみると、「結婚により失われるものの増大」は「いなくてもよい」で29.4%と高くなっている。一方、「職場等での出会いの減少」は「持ちたい」で33.0%と高くなっている。

問7 結婚を希望する人に対して、行政が結婚を支援する施策を行うことについて、どのようにお考えですか。

行政が結婚を支援する施策を行うことは、「賛成」が 30.4%、「どちらかといえば賛成」が 34.1%で、合計すると「賛成（計）」が 64.5%となっている。一方、「どちらかといえば反対」が 5.4%、「反対」が 3.0%で、合計すると「反対（計）」は 8.4%となっている。



行政が結婚を支援する施策を行うことについて（性別、年齢別）



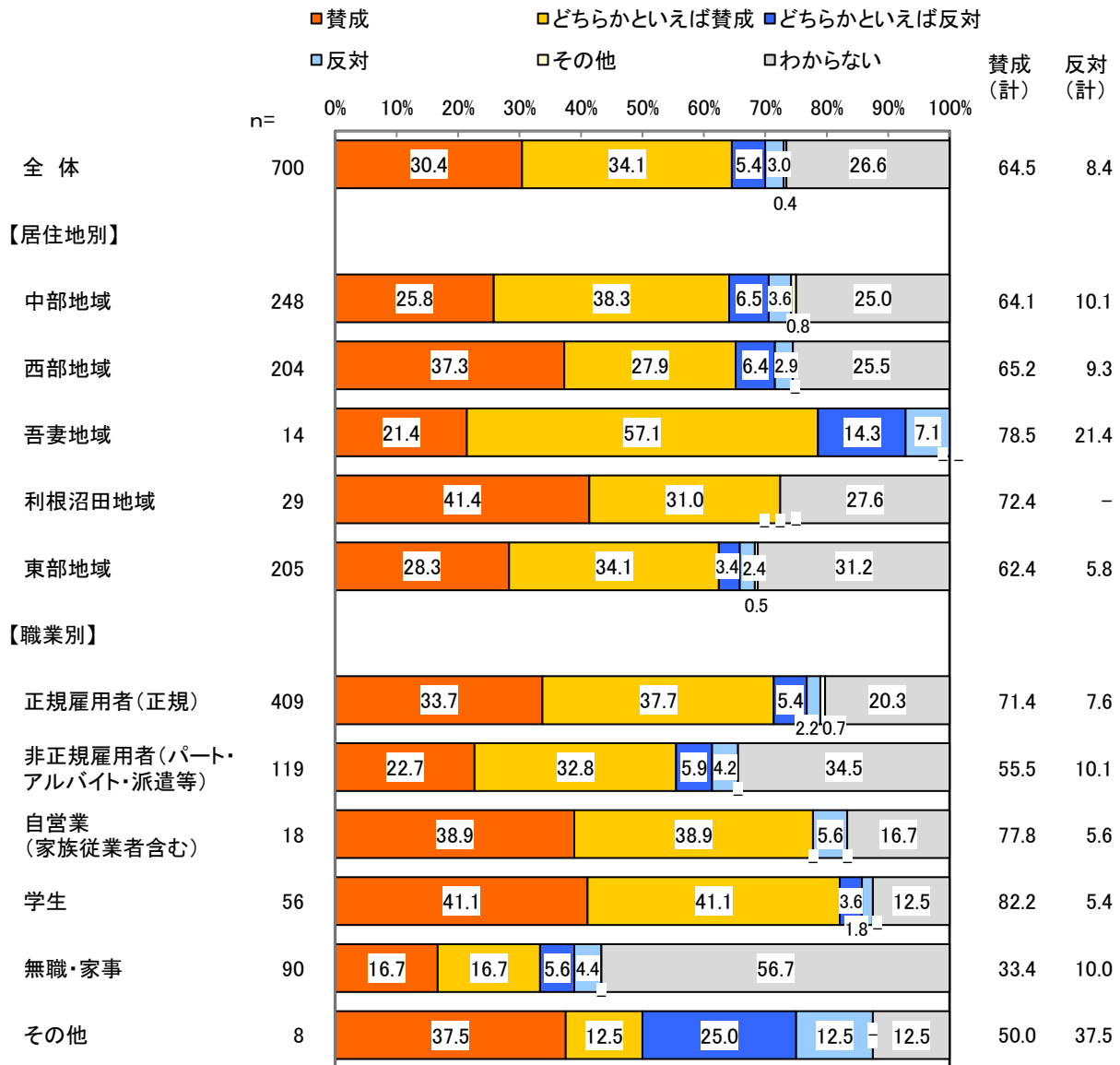
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「賛成（計）」は20歳代で68.5%と高くなっている。一方、30歳代では60.5%と低くなっている。

行政が結婚を支援する施策を行うことについて（居住地別、職業別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

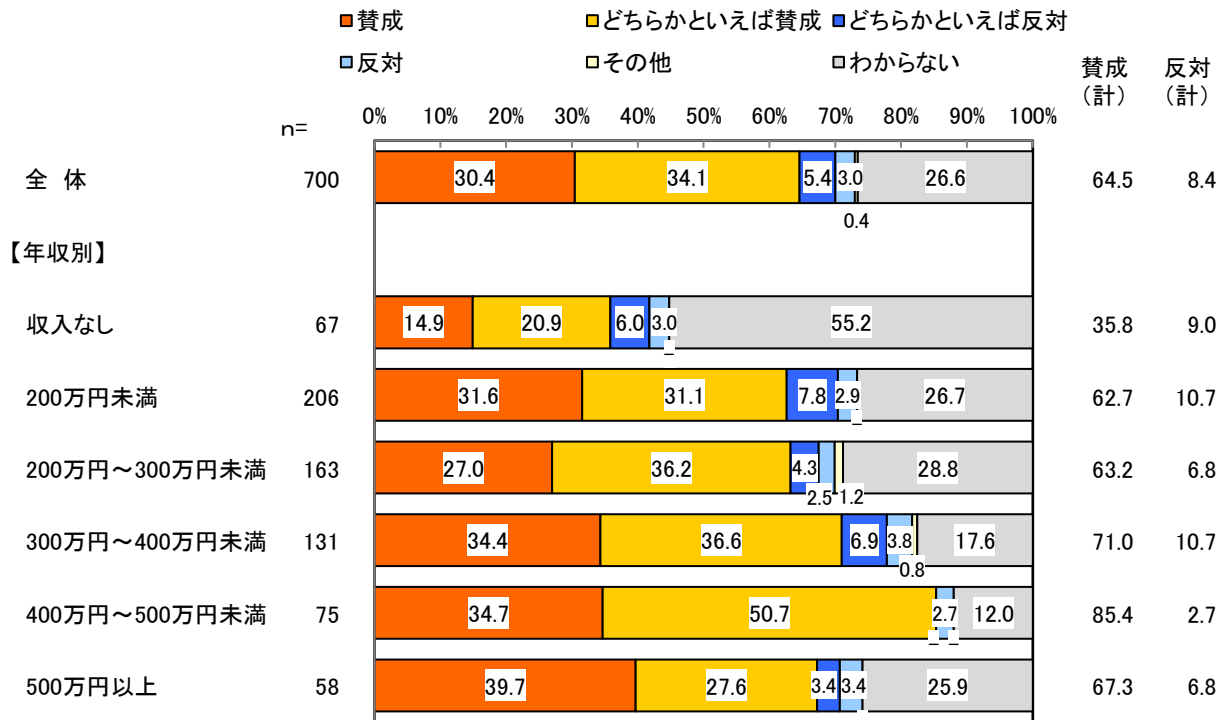
【居住地別】

居住地別でみると、「賛成 (計)」は利根沼田地域で 72.4%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「賛成 (計)」は学生で 82.2%、正規雇用者 (正規) で 71.4%と高くなっている。一方、無職・家事では 33.4%、非正規雇用者 (パート・アルバイト・派遣等) では 55.5%と低くなっている。

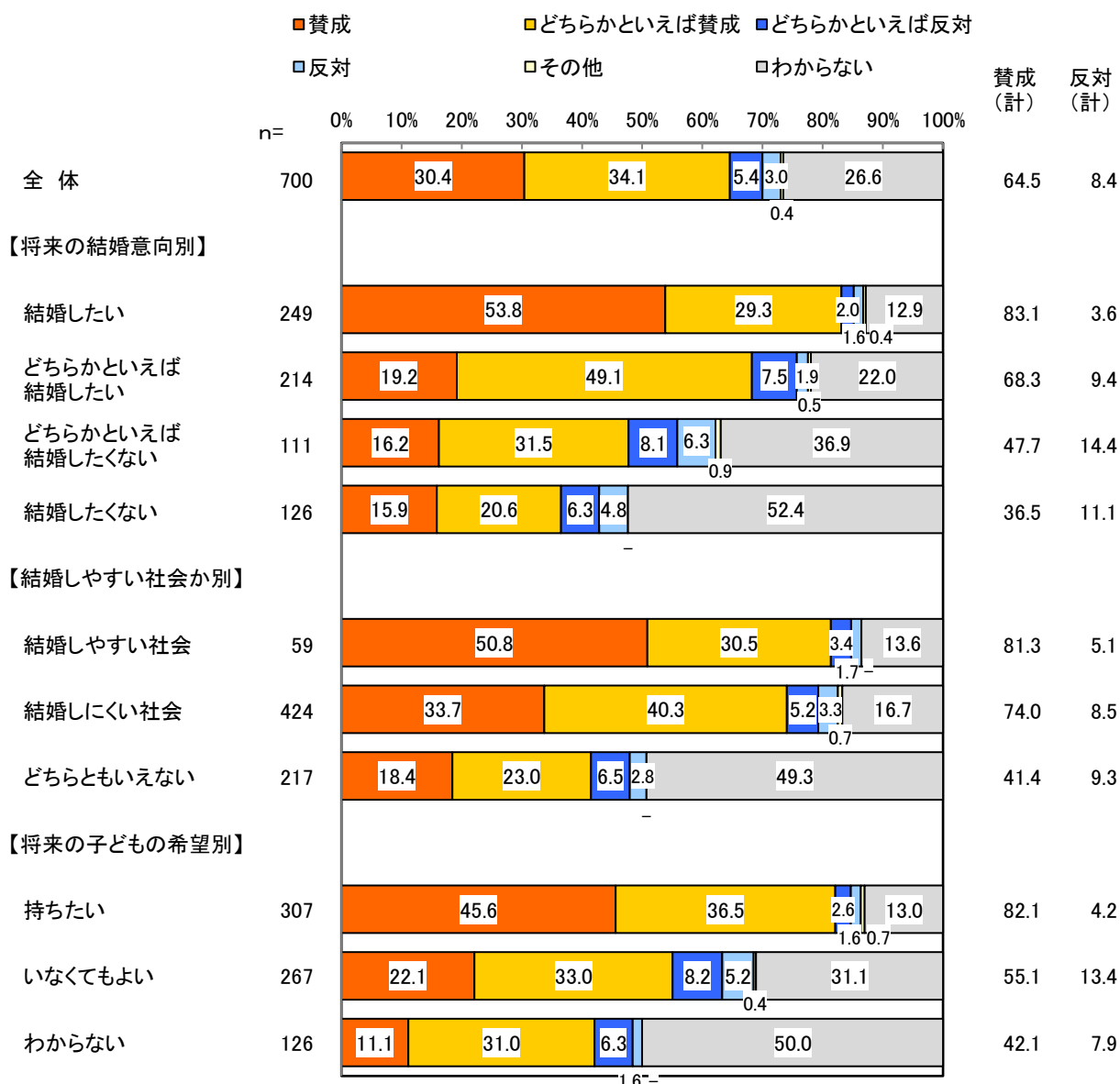
行政が結婚を支援する施策を行うことについて（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「賛成（計）」は400万円～500万円未満で85.4%と高くなっている。一方、収入なしでは35.8%と低くなっている。

行政が結婚を支援する施策を行うことについて
 (将来の結婚意向別、結婚しやすい社会か別、将来の子どもの希望別)



※母数が20未満の項目は参考値とする。

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど「賛成 (計)」が高く、“結婚したい”で83.1%となっている。一方、“結婚したくない”では36.5%と低くなっている。

【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「賛成 (計)」は“結婚しやすい社会”で81.3%と高くなっている。一方、“どちらともいえない”では41.4%と低くなっている。

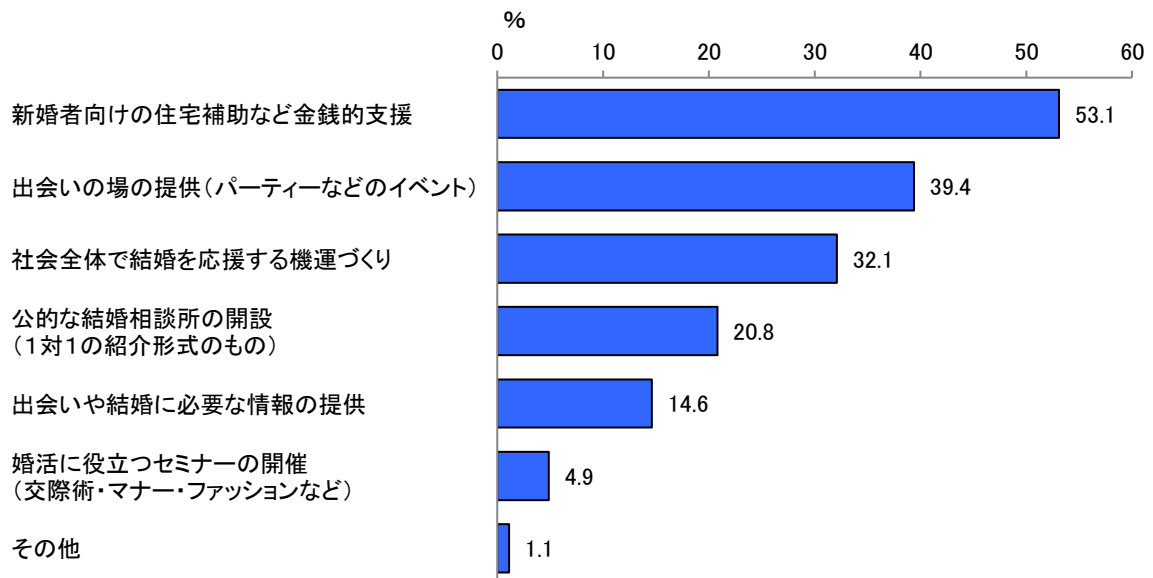
【将来の子どもの希望別】

問9の将来の子どもの希望別でみると、「賛成 (計)」は“持ちたい”で82.1%と高くなっている。一方、“わからない”では42.1%と低くなっている。

問8 結婚にかかわる支援として、どのようなことを行政に期待しますか。(回答は2つまで)

行政に期待する結婚にかかわる支援は、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」が53.1%で最も高く、次いで「出会いの場の提供(パーティーなどのイベント)」が39.4%、「社会全体で結婚を応援する機運づくり」が32.1%となっている。

n= 452



結婚にかかわる支援で行政に期待すること（性別、年齢別、居住地別）

(%)

	n	新婚者向けの住宅補助など金銭的支援	出会いの場の提供(パーティーなどのイベント)	社会全体で結婚を応援する機運づくり	公的な結婚相談所の開設(1対1の紹介形式のもの)	出会うや結婚に必要な情報の提供	婚活に役立つセミナーの開催(交際術・マナー・ファッションなど)	その他
全体	452	53.1	39.4	32.1	20.8	14.6	4.9	1.1
【性別】								
男性	192	49.0	43.2	33.3	24.0	13.5	5.7	1.0
女性	257	55.6	36.6	31.1	18.7	15.6	4.3	1.2
【年齢別】								
20歳代	242	61.6	38.4	31.8	14.5	12.8	3.3	1.2
30歳代	210	43.3	40.5	32.4	28.1	16.7	6.7	1.0
【居住地別】								
中部地域	159	48.4	40.3	34.6	18.2	13.8	2.5	2.5
西部地域	133	58.6	38.3	36.1	22.6	12.0	4.5	0.8
吾妻地域	11	54.5	45.5	27.3	27.3	9.1	-	-
利根沼田地域	21	61.9	42.9	9.5	14.3	9.5	9.5	-
東部地域	128	51.6	38.3	28.9	22.7	19.5	7.8	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」が6.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「出会いの場の提供(パーティーなどのイベント)」が6.6ポイント、「公的な結婚相談所の開設(1対1の紹介形式のもの)」が5.3ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」は20歳代で61.6%と高くなっている。一方、「公的な結婚相談所の開設(1対1の紹介形式のもの)」は30歳代で28.1%と高くなっている。

【居住地別】

居住地別でみると、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」は利根沼田地域で61.9%、西部地域で58.6%と高くなっている。

結婚にかかわる支援で行政に期待すること（職業別、年収別）

(%)

	n	新婚者向けの住宅補助など金銭的支援	出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）	社会全体で結婚を応援する機運づくり	公的な結婚相談所の開設（1対1の紹介形式のもの）	出会うや結婚に必要な情報の提供	婚活に役立つセミナーの開催（交際術・マナー・ファッションなど）	その他
全体	452	53.1	39.4	32.1	20.8	14.6	4.9	1.1
【職業別】								
正規雇用者（正規）	292	52.7	42.1	30.8	22.3	14.4	4.5	-
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	66	53.0	36.4	34.8	21.2	15.2	7.6	6.1
自営業（家族従業者含む）	14	71.4	21.4	28.6	7.1	14.3	7.1	-
学生	46	56.5	37.0	34.8	13.0	10.9	4.3	-
無職・家事	30	46.7	30.0	36.7	26.7	20.0	3.3	3.3
その他	4	25.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-
【年収別】								
収入なし	24	54.2	37.5	33.3	16.7	16.7	8.3	-
200万円未満	129	51.9	31.0	33.3	20.2	17.1	6.2	3.1
200万円～300万円未満	103	64.1	42.7	26.2	14.6	13.6	2.9	1.0
300万円～400万円未満	93	43.0	46.2	33.3	25.8	14.0	5.4	-
400万円～500万円未満	64	50.0	35.9	40.6	26.6	12.5	6.3	-
500万円以上	39	56.4	48.7	25.6	20.5	12.8	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「公的な結婚相談所の開設（1対1の紹介形式のもの）」は無職・家事で26.7%と高く、「出会うや結婚に必要な情報の提供」も無職・家事で20.0%と高くなっている。

【年収別】

年収別でみると、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」は200万円～300万円未満で64.1%と高くなっている。「出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）」は500万円以上で48.7%、300万円～400万円未満で46.2%と高くなっている。「社会全体で結婚を応援する機運づくり」は400万円～500万円未満で40.6%と高くなっている。

結婚にかかわる支援で行政に期待すること（将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別）

(%)

	n	新婚者向けの住宅補助など金銭的支援	出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）	社会全体で結婚を応援する機運づくり	公的な結婚相談所の開設（1対1の紹介形式のもの）	出会いや結婚に必要な情報の提供	婚活に役立つセミナーの開催（交際術・マナー・ファッションなど）	その他
全体	452	53.1	39.4	32.1	20.8	14.6	4.9	1.1
【将来の結婚意向別】								
結婚したい	207	50.2	47.8	28.0	23.2	13.0	3.9	1.0
どちらかといえば結婚したい	146	52.7	39.0	37.7	20.5	13.0	5.5	1.4
どちらかといえば結婚したくない	53	64.2	28.3	30.2	13.2	17.0	7.5	-
結婚したくない	46	54.3	15.2	34.8	19.6	23.9	4.3	2.2
【将来の子どもの希望別】								
持ちたい	252	51.2	46.0	30.2	21.4	13.1	3.6	1.2
いなくてもよい	147	57.8	27.9	33.3	19.7	18.4	6.8	0.7
わからない	53	49.1	39.6	37.7	20.8	11.3	5.7	1.9

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど「出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）」が高く、“結婚したい”で47.8%となっている。一方、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」は“どちらかといえば結婚したくない”で64.2%と高くなっている。

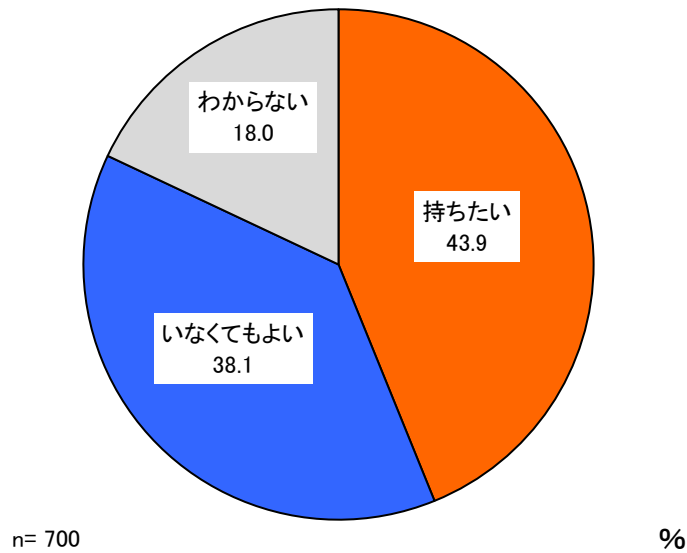
【将来の子どもの希望別】

問9の将来の子どもの希望別でみると、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」は“いなくてもよい”で57.8%と高くなっている。一方、「出会いの場の提供（パーティーなどのイベント）」は“持ちたい”で46.0%と高くなっている。

3 妊娠・出産に対する考えについて

問9 あなたは将来子どもを持ちたいですか。

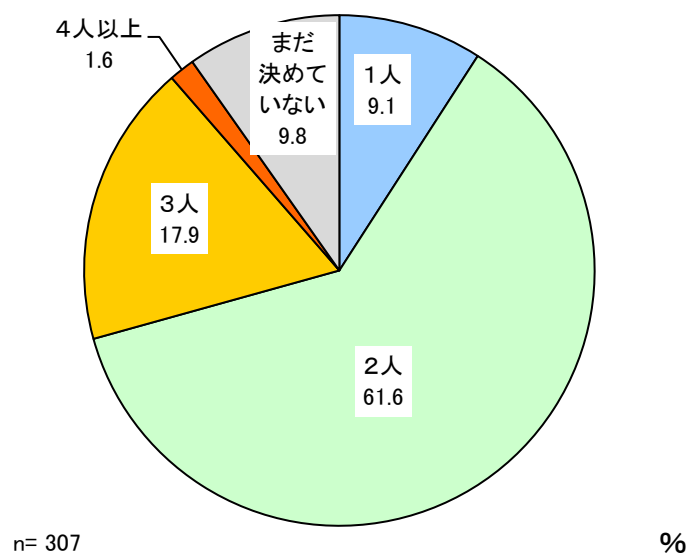
将来子どもを持ちたいかは、「持ちたい」が43.9%、「いなくてもよい」が38.1%、「わからない」が18.0%となっている。



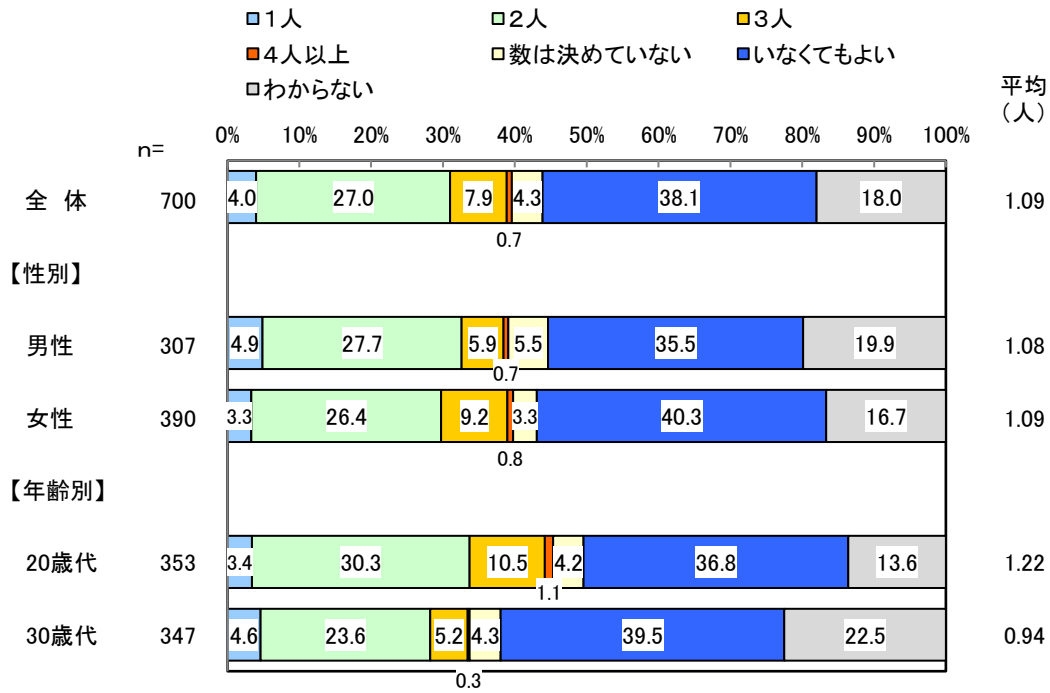
【問9で「持ちたい」を選んだ方のみに伺います。】

問10 あなたは将来子どもを何人持ちたいですか。

将来子どもを持ちたい人数は、「2人」が61.6%で最も高く、次いで「3人」が17.9%、「まだ決めていない」が9.8%となっている。



将来持ちたい子どもの数（性別、年齢別）



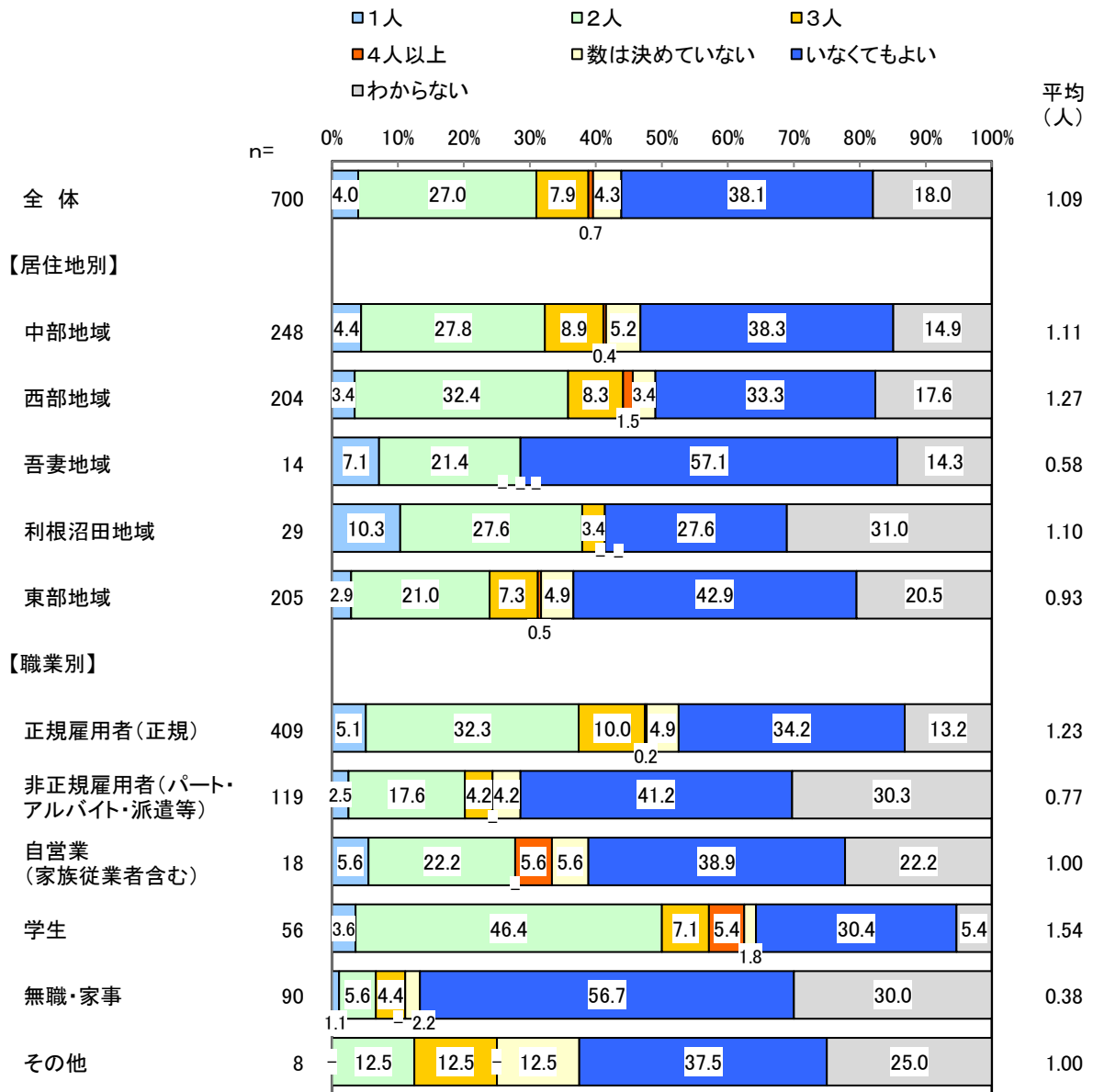
【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「1人」及び「2人」で上回っている一方、女性は男性よりも「3人」及び「4人」で上回っている。また、女性は男性よりも「いなくてもよい」が4.8ポイント高くなっている。平均は男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別で見ると、「2人」は20歳代で30.3%と高くなっている。一方、30歳代は「2人」は23.6%と低く、「いなくてもよい」が39.5%、「わからない」が22.5%と高くなっている。平均は20歳代が30歳代よりも0.28人多くなっている。

将来持ちたい子どもの数（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

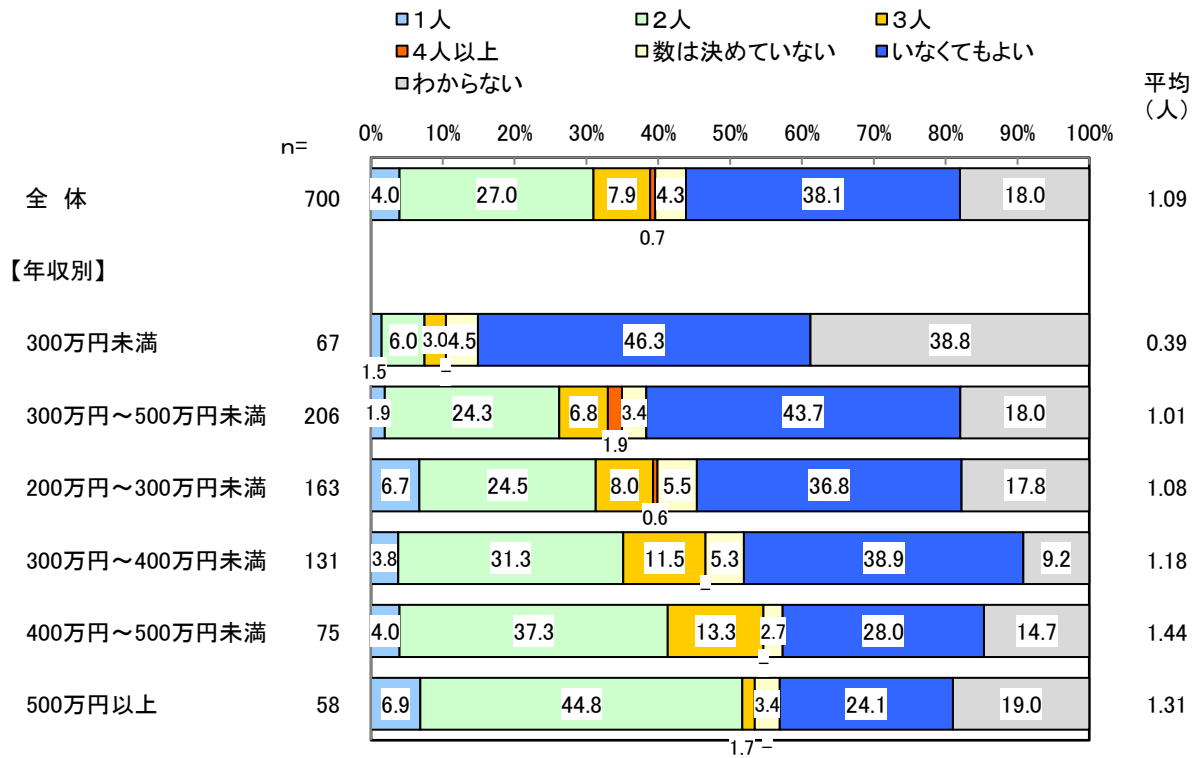
【居住地別】

居住地別でみると、「2人」は西部地域で32.4%と高くなっている。一方、「いなくてもよい」は東部地域で42.9%、「わからない」は利根沼田地域で31.0%と高くなっている。平均は西部地域が1.27人と最も多くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「2人」は学生で46.4%、正規雇用者(正規)で32.3%と高くなっている。一方、「いなくてもよい」は無職・家事で56.7%、「わからない」は非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)で30.3%、無職・家事で30.0%と高くなっている。

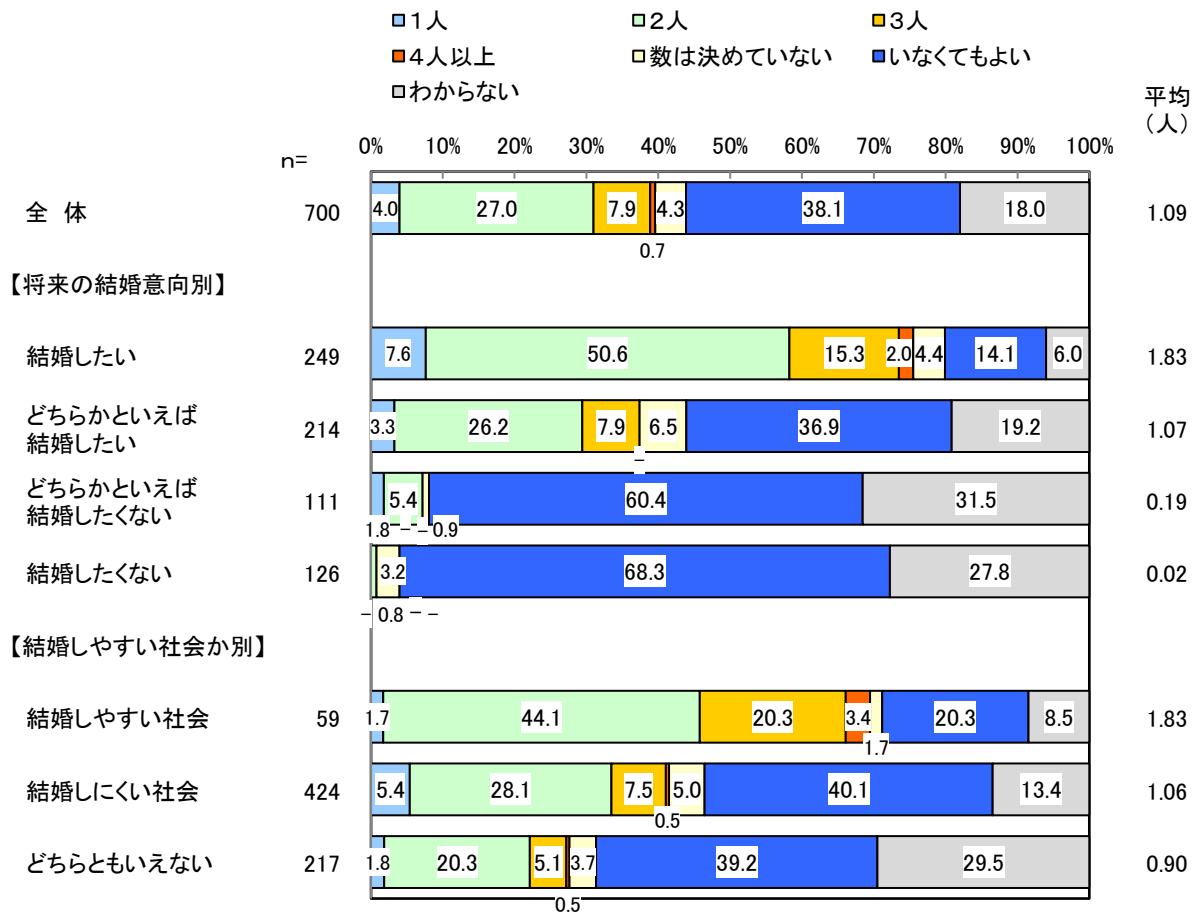
将来持ちたい子どもの数（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「2人」は年収が上がるほど高くなり、500万円以上で44.8%となっている。一方、300万円未満は「1人」から「4人以上」が低く、「いなくてもよい」が46.3%、「わからない」が38.8%と高くなっている。平均は400万円～500万円未満が1.44人と最も多くなっている。

将来持ちたい子どもの数（将来の結婚意向別、結婚しやすい社会か別）



【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど持ちたい子どもの数が多く、「結婚したい」は「2人」が50.6%、「3人」が15.3%で、平均1.83人となっている。一方、「いなくてもよい」は「結婚したくない」で68.3%と高くなっている。

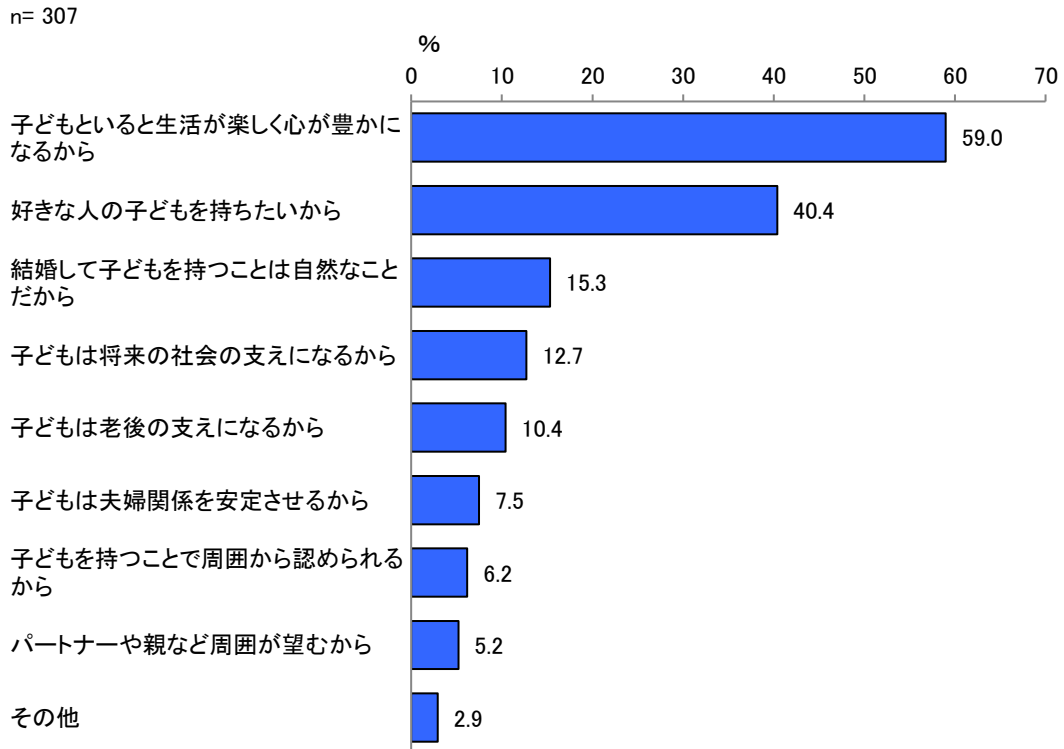
【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「結婚しやすい社会」は「2人」が44.1%、「3人」が20.3%と高く、平均1.83人となっている。一方、「いなくてもよい」は「結婚しにくい社会」で40.1%と高くなっている。

【問9で「持ちたい」を選択した方に伺います。】

問11 子どもを1人以上持ちたいと思う理由は何ですか。(回答は2つまで)

子どもを持ちたいと思う理由は、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」が59.0%で最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」が40.4%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が15.3%となっている。



子どもを持ちたい理由（性別、年齢別）

(%)

	n	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	好きな人の子どもを持ちたいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから
全体	307	59.0	40.4	15.3	12.7	10.4
【性別】						
男性	137	56.2	33.6	18.2	11.7	11.7
女性	168	61.3	45.8	13.1	13.7	9.5
【年齢別】						
20歳代	175	60.6	42.3	16.6	16.0	8.0
30歳代	132	56.8	37.9	13.6	8.3	13.6

(%)

	n	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもを持つことで周囲から認められるから	パートナーや親など周囲が望むから	その他
全体	307	7.5	6.2	5.2	2.9
【性別】					
男性	137	8.8	10.2	2.9	2.9
女性	168	6.0	3.0	7.1	3.0
【年齢別】					
20歳代	175	7.4	5.7	5.1	2.3
30歳代	132	7.6	6.8	5.3	3.8

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「好きな人の子どもを持ちたいから」が12.2ポイント、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」が5.1ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「子どもを持つことで周囲から認められるから」が7.2ポイント、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が5.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「好きな人の子どもを持ちたいから」は20歳代で42.3%と高くなっている。

子どもを持ちたい理由（居住地別）

(%)

	n	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	好きな人の子どもを持ちたいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから
全体	307	59.0	40.4	15.3	12.7	10.4
【居住地別】						
中部地域	116	56.9	40.5	14.7	11.2	12.1
西部地域	100	58.0	39.0	15.0	13.0	9.0
吾妻地域	4	50.0	75.0	-	50.0	-
利根沼田地域	12	58.3	25.0	16.7	-	8.3
東部地域	75	64.0	42.7	17.3	14.7	10.7

(%)

	n	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもを持つことで周囲から認められるから	パートナーや親など周囲が望むから	その他
全体	307	7.5	6.2	5.2	2.9
【居住地別】					
中部地域	116	6.9	7.8	2.6	1.7
西部地域	100	7.0	3.0	9.0	5.0
吾妻地域	4	-	25.0	-	-
利根沼田地域	12	16.7	-	16.7	8.3
東部地域	75	8.0	8.0	2.7	1.3

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」は東部地域で64.0%と高くなっている。

子どもを持ちたい理由（職業別）

(%)

	n	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	好きな人の子どもを持ちたいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから
全体	307	59.0	40.4	15.3	12.7	10.4
【職業別】						
正規雇用者(正規)	215	61.4	41.9	14.4	13.0	9.3
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	34	55.9	35.3	11.8	14.7	8.8
自営業(家族従業者含む)	7	28.6	71.4	14.3	-	28.6
学生	36	58.3	27.8	27.8	16.7	8.3
無職・家事	12	50.0	41.7	8.3	-	33.3
その他	3	33.3	66.7	-	-	-

(%)

	n	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもを持つことで周囲から認められるから	パートナーや親など周囲が望むから	その他
全体	307	7.5	6.2	5.2	2.9
【職業別】					
正規雇用者(正規)	215	7.4	6.5	5.1	2.3
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	34	2.9	5.9	8.8	8.8
自営業(家族従業者含む)	7	-	-	-	14.3
学生	36	11.1	5.6	2.8	-
無職・家事	12	16.7	8.3	8.3	-
その他	3	-	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」は正規雇用者(正規)で61.4%と高くなっている。

子どもを持ちたい理由（年収別）

(%)

	n	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	好きな人の子どもを持ちたいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから
全体	307	59.0	40.4	15.3	12.7	10.4
【年収別】						
収入なし	10	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0
200万円未満	79	58.2	38.0	20.3	13.9	7.6
200万円～300万円未満	74	55.4	41.9	13.5	10.8	16.2
300万円～400万円未満	68	67.6	41.2	10.3	13.2	10.3
400万円～500万円未満	43	60.5	48.8	9.3	14.0	7.0
500万円以上	33	51.5	33.3	24.2	12.1	9.1

(%)

	n	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもを持つことで周囲から認められるから	パートナーや親など周囲が望むから	その他
全体	307	7.5	6.2	5.2	2.9
【年収別】					
収入なし	10	30.0	20.0	-	-
200万円未満	79	5.1	2.5	5.1	3.8
200万円～300万円未満	74	6.8	4.1	8.1	2.7
300万円～400万円未満	68	10.3	14.7	-	1.5
400万円～500万円未満	43	4.7	2.3	7.0	2.3
500万円以上	33	6.1	3.0	9.1	6.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【年収別】

年収別で見ると、「子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから」は300万円～400万円未満で67.6%と高くなっている。「好きな人の子どもを持ちたいから」は400万円～500万円未満で48.8%と高くなっている。

子どもを持ちたい理由（結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	子どもといると生活が楽しく心が豊かになるから	好きな人の子どもを持ちたいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	子どもは将来の社会の支えになるから	子どもは老後の支えになるから
全体	307	59.0	40.4	15.3	12.7	10.4
【結婚しやすい社会か】						
結婚しやすい社会	42	47.6	45.2	26.2	7.1	4.8
結婚しにくい社会	197	60.4	41.6	13.7	13.2	12.2
どちらともいえない	68	61.8	33.8	13.2	14.7	8.8

(%)

	n	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもを持つことで周囲から認められるから	パートナーや親など周囲が望むから	その他
全体	307	7.5	6.2	5.2	2.9
【結婚しやすい社会か】					
結婚しやすい社会	42	9.5	11.9	7.1	4.8
結婚しにくい社会	197	7.1	4.6	6.6	2.0
どちらともいえない	68	7.4	7.4	-	4.4

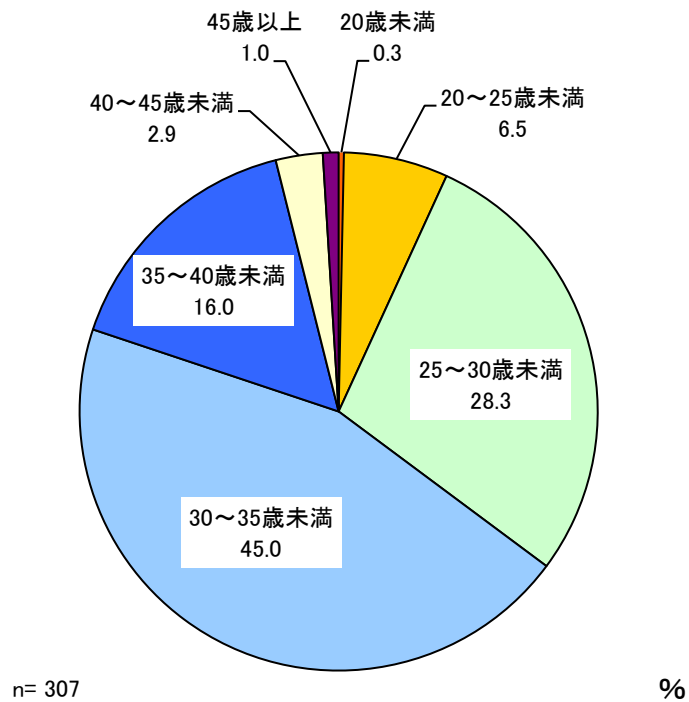
【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「好きな人の子どもを持ちたいから」は“結婚しやすい社会”で45.2%と高く、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」も“結婚しやすい社会”で26.2%と高くなっている。

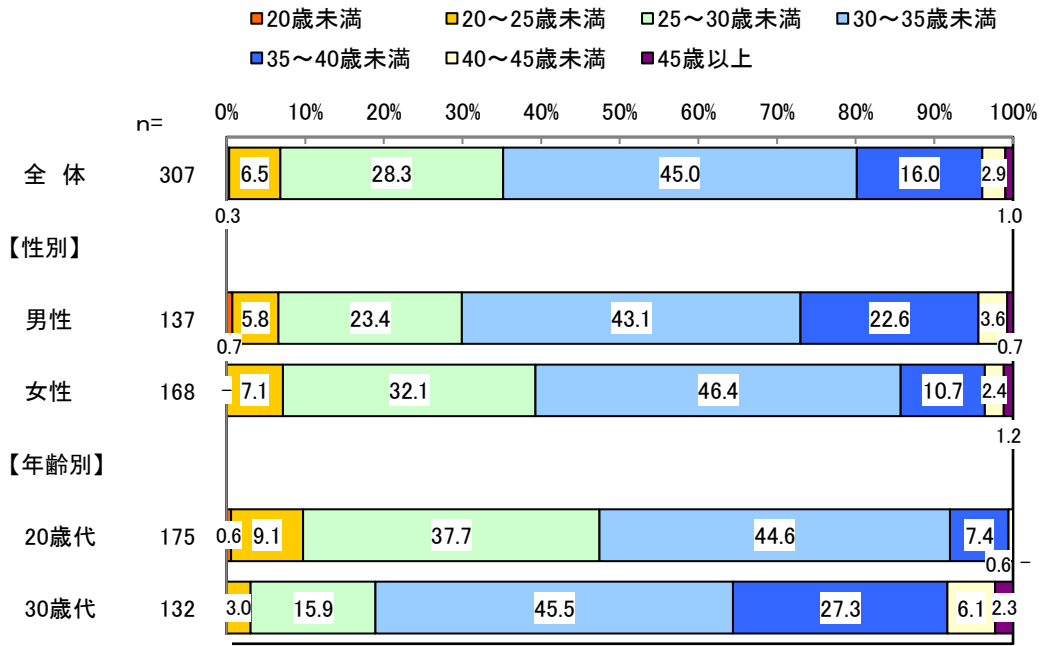
【問9で「持ちたい」を選択した方に伺います。】

問12 遅くとも女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えていますか。

遅くとも女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えるかは、「30～35歳未満」が45.0%で最も高く、次いで「25～30歳未満」が28.3%、「35～40歳未満」が16.0%となっている。



女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えるか（性別、年齢別）



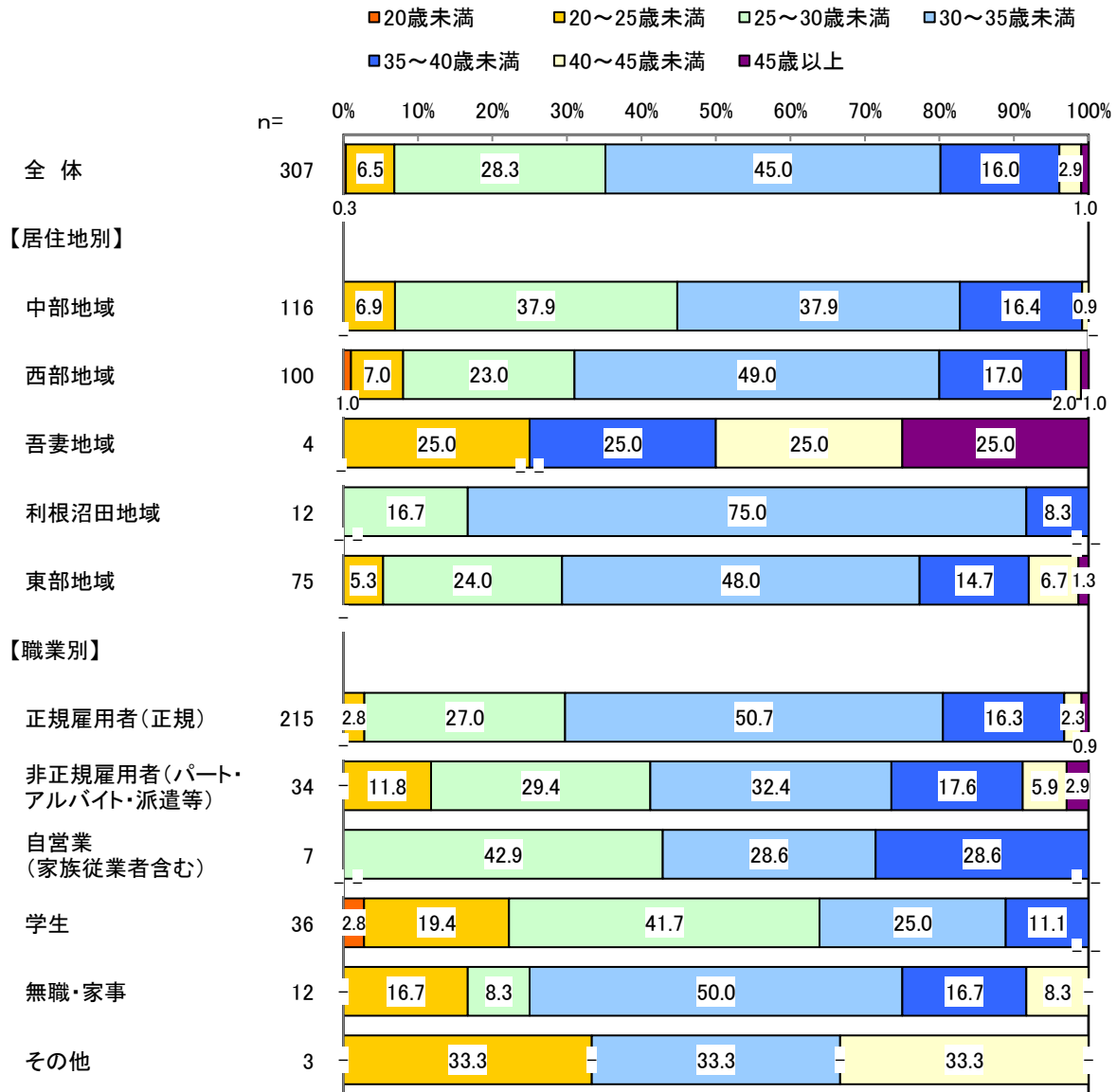
【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「25～30歳未満」が8.7ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「35～40歳未満」が11.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「25～30歳未満」は20歳代で37.7%と高くなっている。一方、「35～39歳未満」は30歳代で27.3%と高くなっている。

女性が何歳になるまでに出産を迎えた方がよいと考えるか（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「30~35歳未満」は西部地域で49.0%、東部地域で48.0%と高くなっている。「25~30歳未満」は中部地域で37.9%と高くなっている。

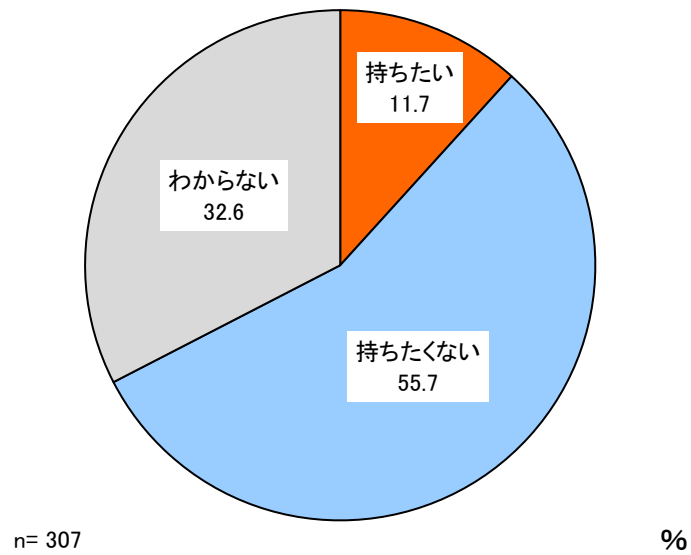
【職業別】

職業別でみると、「30~35歳未満」は正規雇用者(正規)で50.7%と高くなっている。「25~30歳未満」は学生で41.7%と高くなっている。

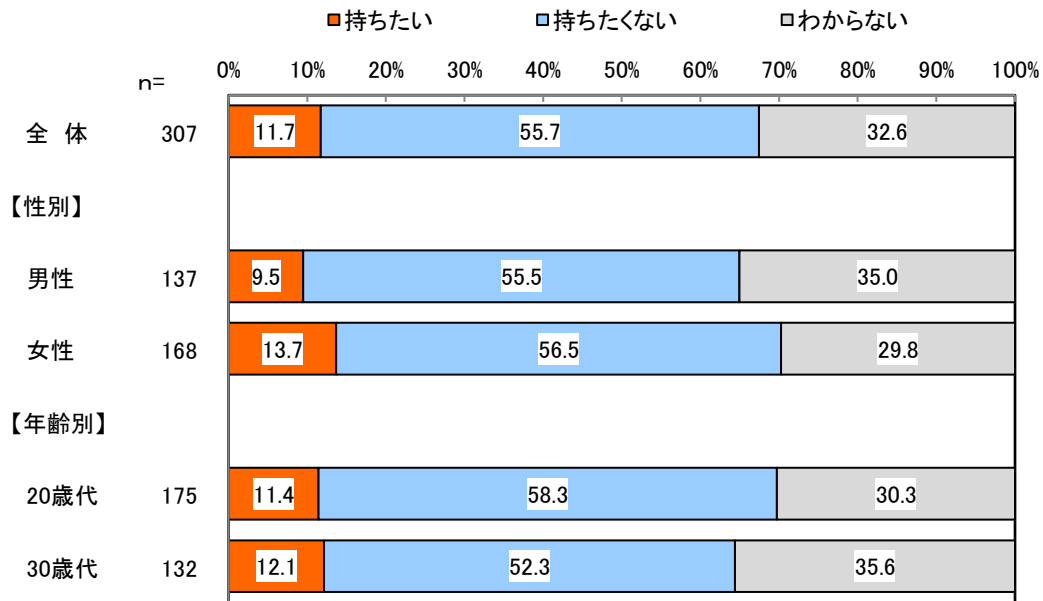
【問9で「持ちたい」を選択した方に伺います。】

問13 あなたは結婚しないまま子どもを持ちたいと思いますか。

結婚しないまま子どもを持ちたいと思うかは、「持ちたくない」が55.7%で最も高く、次いで「わからない」が32.6%、「持ちたい」が11.7%となっている。



結婚しないまま子どもを持ちたいか（性別、年齢別）



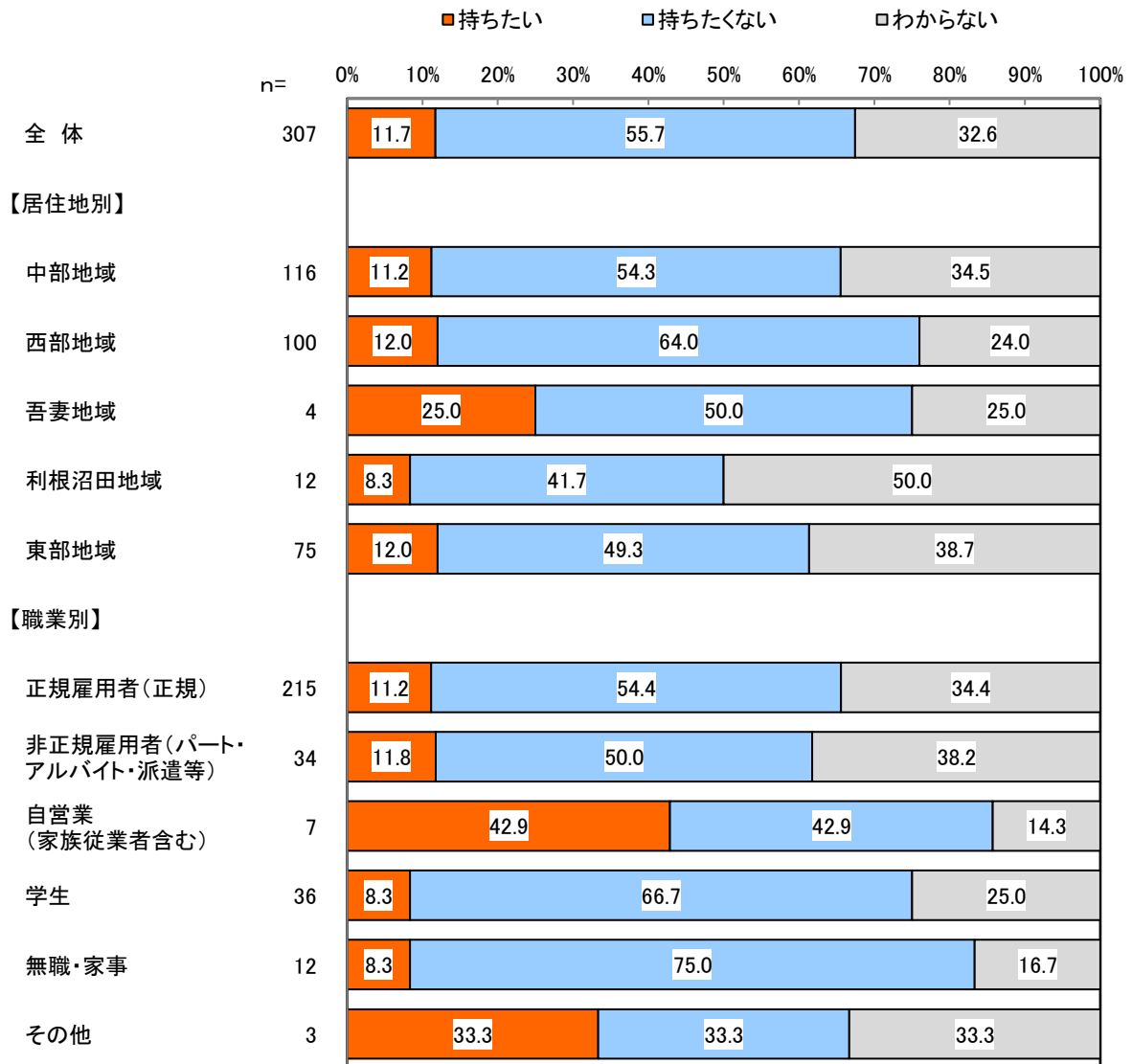
【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「持ちたい」が4.2ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「わからない」が5.2ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「持ちたくない」は20歳代で58.3%と高くなっている。一方、「わからない」は30歳代で35.6%と高くなっている。

結婚しないまま子どもを持ちたいか（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

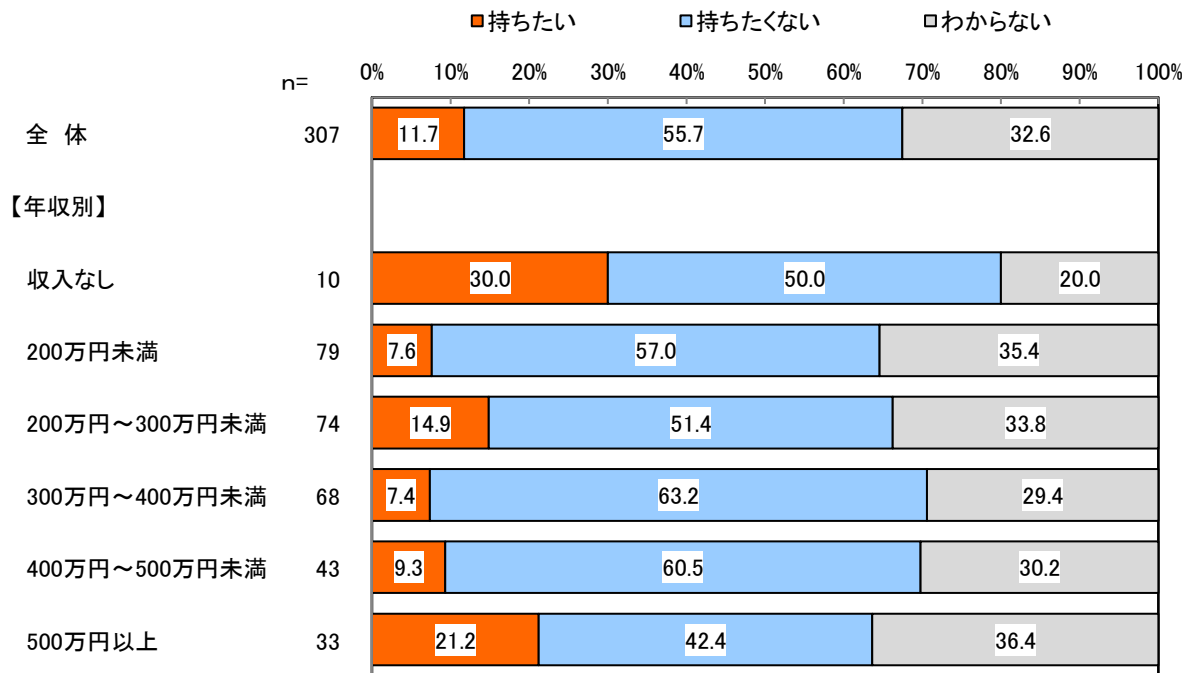
【居住地別】

居住地別でみると、「持ちたくない」は西部地域で64.0%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「持ちたくない」は学生で66.7%と高くなっている。

結婚しないまま子どもを持ちたいか（年収別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

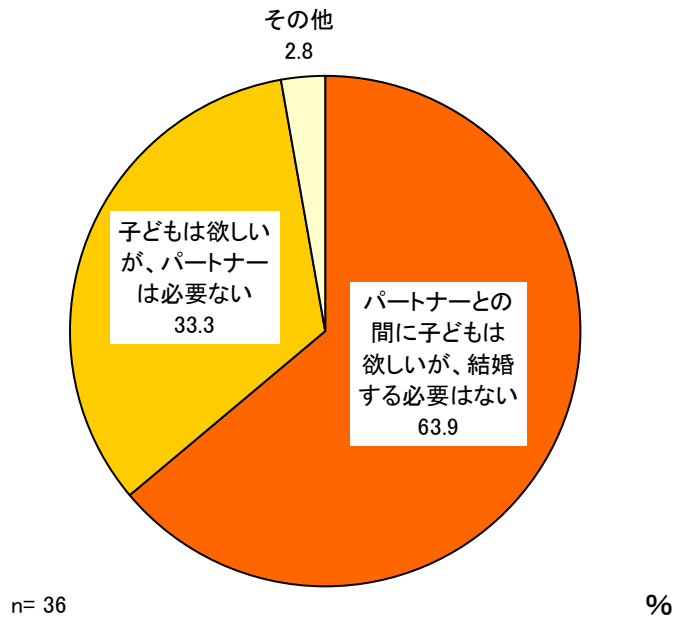
【年収別】

年収別でみると、「持ちたい」は 500 万円以上で 21.2% と高くなっている。一方、「持ちたくない」は 300 万円～400 万円未満で 63.2% と高くなっている。

【問13で「持ちたい」を選択した方にお聞きします。】

問14 「結婚しないまま子どもを持ちたい」と思う理由はどのようなことですか。

「結婚しないまま子どもを持ちたい」と思う理由は「パートナーとの間に子どもは欲しいが、結婚する必要はない」が63.9%で最も高く、次いで「子どもは欲しいが、パートナーは必要ない」が33.3%となっている。



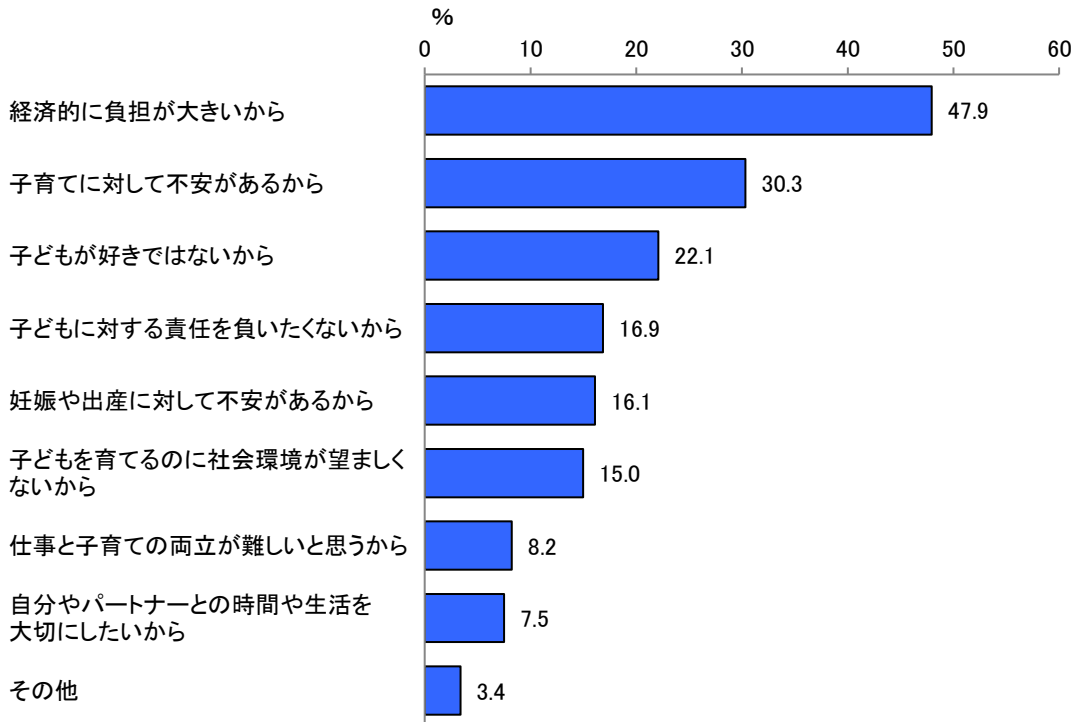
※クロス集計については母数が少ないため省略する。

【問9で「いなくてもよい」を選択した方に伺います。】

問15 「いなくてもよい」と思う理由は何ですか。(回答は2つまで)

子どもがいなくてもよいと思う理由は、「経済的に負担が大きいから」が47.9%で最も高く、次いで「子育てに対して不安があるから」が30.3%、「子どもが好きではないから」が22.1%となっている。

n= 267



子どもがいなくてもよい理由（性別、年齢別）

(%)

	n	経済的に負担が大きいから	子育てに対して不安があるから	子どもが好きではないから	子どもに対する責任を負いたくないから	妊娠や出産に対して不安があるから
全体	267	47.9	30.3	22.1	16.9	16.1
【性別】						
男性	109	48.6	33.9	22.9	14.7	6.4
女性	157	47.1	27.4	21.7	18.5	22.9
【年齢別】						
20歳代	130	52.3	30.0	18.5	12.3	20.8
30歳代	137	43.8	30.7	25.5	21.2	11.7

(%)

	n	子どもを育てるのに社会環境が望ましくないから	仕事と子育ての両立が難しいと思うから	自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから	その他
全体	267	15.0	8.2	7.5	3.4
【性別】					
男性	109	16.5	4.6	5.5	1.8
女性	157	14.0	10.8	8.9	4.5
【年齢別】					
20歳代	130	16.9	6.2	9.2	2.3
30歳代	137	13.1	10.2	5.8	4.4

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「妊娠や出産に対して不安があるから」が16.5ポイント、「仕事と子育ての両立が難しいと思うから」が6.2ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「子育てに対して不安があるから」が6.5ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「経済的に負担が大きいから」は20歳代で52.3%と高く、「妊娠や出産に対して不安があるから」も20歳代で20.8%と高くなっている。一方、「子どもが好きではないから」は30歳代で25.5%と高く、「子どもに対する責任を負いたくないから」も30歳代で21.2%と高くなっている。

子どもがいなくてもよい理由（居住地別）

(%)

	n	経済的に負担が大きいから	子育てに対して不安があるから	子どもが好きではないから	子どもに対する責任を負いたくないから	妊娠や出産に対して不安があるから
全体	267	47.9	30.3	22.1	16.9	16.1
【居住地別】						
中部地域	95	51.6	33.7	16.8	12.6	15.8
西部地域	68	42.6	38.2	30.9	10.3	19.1
吾妻地域	8	37.5	12.5	12.5	50.0	12.5
利根沼田地域	8	37.5	50.0	12.5	12.5	12.5
東部地域	88	50.0	20.5	22.7	23.9	14.8

(%)

	n	子どもを育てるのに社会環境が望ましくないから	仕事と子育ての両立が難しいと思うから	自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから	その他
全体	267	15.0	8.2	7.5	3.4
【居住地別】					
中部地域	95	16.8	12.6	6.3	3.2
西部地域	68	8.8	1.5	8.8	4.4
吾妻地域	8	-	25.0	-	25.0
利根沼田地域	8	37.5	-	-	-
東部地域	88	17.0	8.0	9.1	1.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「子育てに対して不安があるから」は西部地域で38.2%と高く、子どもが好きではないから」も西部地域で30.9%と高くなっている。「子どもに対する責任を負いたくないから」は東部地域で23.9%と高くなっている。

子どもがいなくてもよい理由（職業別）

(%)

	n	経済的に負担 が大きいため	子育てに対して 不安があるから	子どもが好きで はないから	子どもに対する 責任を負いたくないから	妊娠や出産に 対して不安があるから
全 体	267	47.9	30.3	22.1	16.9	16.1
【職業別】						
正規雇用者(正規)	140	46.4	28.6	20.7	13.6	16.4
非正規雇用者(パート・ アルバイト・派遣等)	49	55.1	32.7	24.5	20.4	16.3
自営業 (家族従業者含む)	7	57.1	42.9	-	-	14.3
学生	17	47.1	29.4	35.3	11.8	41.2
無職・家事	51	45.1	27.5	21.6	27.5	7.8
その他	3	33.3	100.0	33.3	-	-

(%)

	n	子どもを育てる のに社会環境 が望ましくない から	仕事と子育ての 両立が難しいと 思うから	自分やパート ナーとの時間や 生活を大切に したいから	その他
全 体	267	15.0	8.2	7.5	3.4
【職業別】					
正規雇用者(正規)	140	15.0	12.1	10.7	2.9
非正規雇用者(パート・ アルバイト・派遣等)	49	10.2	6.1	6.1	2.0
自営業 (家族従業者含む)	7	57.1	-	-	-
学生	17	5.9	5.9	-	-
無職・家事	51	17.6	2.0	3.9	7.8
その他	3	-	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「経済的に負担が大きいため」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で55.1%と高くなっている。「子どもに対する責任を負いたくないから」は無職・家事で27.5%と高くなっている。

子どもがいなくてもよい理由（年収別）

(%)

	n	経済的に負担 が大きいから	子育てに対して 不安があるから	子どもが好きで はないから	子どもに対する 責任を負いたく ないから	妊娠や出産に 対して不安があ るから
全 体	267	47.9	30.3	22.1	16.9	16.1
【年収別】						
収入なし	31	41.9	29.0	16.1	22.6	9.7
200万円未満	90	46.7	31.1	25.6	20.0	20.0
200万円～300万円未満	60	50.0	26.7	20.0	21.7	15.0
300万円～400万円未満	51	54.9	31.4	21.6	11.8	13.7
400万円～500万円未満	21	47.6	28.6	19.0	-	28.6
500万円以上	14	35.7	42.9	28.6	7.1	-

(%)

	n	子どもを育てる のに社会環境 が望ましくない から	仕事と子育ての 両立が難しいと 思うから	自分やパート ナーとの時間や 生活を大切にし たいから	その他
全 体	267	15.0	8.2	7.5	3.4
【年収別】					
収入なし	31	25.8	3.2	-	6.5
200万円未満	90	10.0	5.6	6.7	3.3
200万円～300万円未満	60	15.0	13.3	10.0	3.3
300万円～400万円未満	51	17.6	7.8	7.8	2.0
400万円～500万円未満	21	19.0	14.3	9.5	4.8
500万円以上	14	7.1	7.1	14.3	-

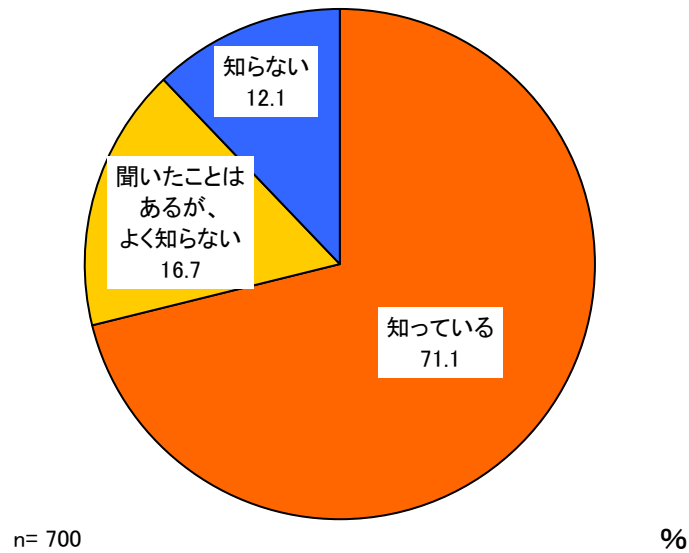
※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【年収別】

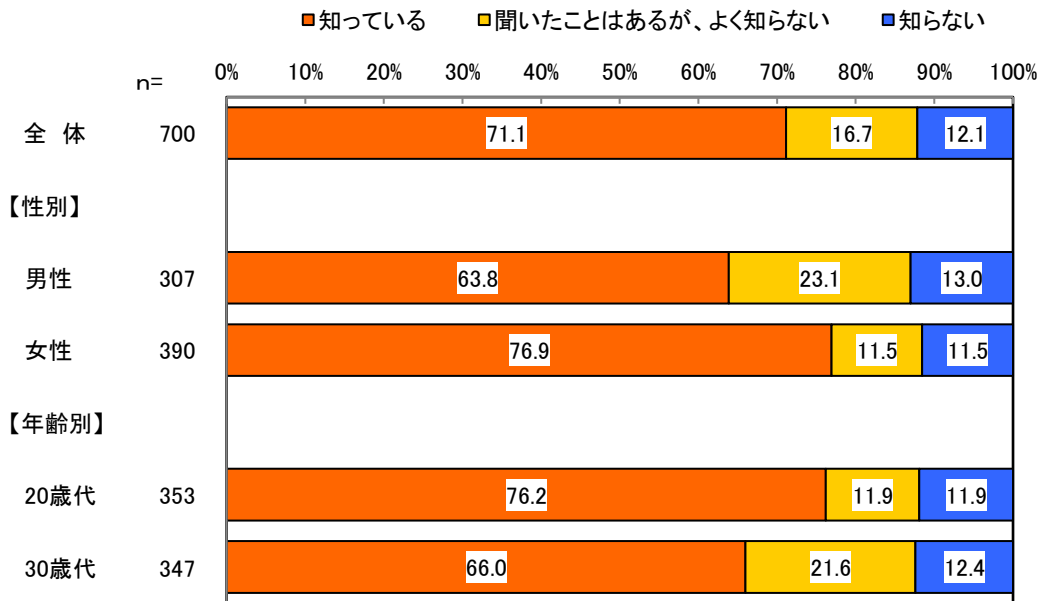
年収別でみると、「経済的に負担が大きいから」は 300 万円～400 万円未満で 54.9%と高くなっている。

問 16 あなたは男女ともに年齢が高くなるほど妊娠の確率が低下することなど、妊娠と年齢の関係について知っていますか。

妊娠と年齢の関係については、「知っている」が71.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.7%、「知らない」が12.1%となっている。



妊娠と年齢の関係の認知度（性別、年齢別）



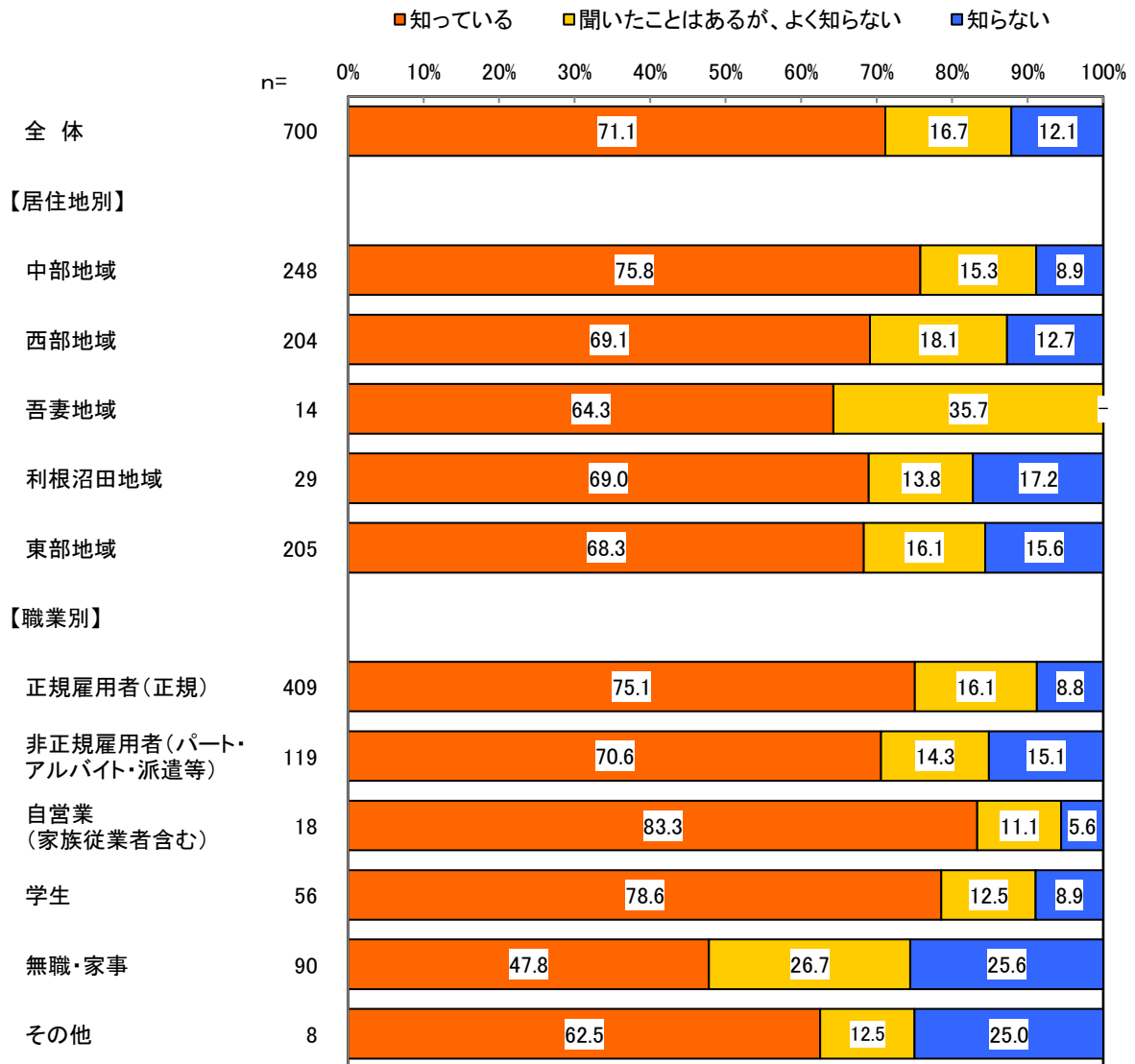
【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「知っている」が13.1ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「聞いたことはあるが、よく知らない」が11.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「知っている」は20歳代で76.2%と高くなっている。一方、30歳代では66.0%と低く、「聞いたことはあるが、よく知らない」が21.6%と高くなっている。

妊娠と年齢の関係の認知度（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

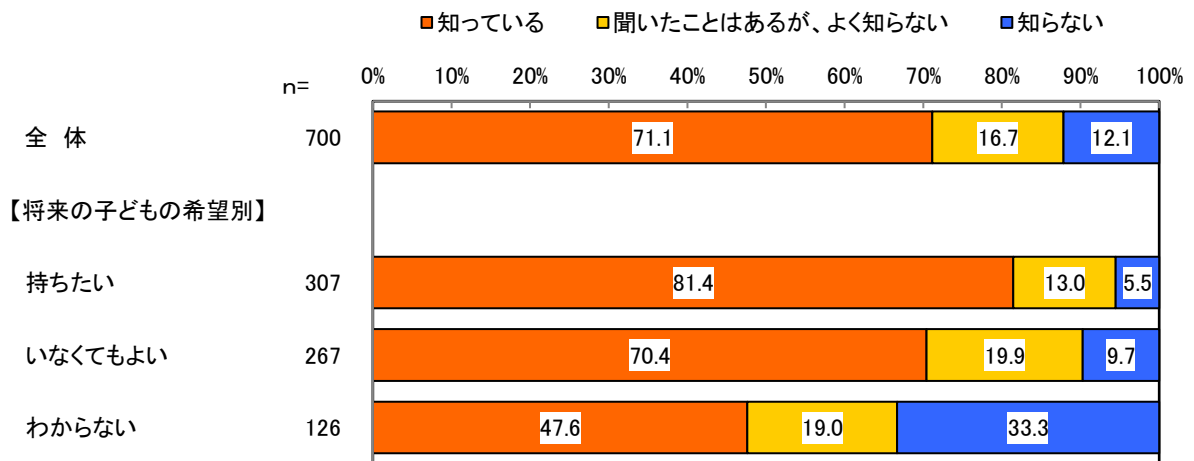
【居住地別】

居住地別で見ると、「知っている」は中部地域で75.8%と高くなっている。

【職業別】

職業別で見ると、「知っている」は学生で78.6%、正規雇用者(正規)で75.1%と高くなっている。一方、無職・家事では47.8%と低く、「聞いたことはあるが、よく知らない」が26.7%、「知らない」が25.6%と高くなっている。

妊娠と年齢の関係の認知度（将来の子どもの希望別）



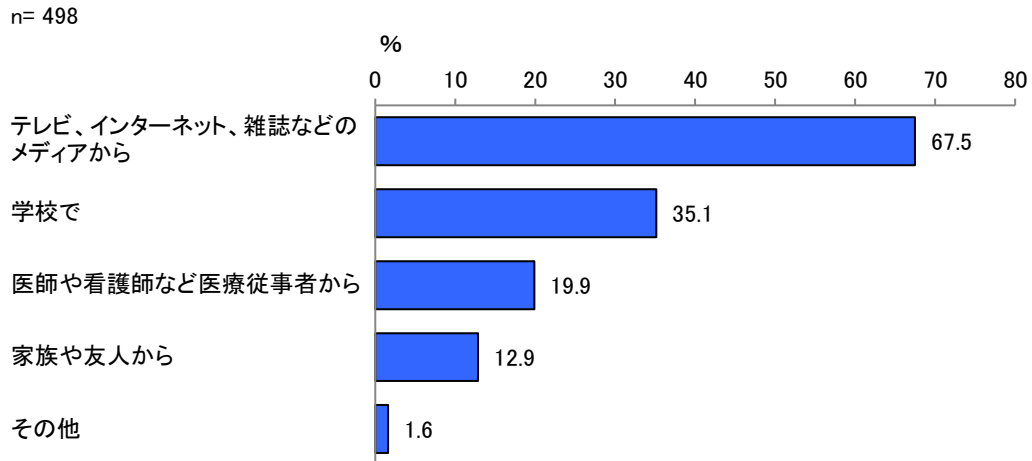
【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「知っている」は“持ちたい”で81.4%と高くなっている。一方、“わからない”では47.6%と低く、「知らない」が33.3%と高くなっている。

【問16で「知っている」と回答した方にお聞きします。】

問17 どのようにして知りましたか。(回答はいくつでも)

どのように知ったかは、「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」が67.5%で最も高く、次いで「学校で」が35.1%、「医師や看護師など医療従事者から」が19.9%となっている。



妊娠と年齢の関係の認知手段（性別、年齢別、居住地別）

(%)

	n	テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから	学校で	医師や看護師など医療従事者から	家族や友人から	その他
全体	498	67.5	35.1	19.9	12.9	1.6
【性別】						
男性	196	72.4	31.6	14.3	12.2	0.5
女性	300	64.7	37.3	23.0	13.0	2.3
【年齢別】						
20歳代	269	59.5	43.9	21.9	12.3	2.2
30歳代	229	76.9	24.9	17.5	13.5	0.9
【居住地別】						
中部地域	188	61.7	38.3	18.1	10.6	1.1
西部地域	141	70.9	28.4	26.2	14.9	2.8
吾妻地域	9	66.7	33.3	33.3	-	-
利根沼田地域	20	65.0	30.0	15.0	15.0	-
東部地域	140	72.1	38.6	15.7	14.3	1.4

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」が7.7ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「医師や看護師など医療従事者から」が8.7ポイント、「学校で」が5.7ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」は30歳代で76.9%と高くなっている。一方、「学校で」は20歳代で43.9%と高くなっている。

【居住地別】

居住地別で見ると、「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」は東部地域で72.1%と高くなっている。「医師や看護師など医療従事者から」は西部地域で26.2%と高くなっている。

妊娠と年齢の関係の認知手段（職業別）

(%)

	n	テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから	学校で	医師や看護師など医療従事者から	家族や友人から	その他
全体	498	67.5	35.1	19.9	12.9	1.6
【職業別】						
正規雇用者(正規)	307	67.1	35.2	22.5	13.7	1.6
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	84	76.2	23.8	11.9	14.3	2.4
自営業(家族従業者含む)	15	66.7	40.0	13.3	6.7	-
学生	44	47.7	59.1	20.5	11.4	2.3
無職・家事	43	72.1	34.9	18.6	9.3	-
その他	5	80.0	-	20.0	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

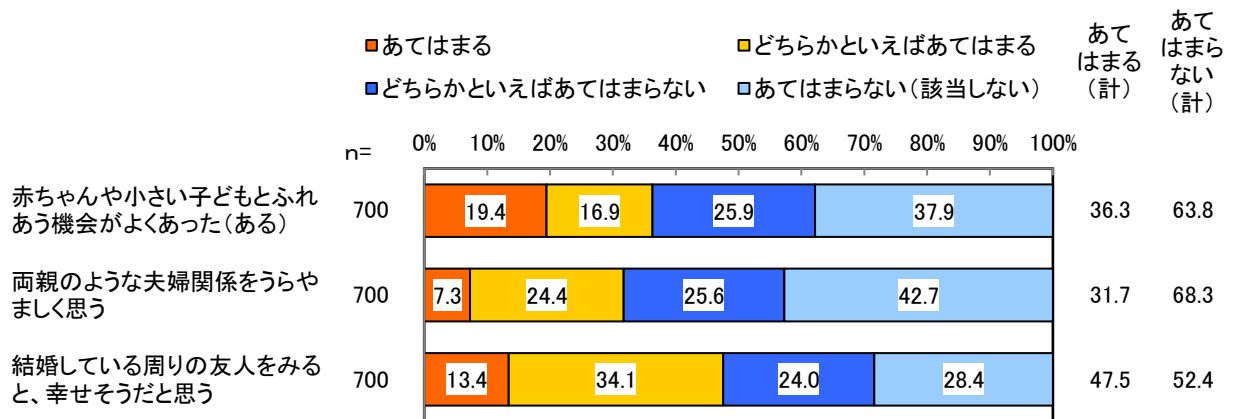
【職業別】

職業別でみると、「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で76.2%と高くなっている。「学校で」は学生で59.1%と高くなっている。

問 18 あなたの身近な状況について、あてはまるものをお答えください。

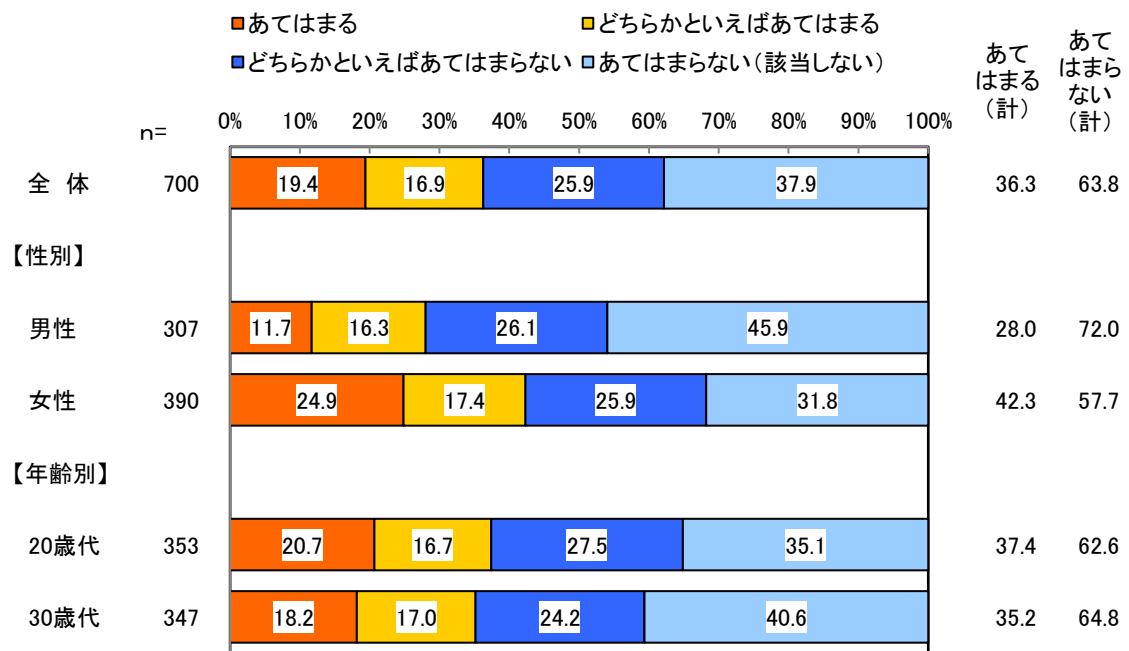
(質問項目に該当する相手がいない (いなかった) 場合は、「あてはまらない (該当しない)」を選択してください。)(回答はそれぞれ1つ)

身近な状況は、どの状況でも「あてはまらない (計)」が高く、“両親のような夫婦関係をうらやましく思う”が68.3%、“赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった (ある)”が63.8%と高くなっている。



※「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の計を「あてはまる (計)」、「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない (該当しない)」の計を「あてはまらない (計)」とした。

身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（ある）（性別、年齢別）



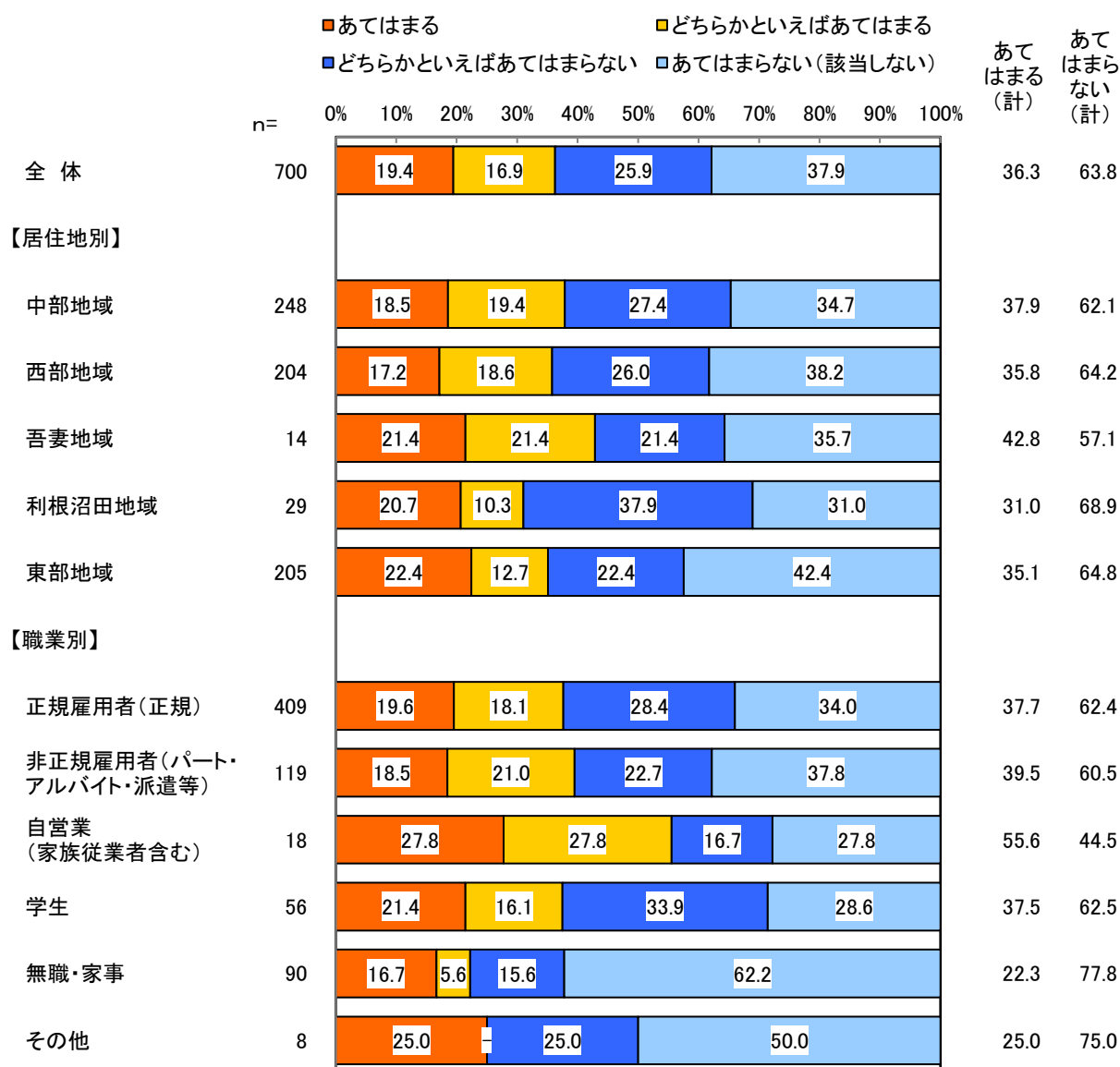
【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「あてはまる（計）」が14.3ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「あてはまらない（該当しない）」は30歳代で40.6%と高くなっている。

身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（ある）（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

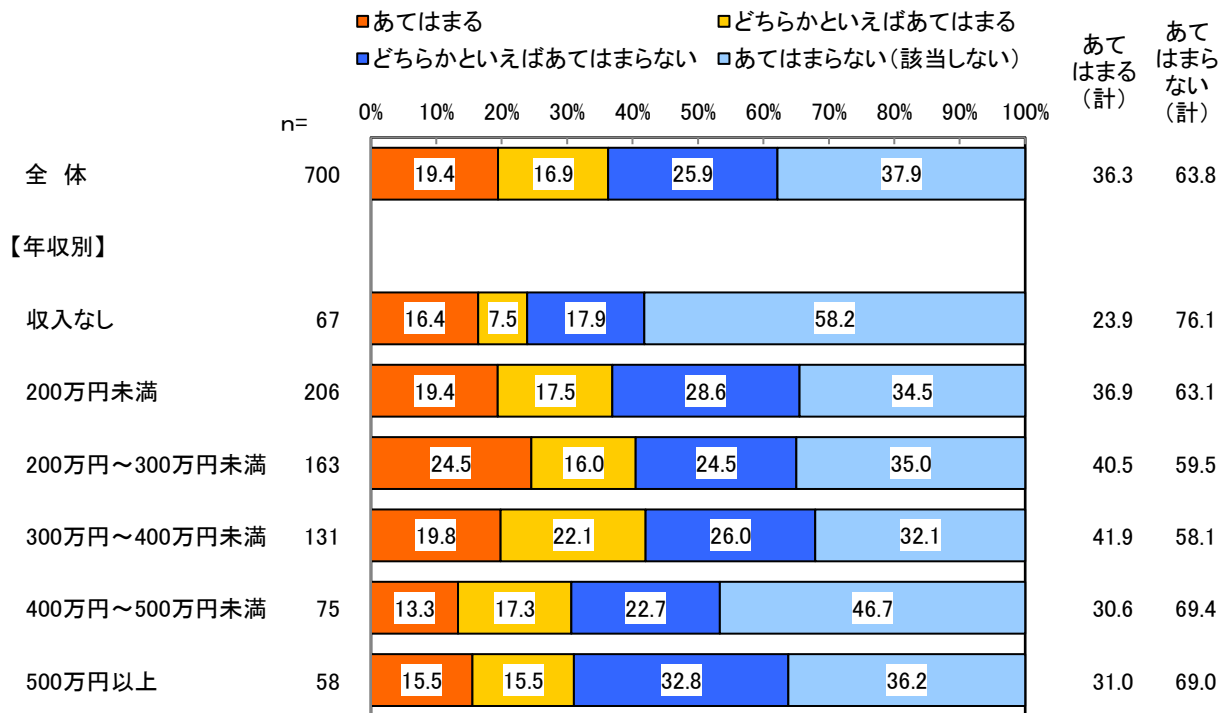
【居住地別】

居住地別でみると、「あてはまる（計）」は中部地域で37.9%と高くなっている。一方、利根沼田地域では31.0%と低くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「あてはまらない（計）」は無職・家事で77.8%と高くなっている。

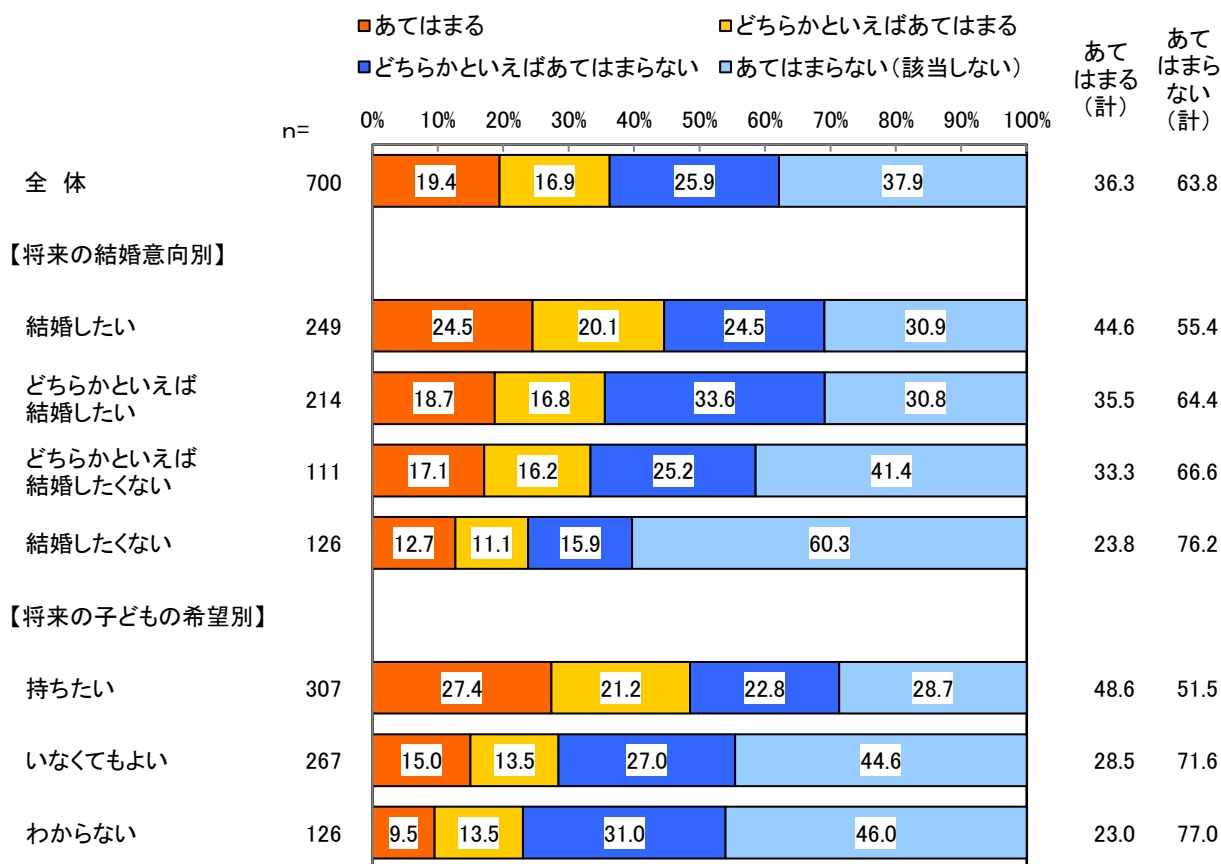
身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（ある）（年収別）



【年収別】

年収別でみると、「あてはまる（計）」は300万円～400万円未満で41.9%と高くなっている。一方、収入なしでは23.9%と低くなっている。

身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（ある）
 (将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別)



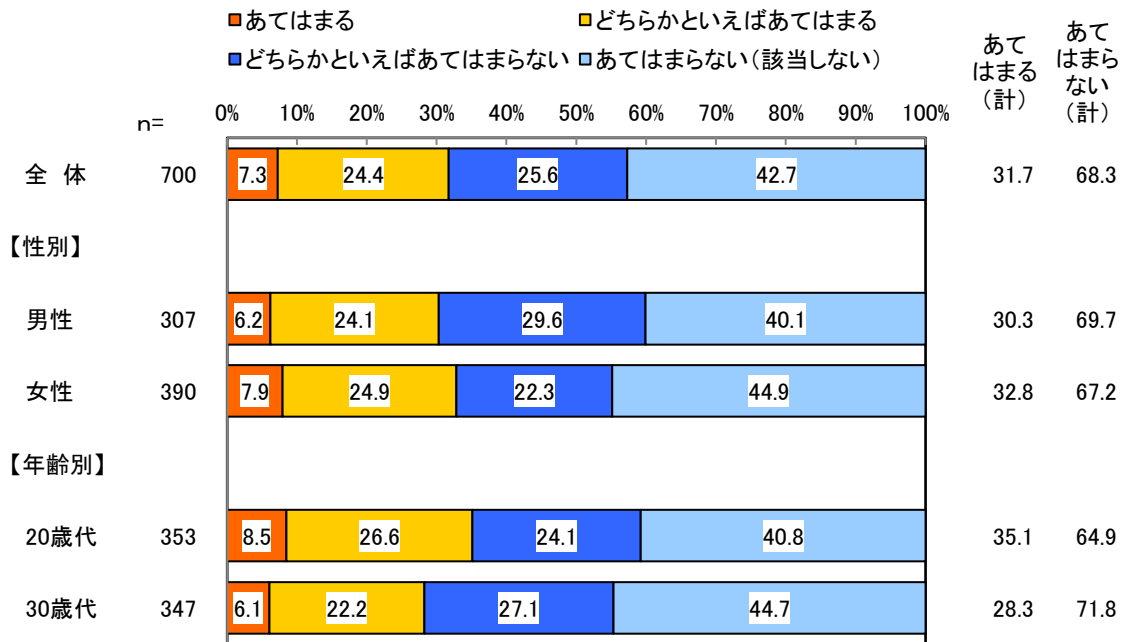
【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど「あてはまる(計)」が高く、“結婚したい”で44.6%となっている。一方、“結婚したくない”では23.8%と低くなっている。

【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「あてはまる(計)」は“持ちたい”で48.6%と高くなっている。一方、“わからない”では23.0%と低くなっている。

身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思う（性別、年齢別）



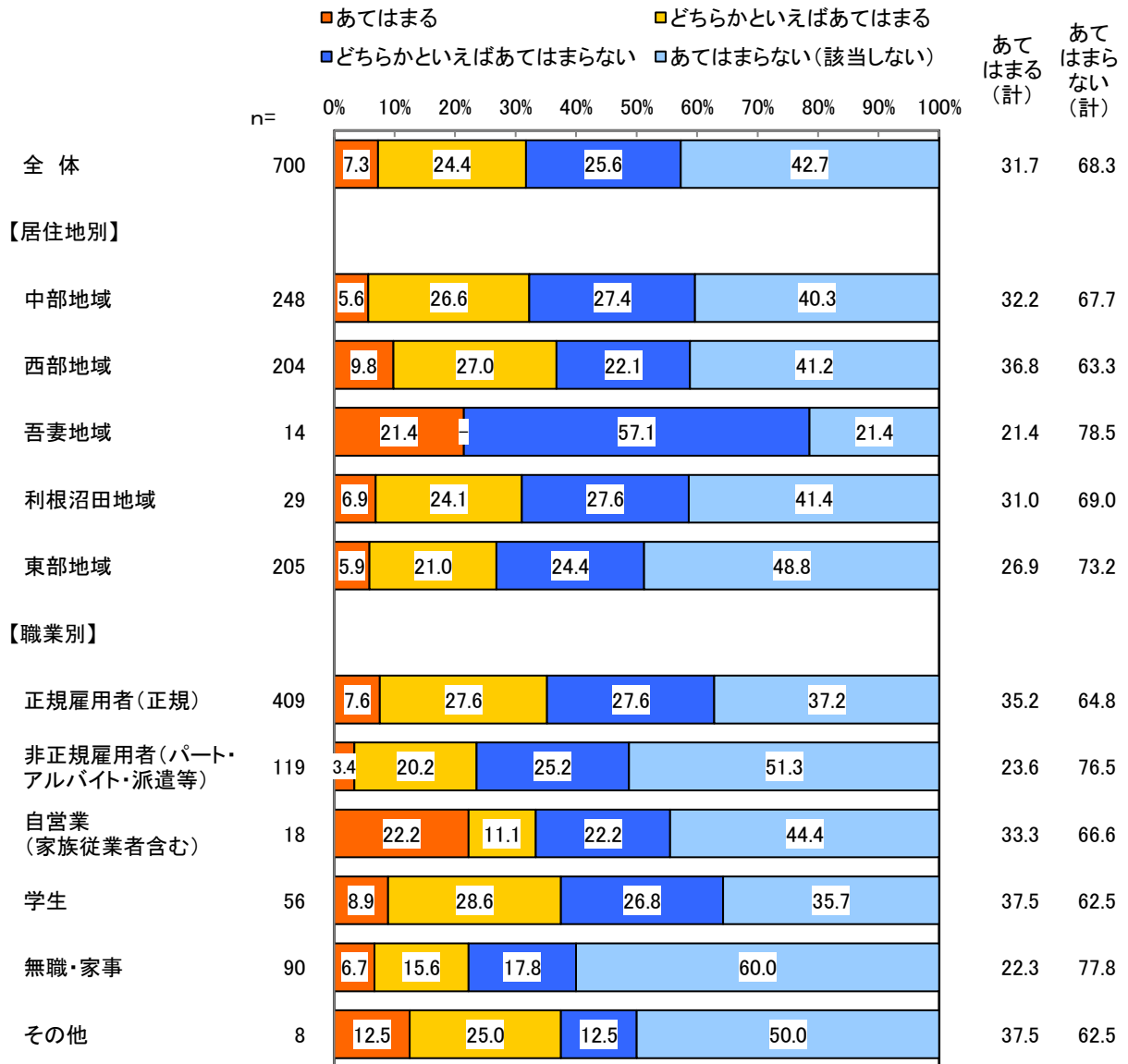
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「あてはまる（計）」は 20 歳代で 35.1%と高くなっている。一方、30 歳代では 28.3%と低くなっている。

身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思う（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

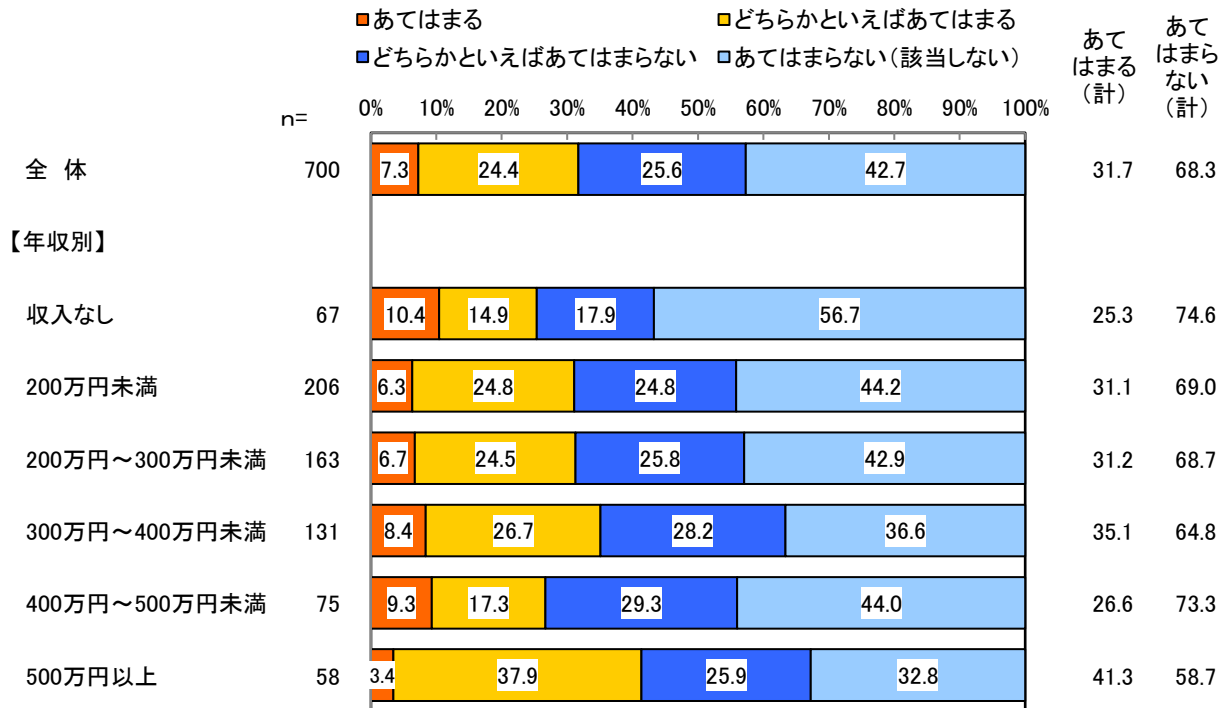
【居住地別】

居住地別でみると、「あてはまる（計）」は西部地域で36.8%と高くなっている。一方、東部地域では26.9%と低くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「あてはまる（計）」は学生で37.5%、正規雇用者（正規）で35.2%と高くなっている。一方、無職・家事では22.3%、非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）では23.6%と低くなっている。

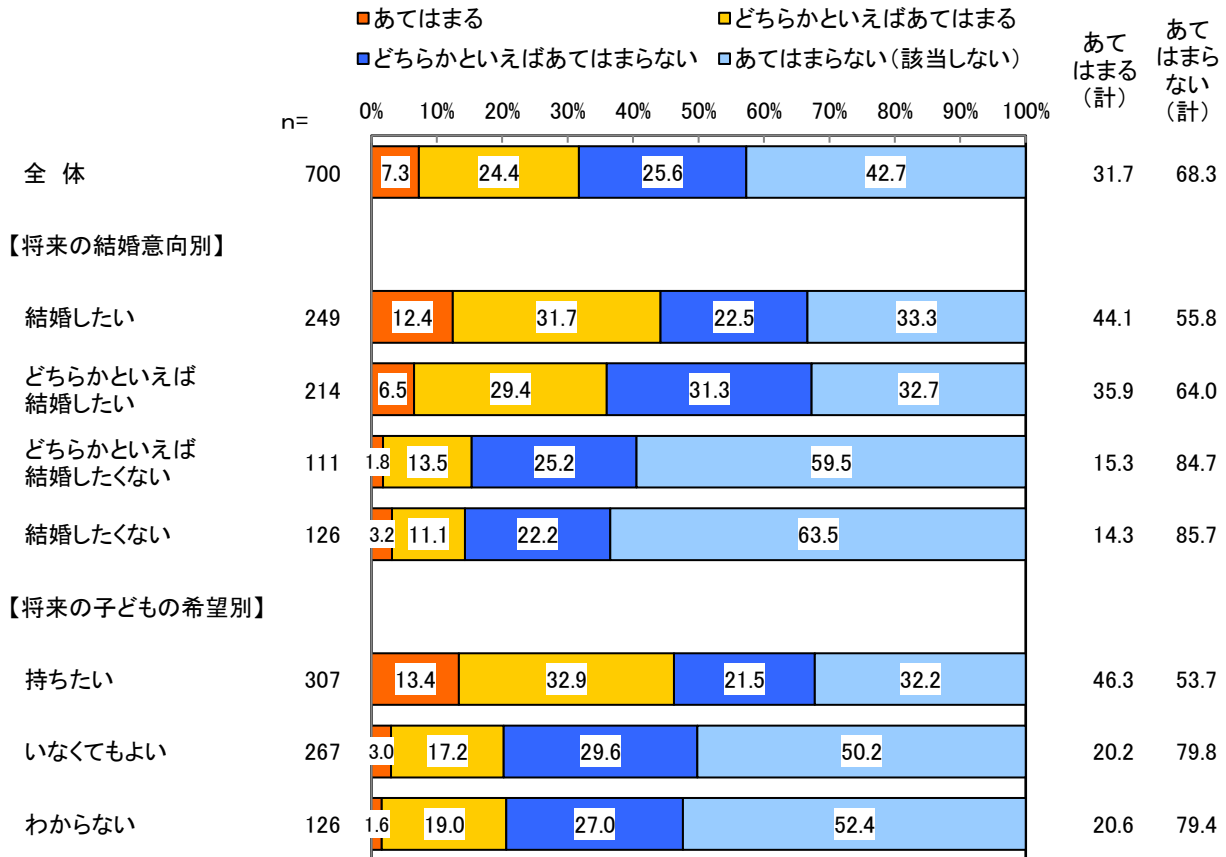
身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思う（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「あてはまる（計）」は500万円以上で41.3%と高くなっている。一方、収入なしでは23.3%、400万円～500万円未満では26.6%と低くなっている。

身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思う
(将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別)



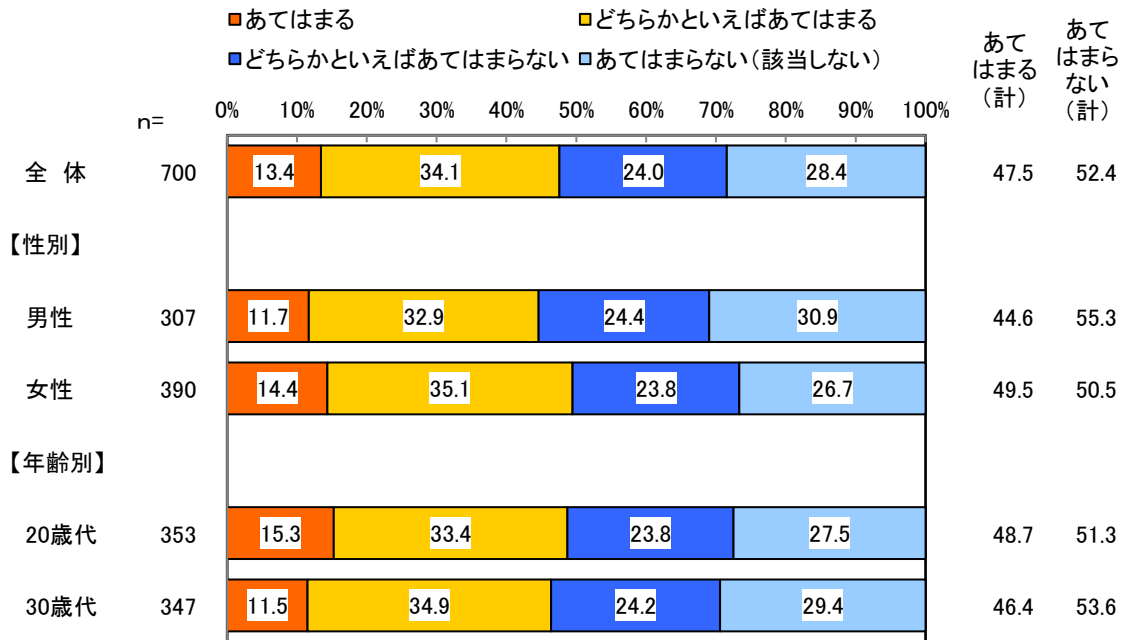
【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、「あてはまる(計)」は結婚意向が高いほど高く、「結婚したい」で44.1%となっている。一方、「結婚したくない」では14.3%、「どちらかといえば結婚したくない」では15.3%と低くなっている。

【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「あてはまる(計)」は「持ちたい」で46.3%と高くなっている。一方、「いなくてもよい」では20.2%、「わからない」では20.6%と低くなっている。

身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思う (性別、年齢別)



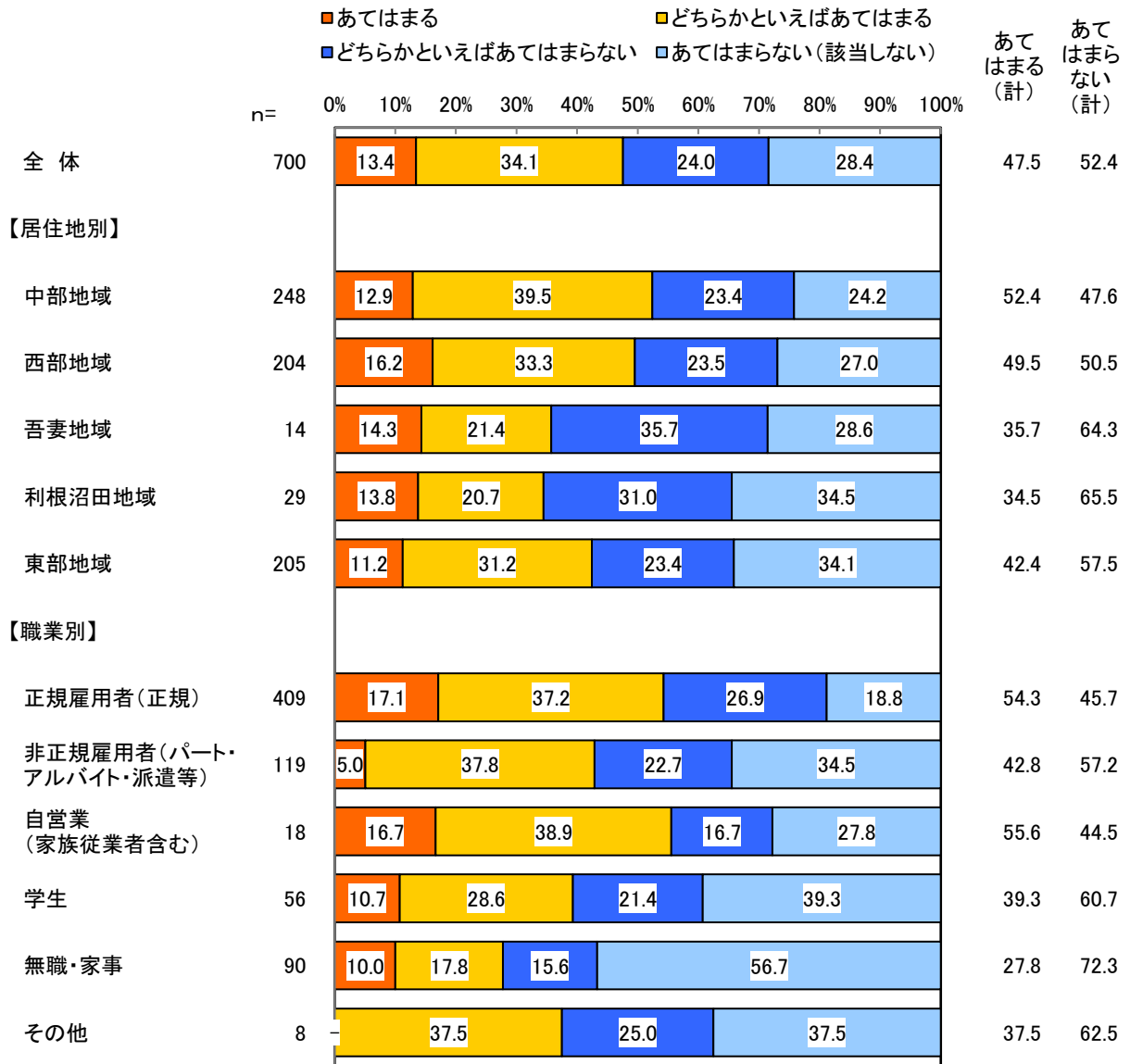
【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「あてはまる (計)」が4.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、年齢による大きな差はみられない。

身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思う（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

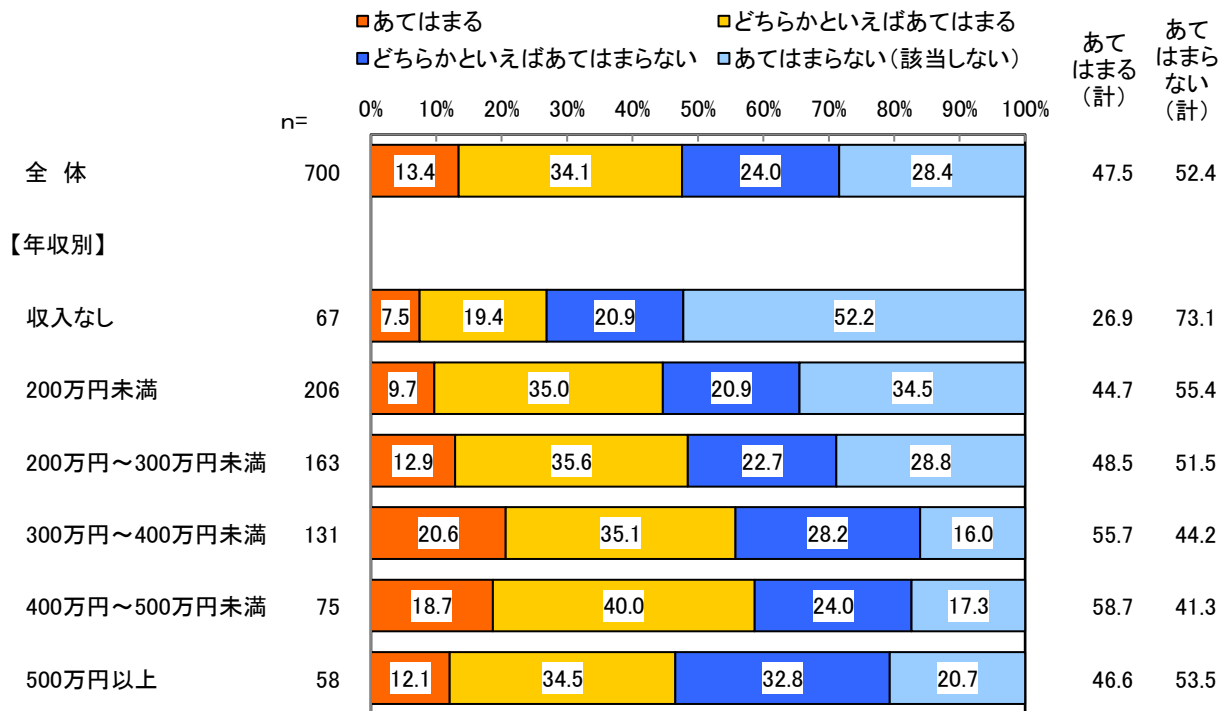
【居住地別】

居住地別でみると、「あてはまる（計）」は中部地域で52.4%と高くなっている。一方、利根沼田地域では34.5%と低くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「あてはまる（計）」は正規雇用者（正規）で54.3%と高くなっている。一方、無職・家事では27.8%と低くなっている。

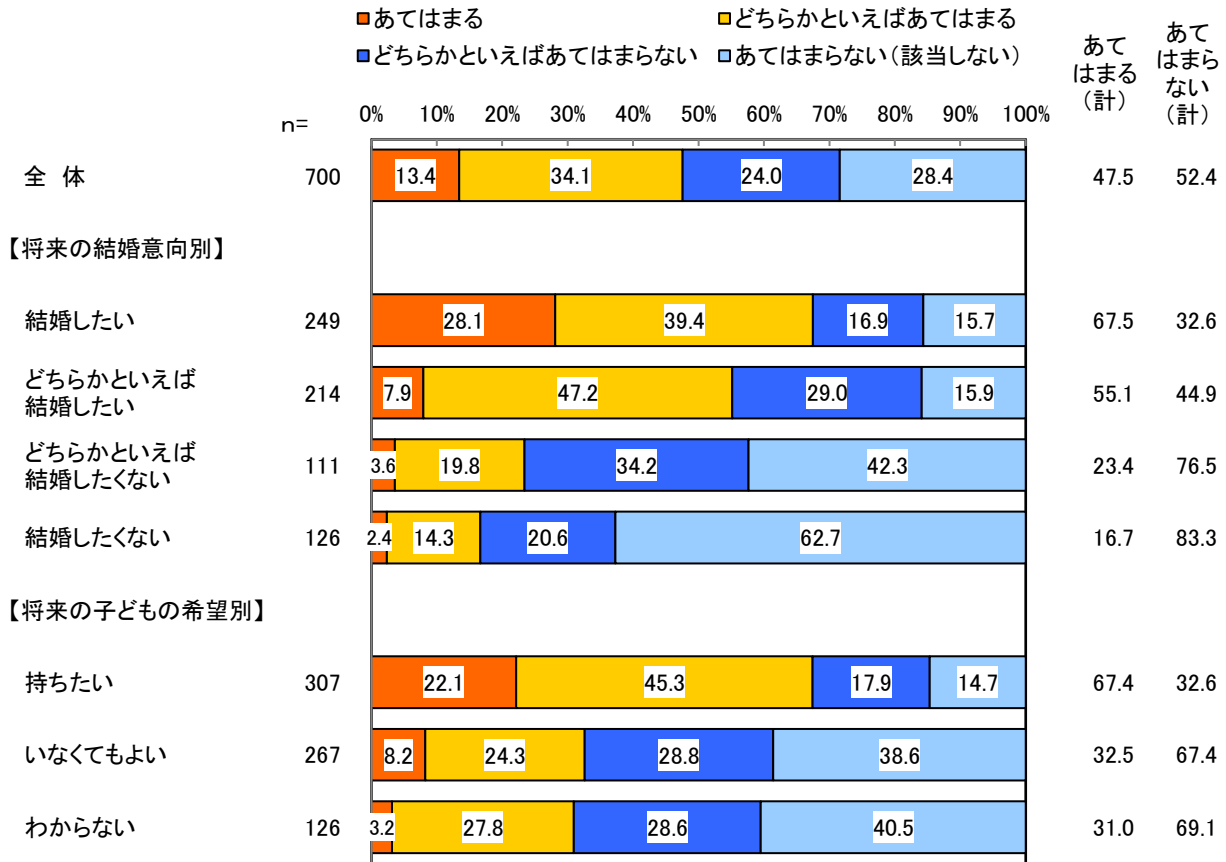
身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思う（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「あてはまる（計）」は500万円未満までは年収が上がるほど高くなり、400万円～500万円未満で58.7%となっている。一方、“収入なし”では26.9%と低くなっている。

身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思う
(将来の結婚意向別、将来の子どもの希望別)



【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、「あてはまる (計)」は結婚意向が高いほど高く、「結婚したい」で 67.5% となっている。一方、「結婚したくない」では 16.7% と低くなっている。

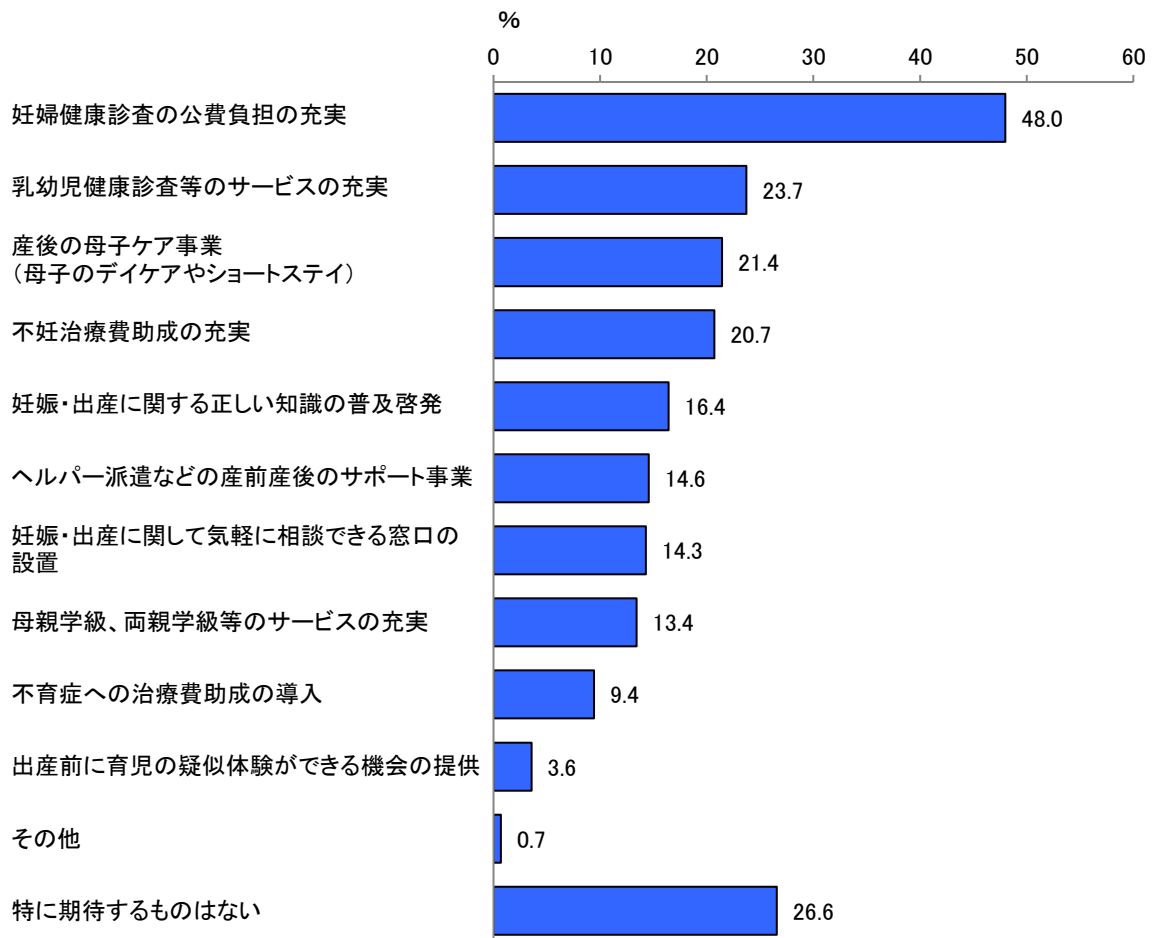
【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「あてはまる (計)」は「持ちたい」で 67.4% と高くなっている。一方、「わからない」では 31.0%、「いなくてもよい」では 32.5% と低くなっている。

問 19 妊娠・出産にかかる支援として、どのようなことを行政に期待しますか。(回答は3つまで)

行政に期待する妊娠・出産にかかる支援は、「妊婦健康診査の公費負担の充実」が 48.0%で最も高く、次いで「特に期待するものはない」が 26.6%、「乳幼児健康診査等のサービスの充実」が 23.7%となっている。

n= 700



妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること（性別、年齢別）

(%)

	n	妊婦健康診査の公費負担の充実	乳幼児健康診査等のサービスの充実	産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ)	不妊治療費助成の充実	妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発	ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業
全体	700	48.0	23.7	21.4	20.7	16.4	14.6
【性別】							
男性	307	45.6	21.8	19.2	16.0	13.7	11.7
女性	390	49.5	24.6	23.3	24.4	18.7	16.9
【年齢別】							
20歳代	353	52.1	27.2	20.7	21.5	20.4	13.0
30歳代	347	43.8	20.2	22.2	19.9	12.4	16.1

(%)

	n	妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置	母親学級、両親学級等のサービスの充実	不育症への治療費助成の導入	出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供	その他	特に期待するものはない
全体	700	14.3	13.4	9.4	3.6	0.7	26.6
【性別】							
男性	307	11.1	15.0	7.8	2.6	1.0	32.2
女性	390	16.9	12.1	10.8	4.4	0.5	22.3
【年齢別】							
20歳代	353	16.7	15.6	8.8	4.2	0.3	22.9
30歳代	347	11.8	11.2	10.1	2.9	1.2	30.3

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「不妊治療費助成の充実」が8.4ポイント、「妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置」が5.8ポイント、「ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業」が5.2ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「特に期待するものはない」が9.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、20歳代で「妊婦健康診査の公費負担の充実」が52.1%、「乳幼児健康診査等のサービスの充実」が27.2%、「妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発」が20.4%と高くなっている。一方、「特に期待するものはない」は30歳代で30.3%と高くなっている。

妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること（居住地別）

(%)

	n	妊婦健康診査の公費負担の充実	乳幼児健康診査等のサービスの充実	産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ)	不妊治療費助成の充実	妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発	ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業
全体	700	48.0	23.7	21.4	20.7	16.4	14.6
【居住地別】							
中部地域	248	48.0	23.0	26.6	18.5	14.1	14.5
西部地域	204	49.0	20.6	19.1	21.6	18.1	17.2
吾妻地域	14	42.9	50.0	14.3	35.7	14.3	-
利根沼田地域	29	58.6	24.1	17.2	31.0	17.2	6.9
東部地域	205	45.9	25.9	18.5	20.0	17.6	14.1

(%)

	n	妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置	母親学級、両親学級等のサービスの充実	不育症への治療費助成の導入	出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供	その他	特に期待するものはない
全体	700	14.3	13.4	9.4	3.6	0.7	26.6
【居住地別】							
中部地域	248	16.9	12.9	8.5	4.4	0.4	25.4
西部地域	204	13.7	13.7	11.3	3.4	1.0	24.5
吾妻地域	14	14.3	28.6	14.3	-	-	21.4
利根沼田地域	29	10.3	20.7	3.4	-	3.4	24.1
東部地域	205	12.2	11.7	9.3	3.4	0.5	30.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「妊婦健康診査の公費負担の充実」は利根沼田地域で58.6%と高く、「不妊治療費助成の充実」も利根沼田地域で31.0%と高くなっている。「産後の母子ケア事業（母子のデイケアやショートステイ）」は中部地域で26.6%と高くなっている。

妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること（職業別）

(%)

	n	妊婦健康診査の公費負担の充実	乳幼児健康診査等のサービスの充実	産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ)	不妊治療費助成の充実	妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発	ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業
全体	700	48.0	23.7	21.4	20.7	16.4	14.6
【職業別】							
正規雇用者(正規)	409	53.1	24.9	22.0	24.0	16.1	13.9
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	40.3	21.8	22.7	17.6	16.8	18.5
自営業(家族従業者含む)	18	55.6	33.3	22.2	38.9	5.6	16.7
学生	56	62.5	39.3	19.6	16.1	30.4	12.5
無職・家事	90	24.4	11.1	16.7	10.0	10.0	14.4
その他	8	50.0	-	37.5	12.5	25.0	-

(%)

	n	妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置	母親学級、両親学級等のサービスの充実	不育症への治療費助成の導入	出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供	その他	特に期待するものはない
全体	700	14.3	13.4	9.4	3.6	0.7	26.6
【職業別】							
正規雇用者(正規)	409	12.7	15.9	10.0	3.9	0.7	21.5
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	18.5	7.6	11.8	4.2	0.8	31.9
自営業(家族従業者含む)	18	16.7	16.7	16.7	-	-	11.1
学生	56	17.9	17.9	3.6	1.8	-	12.5
無職・家事	90	13.3	6.7	5.6	3.3	1.1	53.3
その他	8	12.5	12.5	12.5	-	-	37.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「妊婦健康診査の公費負担の充実」は学生で62.5%、「乳幼児健康診査等のサービスの充実」も学生で39.3%、「妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発」も学生で30.4%と高くなっている。一方、「特に期待するものはない」は無職・家事で53.3%と高くなっている。

妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること（年収別）

(%)

	n	妊婦健康診査の公費負担の充実	乳幼児健康診査等のサービスの充実	産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ)	不妊治療費助成の充実	妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発	ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業
全体	700	48.0	23.7	21.4	20.7	16.4	14.6
【年収別】							
収入なし	67	26.9	16.4	11.9	10.4	14.9	14.9
200万円未満	206	48.1	23.3	21.4	18.4	17.0	14.6
200万円～300万円未満	163	49.7	29.4	22.7	24.5	14.7	16.6
300万円～400万円未満	131	51.9	22.9	24.4	22.9	19.1	15.3
400万円～500万円未満	75	61.3	21.3	24.0	25.3	22.7	9.3
500万円以上	58	41.4	22.4	19.0	19.0	6.9	13.8

(%)

	n	妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置	母親学級、両親学級等のサービスの充実	不育症への治療費助成の導入	出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供	その他	特に期待するものはない
全体	700	14.3	13.4	9.4	3.6	0.7	26.6
【年収別】							
収入なし	67	6.0	7.5	9.0	4.5	-	50.7
200万円未満	206	20.9	11.2	7.3	2.9	1.0	27.2
200万円～300万円未満	163	14.1	17.8	12.3	2.5	-	22.7
300万円～400万円未満	131	13.7	14.5	9.2	6.1	0.8	19.1
400万円～500万円未満	75	9.3	16.0	12.0	4.0	1.3	17.3
500万円以上	58	8.6	10.3	6.9	1.7	1.7	36.2

【年収別】

年収別でみると、「妊婦健康診査の公費負担の充実」は400万円～500万円未満で61.3%と高くなっている。「乳幼児健康診査等のサービスの充実」は200万円～300万円未満で29.4%と高くなっている。一方、「特に期待するものはない」は収入なしで50.7%と高くなっている。

妊娠・出産にかかる支援として行政に期待すること（結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	妊婦健康診査の公費負担の充実	乳幼児健康診査等のサービスの充実	産後の母子ケア事業(母子のデイケアやショートステイ)	不妊治療費助成の充実	妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発	ヘルパー派遣などの産前産後のサポート事業
全体	700	48.0	23.7	21.4	20.7	16.4	14.6
【結婚しやすい社会か】							
結婚しやすい社会	59	44.1	28.8	22.0	25.4	16.9	8.5
結婚しにくい社会	424	55.9	25.5	25.5	22.6	16.7	17.9
どちらともいえない	217	33.6	18.9	13.4	15.7	15.7	9.7

(%)

	n	妊娠・出産に関して気軽に相談できる窓口の設置	母親学級、両親学級等のサービスの充実	不育症への治療費助成の導入	出産前に育児の疑似体験ができる機会の提供	その他	特に期待するものはない
全体	700	14.3	13.4	9.4	3.6	0.7	26.6
【結婚しやすい社会か】							
結婚しやすい社会	59	20.3	22.0	6.8	1.7	-	16.9
結婚しにくい社会	424	15.1	16.3	10.8	4.2	1.2	17.7
どちらともいえない	217	11.1	5.5	7.4	2.8	-	46.5

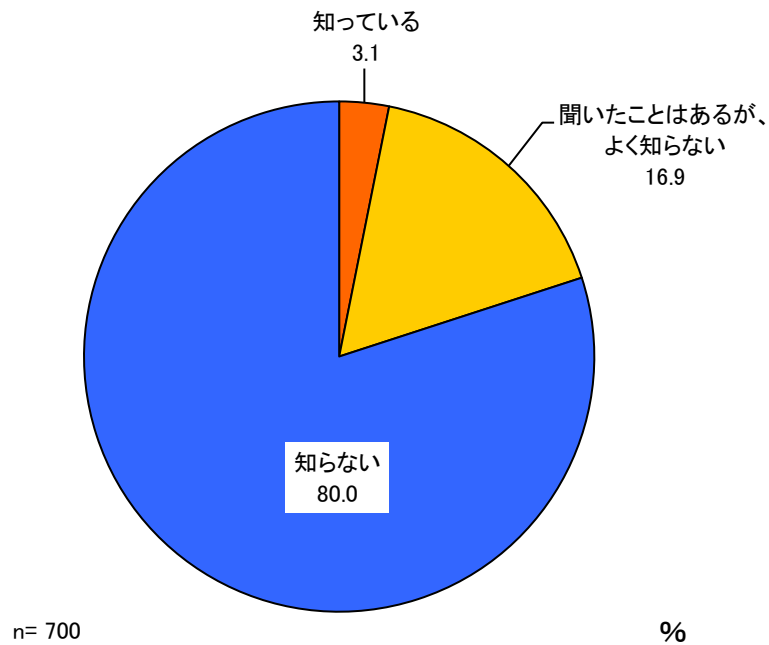
【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「妊婦健康診査の公費負担の充実」は「結婚しにくい社会」で55.9%と高くなっている。一方、「結婚しやすい社会」で「乳幼児健康診査等のサービスの充実」が28.8%、「不妊治療費助成の充実」が25.4%、「母親学級、両親学級等のサービスの充実」が22.0%と高くなっている。また、「特に期待するものはない」は「どちらともいえない」で46.5%と高くなっている。

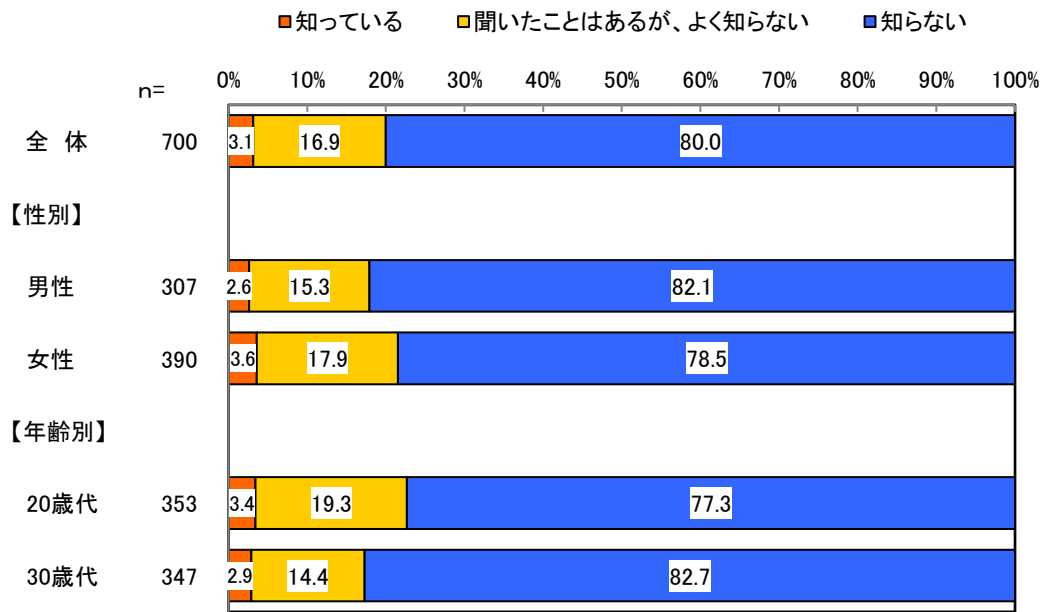
問 20 あなたは、「ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センター※」を知っていますか。

※身体の変化や妊娠に関することなど、女性の健康に関する悩みを助産師に電話で相談できる機関

「ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センター」の認知度は、「知っている」が 3.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 16.9%、「知らない」が 80.0%となっている。



ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度（性別、年齢別）



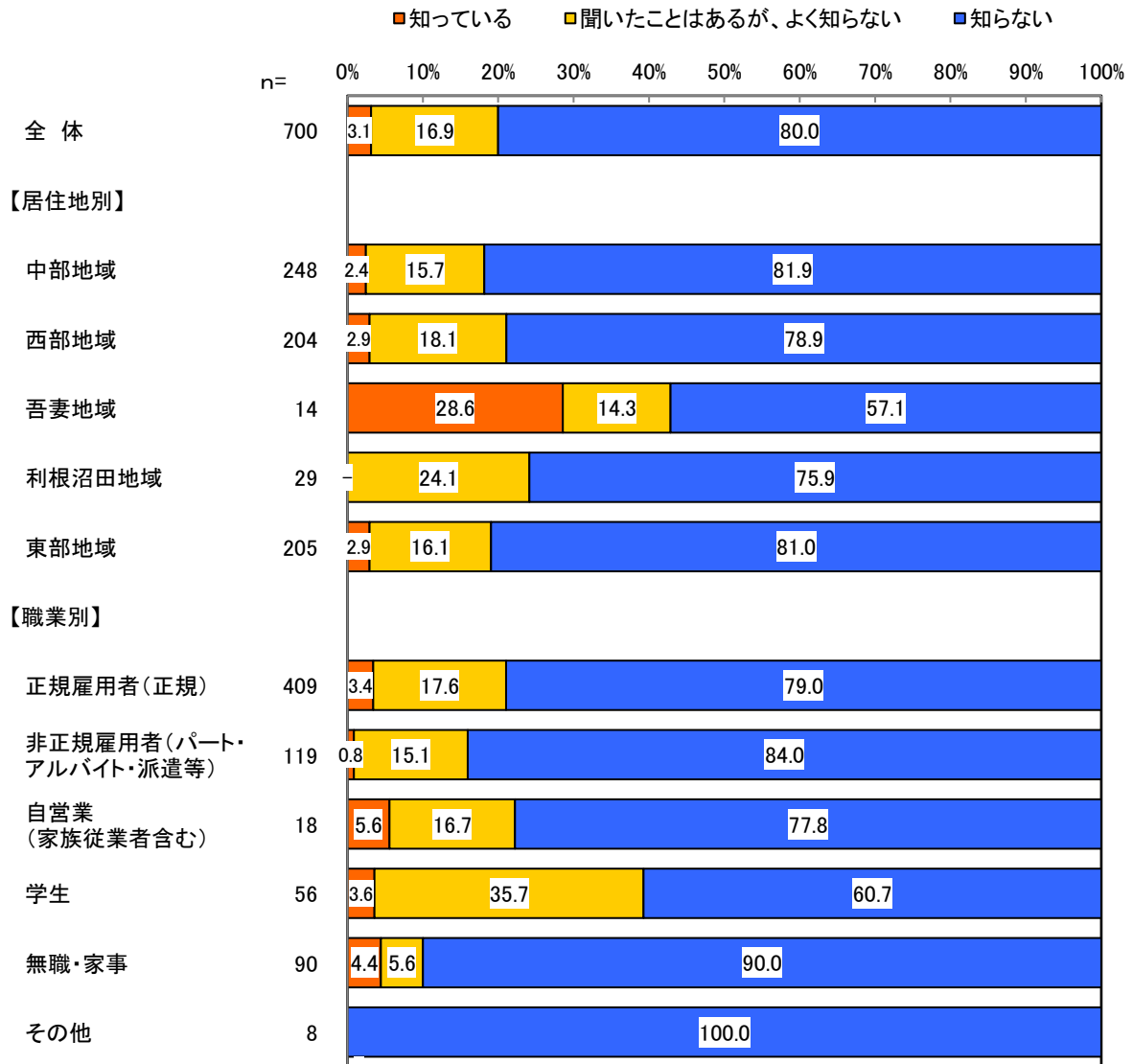
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「聞いたことはあるが、よく知らない」は20歳代で19.3%と高くなっている。一方、30歳代では14.4%と低く、「知らない」が82.7%と高くなっている。

ぐんま女性の健康・妊娠SOS相談センターの認知度（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別で見ると、「聞いたことはあるが、よく知らない」は利根沼田地域で24.1%と高くなっている。

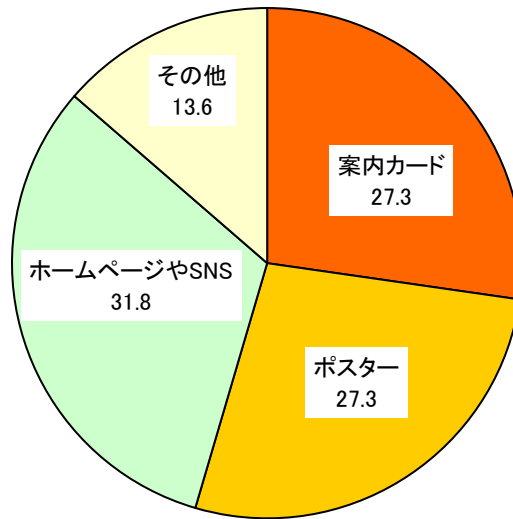
【職業別】

職業別で見ると、「聞いたことはあるが、よく知らない」は学生で35.7%と高くなっている。一方、無職・家事では5.6%と低くなっている。

【問20で「知っている」と回答した方に伺います。】

問21 どのようにして知りましたか。

どのようにして知ったかは、「ホームページやSNS」が31.8%で最も高く、次いで「案内カード」と「ポスター」がそれぞれ27.3%となっている。



n= 22

%

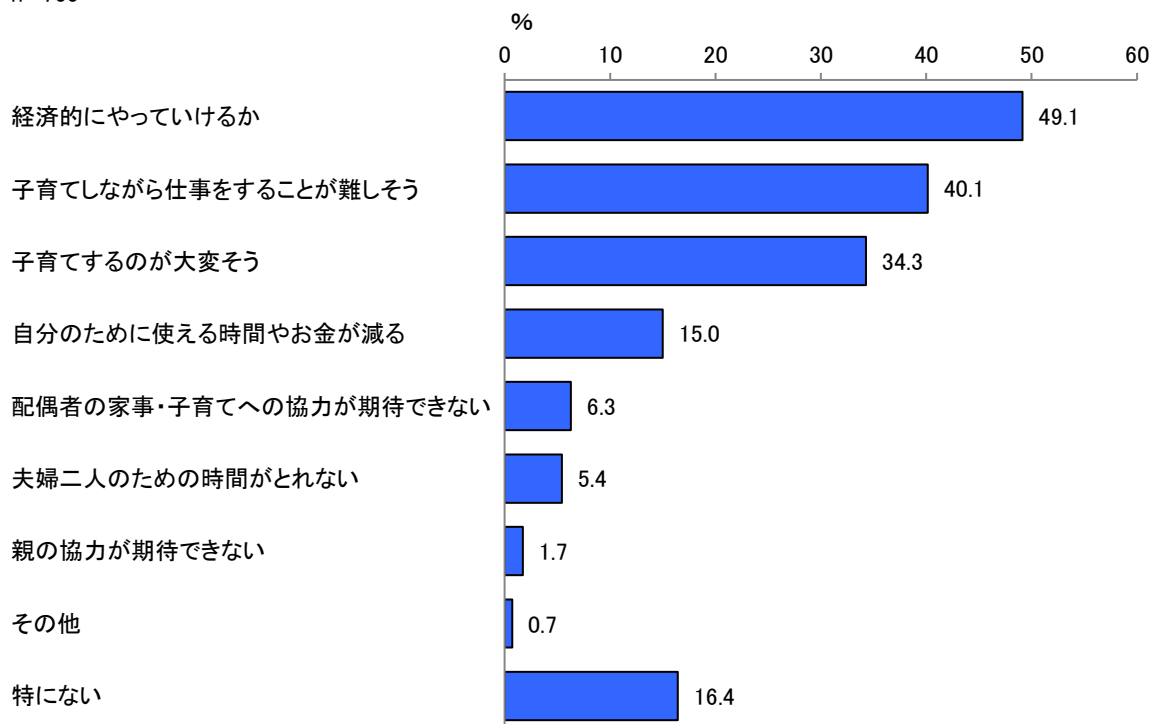
※クロス集計については母数が少ないため省略する。

4 子育てに対する考えについて

問 22 将来、子育てをする上で不安なことは何ですか。(回答は2つまで)

将来子育てをする上で不安なことは、「経済的にやっていけるか」が49.1%で最も高く、次いで「子育てしながら仕事をするのが難しそう」が40.1%、「子育てするのが大変そう」が34.3%となっている。

n= 700



将来子育てをする上で不安なこと（性別、年齢別）

(%)

	n	経済的にやっていけるか	子育てしながら仕事をするのが難しそう	子育てするのが大変そう	自分のために使える時間やお金が減る	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
全体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【性別】						
男性	307	48.2	34.5	36.2	13.0	4.2
女性	390	50.0	44.4	32.6	16.4	7.9
【年齢別】						
20歳代	353	49.0	46.7	30.3	14.2	9.6
30歳代	347	49.3	33.4	38.3	15.9	2.9

(%)

	n	夫婦二人のための時間がとれない	親の協力が期待できない	その他	特にない
全体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【性別】					
男性	307	6.5	1.3	0.7	18.9
女性	390	4.6	2.1	0.8	14.6
【年齢別】					
20歳代	353	4.5	2.3	-	15.9
30歳代	347	6.3	1.2	1.4	17.0

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「子育てしながら仕事をするのが難しそう」が9.9ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「特にない」が4.3ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「子育てしながら仕事をするのが難しそう」は20歳代で46.7%と高くなっている。一方、「子育てするのが大変そう」は30歳代で38.3%と高くなっている。

将来子育てをする上で不安なこと（居住地別）

(%)

	n	経済的にやっつけられるか	子育てしながら仕事をすることが難しそう	子育てするのが大変そう	自分のために使える時間やお金が減る	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
全体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【居住地別】						
中部地域	248	48.4	42.3	36.3	14.9	8.5
西部地域	204	50.5	39.2	34.8	13.2	3.9
吾妻地域	14	57.1	42.9	21.4	14.3	7.1
利根沼田地域	29	51.7	48.3	34.5	13.8	-
東部地域	205	47.8	37.1	32.2	17.1	6.8

(%)

	n	夫婦二人のための時間がとれない	親の協力が期待できない	その他	特になし
全体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【居住地別】					
中部地域	248	4.4	0.8	-	15.7
西部地域	204	6.9	2.9	0.5	16.2
吾妻地域	14	7.1	-	14.3	7.1
利根沼田地域	29	6.9	-	-	17.2
東部地域	205	4.9	2.0	1.0	18.0

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「子育てしながら仕事をすることが難しそう」は利根沼田地域で48.3%と高くなっている。

将来子育てをする上で不安なこと（職業別）

(%)

	n	経済的にやっていけるか	子育てしながら仕事をすることが難しそう	子育てするのが大変そう	自分のために使える時間やお金が減る	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
全体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【職業別】						
正規雇用者(正規)	409	48.9	44.3	33.7	15.2	6.1
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	51.3	29.4	43.7	21.0	5.9
自営業(家族従業者含む)	18	55.6	33.3	33.3	16.7	11.1
学生	56	51.8	58.9	26.8	5.4	10.7
無職・家事	90	45.6	27.8	27.8	13.3	4.4
その他	8	37.5	12.5	50.0	-	-

(%)

	n	夫婦二人のための時間がとれない	親の協力が期待できない	その他	特にない
全体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【職業別】					
正規雇用者(正規)	409	6.6	1.2	1.0	13.9
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	3.4	0.8	-	17.6
自営業(家族従業者含む)	18	5.6	5.6	-	11.1
学生	56	5.4	5.4	-	10.7
無職・家事	90	3.3	2.2	-	28.9
その他	8	-	-	12.5	37.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「子育てしながら仕事をすることが難しそう」は学生で58.9%と高くなっている。「子育てするのが大変そう」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で43.7%と高く、「自分のために使える時間やお金が減る」も非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で21.0%と高くなっている。一方、「特にない」は無職・家事で28.9%と高くなっている。

将来子育てをする上で不安なこと（年収別）

(%)

	n	経済的にやっ ていけるか	子育てしながら 仕事をするこ とが難しそう	子育てするの が大変そう	自分のために使 える時間やお金 が減る	配偶者の家事・ 子育てへの協 力が期待できな い
全 体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【年収別】						
収入なし	67	41.8	25.4	31.3	4.5	4.5
200万円未満	206	52.4	37.9	35.4	16.0	5.8
200万円～300万円未満	163	51.5	42.3	35.0	17.2	9.8
300万円～400万円未満	131	56.5	48.1	27.5	16.8	7.6
400万円～500万円未満	75	44.0	40.0	40.0	17.3	2.7
500万円以上	58	29.3	41.4	39.7	10.3	1.7

(%)

	n	夫婦二人のた めの時間がとれ ない	親の協力が期 待できない	その他	特にな い
全 体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【年収別】					
収入なし	67	-	1.5	-	37.3
200万円未満	206	5.8	2.9	0.5	15.5
200万円～300万円未満	163	3.7	0.6	1.2	12.9
300万円～400万円未満	131	5.3	2.3	-	11.5
400万円～500万円未満	75	10.7	-	1.3	10.7
500万円以上	58	8.6	1.7	1.7	24.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【年収別】

年収別でみると、「経済的にやっけていけるか」は300万円～400万円未満で56.5%と高く、「子育てしながら仕事をするのが難しそう」も300万円～400万円未満で48.1%と高くなっている。「子育てするのが大変そう」は400万円～500万円未満で40.0%、500万円以上で39.7%と高くなっている。一方、「特にない」は収入なしで37.3%と高くなっている。

将来子育てをする上で不安なこと（結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	経済的にやっていけるか	子育てしながら仕事をするのが難しそう	子育てするのが大変そう	自分のために使える時間やお金が減る	配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
全体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【結婚しやすい社会か】						
結婚しやすい社会	59	49.2	45.8	44.1	10.2	5.1
結婚しにくい社会	424	57.5	45.0	35.4	16.7	7.8
どちらともいえない	217	32.7	29.0	29.5	12.9	3.7

(%)

	n	夫婦二人のための時間がとれない	親の協力が期待できない	その他	特になし
全体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【結婚しやすい社会か】					
結婚しやすい社会	59	1.7	-	1.7	10.2
結婚しにくい社会	424	7.1	2.1	0.5	6.8
どちらともいえない	217	3.2	1.4	0.9	36.9

【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「経済的にやっていけるか」は“結婚しにくい社会”で 57.5%と高くなっている。一方、「子育てするのが大変そう」は“結婚しやすい社会”で 44.1%と高くなっている。

将来子育てをする上で不安なこと（将来の子どもの希望別）

(%)

	n	経済的にやっ ていけるか	子育てしながら 仕事をするこ とが難しそう	子育てするの が大変そう	自分のため に使える時 間やお金 が減る	配偶者の家事・ 子育てへの協 力が期待でき ない
全 体	700	49.1	40.1	34.3	15.0	6.3
【将来の子どもの希望別】						
持ちたい	307	52.4	52.4	35.8	10.7	5.9
いなくてもよい	267	52.1	30.7	35.2	21.3	7.1
わからない	126	34.9	30.2	28.6	11.9	5.6

(%)

	n	夫婦二人のた めの時間がと れない	親の協力が期 待できない	その他	特にな い
全 体	700	5.4	1.7	0.7	16.4
【将来の子どもの希望別】					
持ちたい	307	7.2	2.0	-	9.1
いなくてもよい	267	3.4	2.2	1.5	15.4
わからない	126	5.6	-	0.8	36.5

【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「子育てしながら仕事をするのが難しそう」は“持ちたい”で52.4%と高くなっている。一方、「自分のために使える時間やお金が減る」は“いなくてもよい”で21.3%と高くなっている。

【問1で「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」を選んだ方にお聞きします。】

問23 あなたは、自分自身の仕事と結婚・子育てについて、どのような希望がありますか。

問24 あなたは、将来のパートナー（配偶者）の仕事と結婚・子育てについて、どのような希望がありますか。

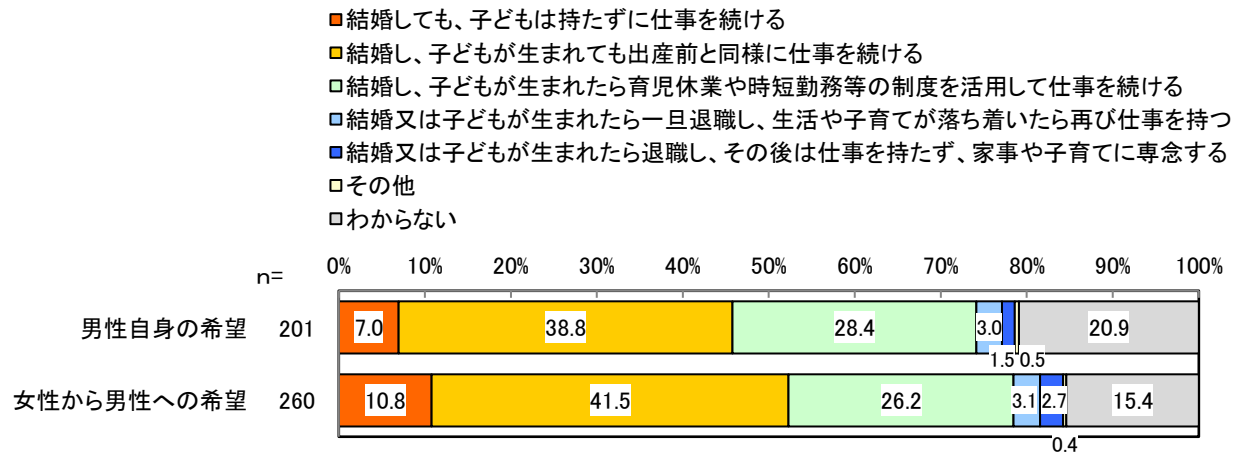
※ここでは、男性回答者の将来のパートナーを女性、女性回答者の将来のパートナーを男性とみなしている。

【男性の希望、パートナー（女性）からの希望】

男性自身の仕事と結婚・子育てについての希望は、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が38.8%で最も高く、次いで「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が28.4%、「わからない」が20.9%となっている。

女性が将来のパートナー（配偶者）に望む仕事と結婚・子育てについては、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が41.5%で最も高く、次いで「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が26.2%、「わからない」が15.4%となっている。

男性自身の希望と女性から男性への希望を比較すると、概ね一致する結果となっている。

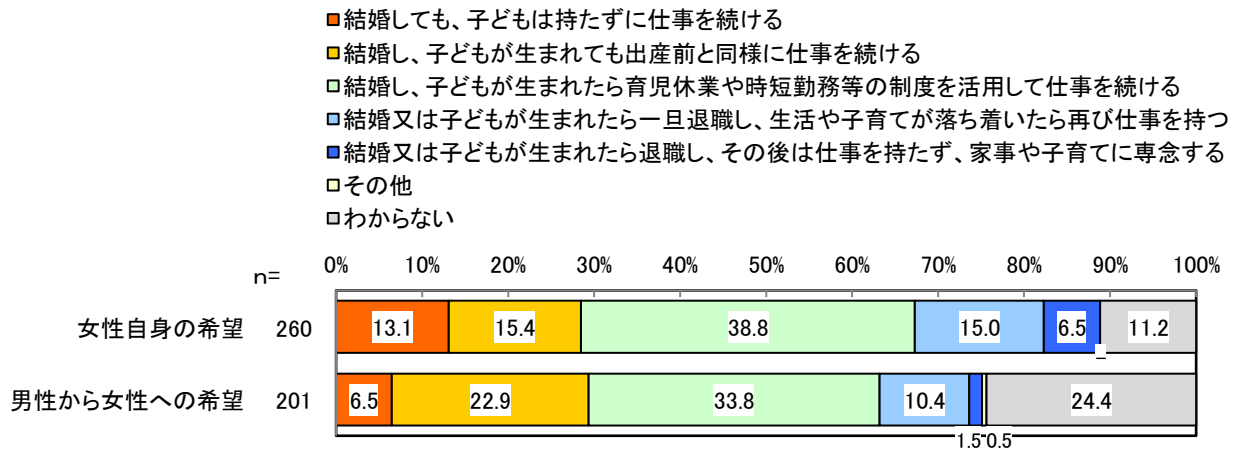


【女性の希望、パートナー（男性）からの希望】

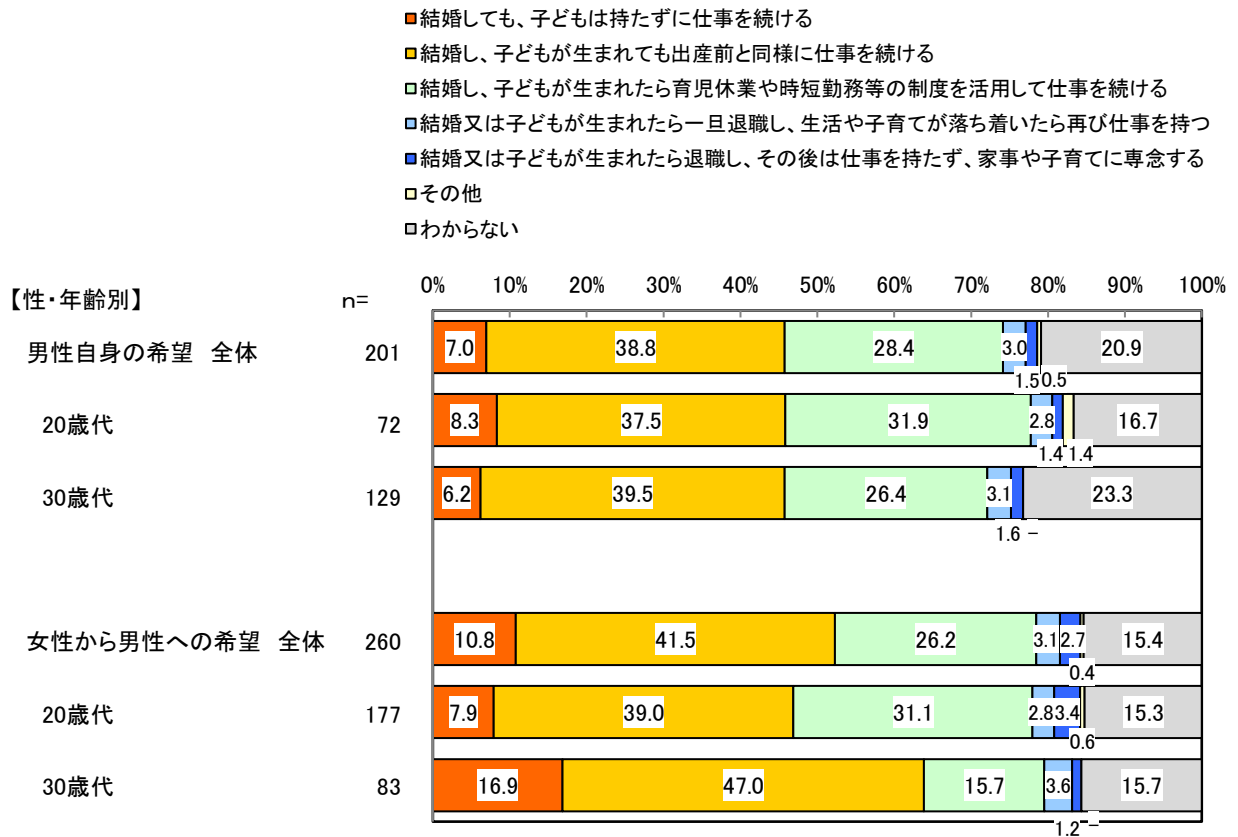
女性自身の仕事と結婚・子育てについての希望は、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が38.8%で最も高く、次いで「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が15.4%、「結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が15.0%となっている。

男性が将来のパートナー（配偶者）に望む仕事と結婚・子育てについては、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が33.8%で最も高く、次いで「わからない」が24.4%、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が22.9%となっている。

女性自身の希望と男性から女性への希望を比較すると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が6.6ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」と「結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する」がそれぞれ5.0ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「わからない」が13.2ポイント、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が7.5ポイント高くなっている。



男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・年齢別）

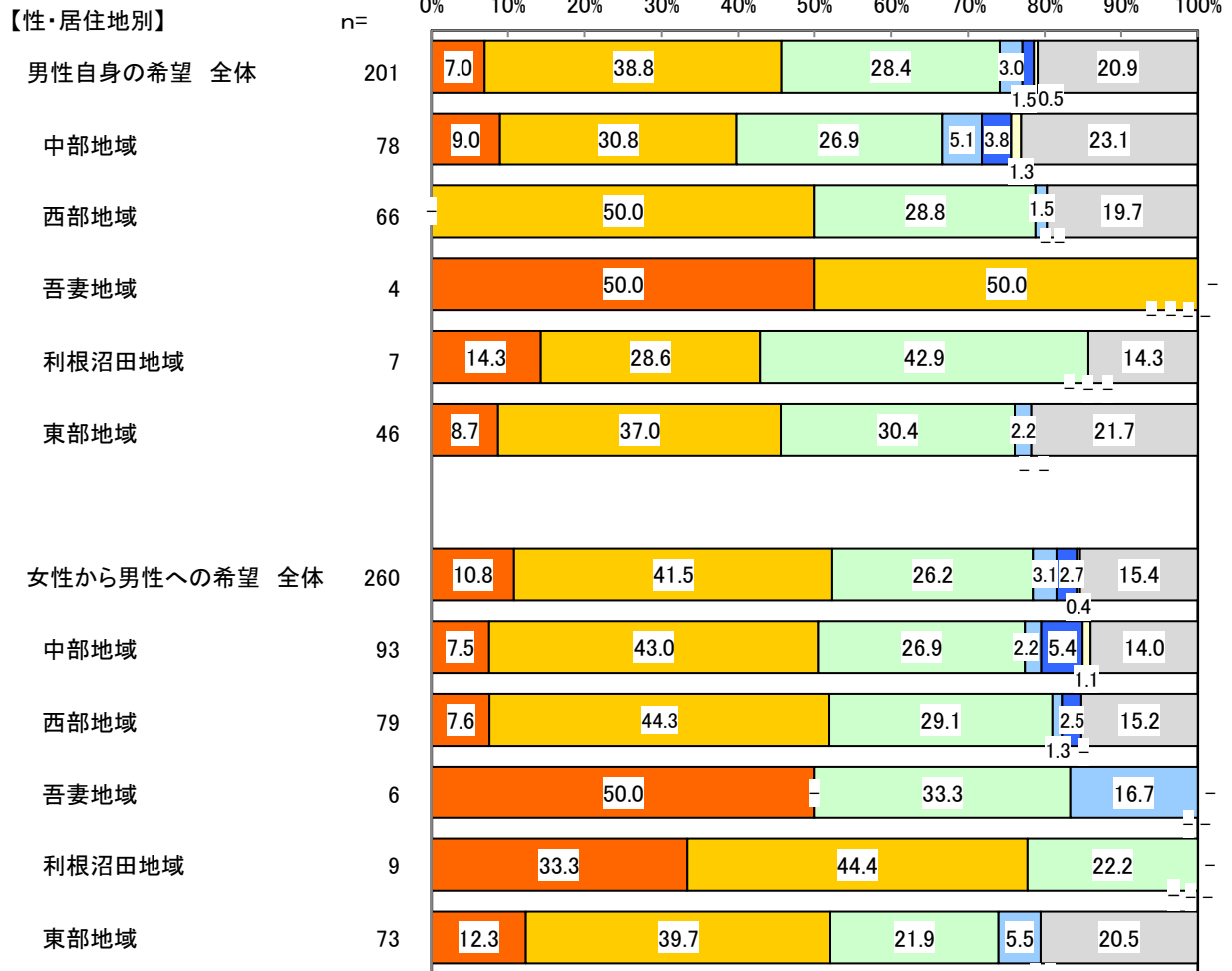


【性・年齢別】

男性について性・年齢別で見ると、女性30歳代は男性30歳代よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が10.7ポイント、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が7.5ポイント高くなっている。一方、男性30歳代は女性30歳代よりも「結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が10.7ポイント高くなっている。

男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・居住地別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



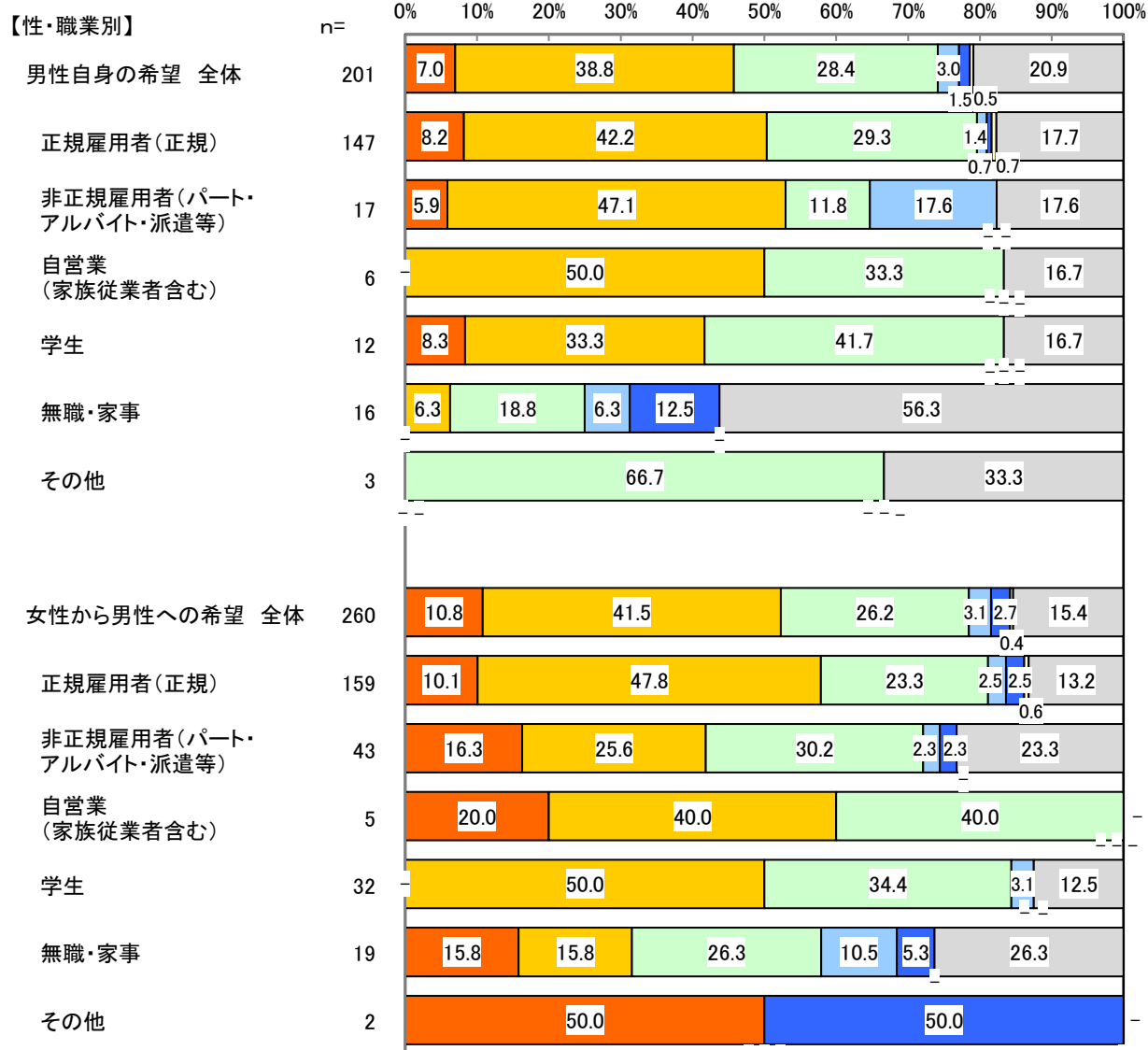
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性・居住地別】

性・居住地別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が西部地域で7.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が西部地域で5.7ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が東部地域で8.5ポイント高くなっている。

男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・職業別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



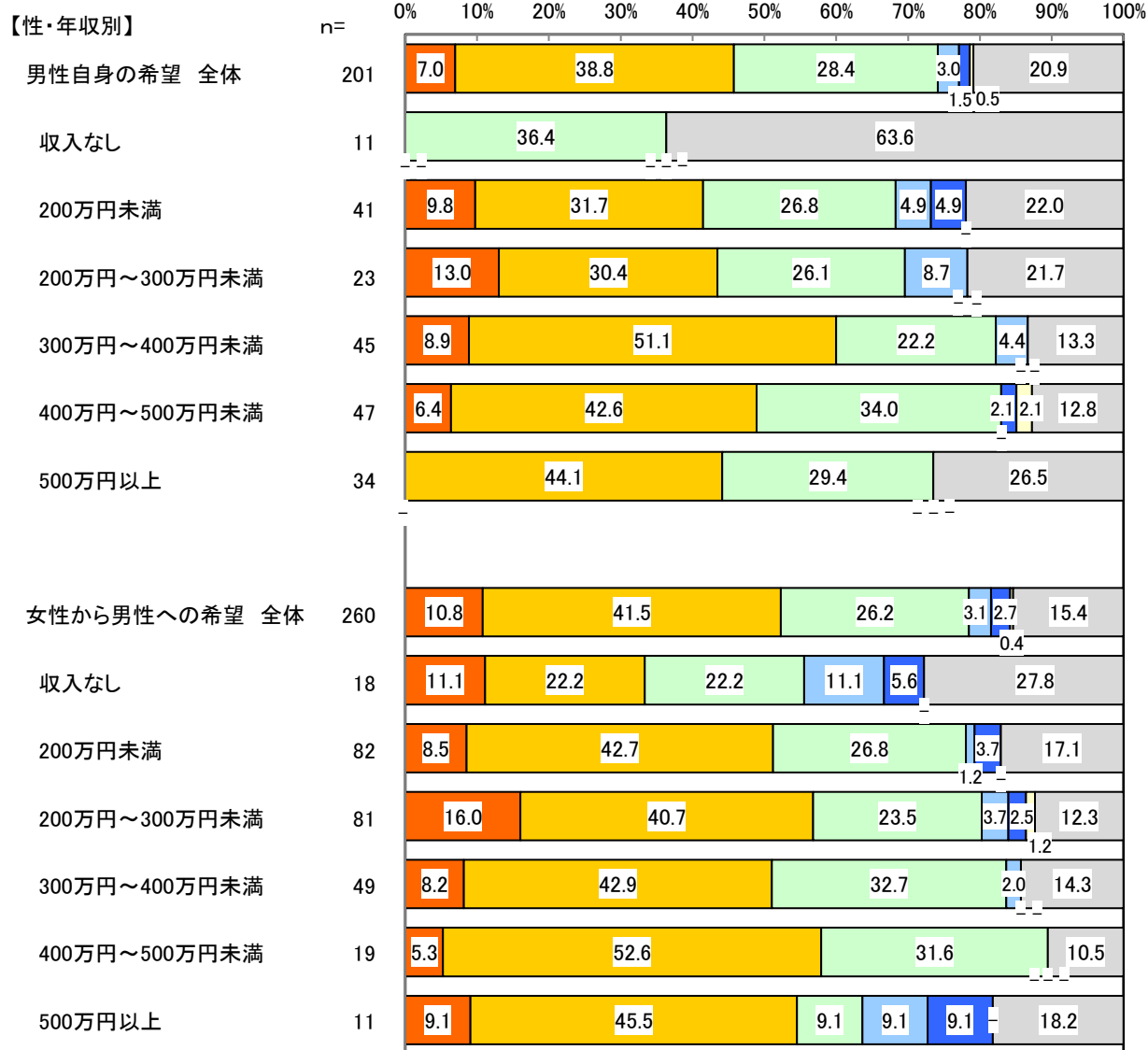
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性・職業別】

性・職業別でみると、正規雇用者（正規）において、女性は男性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が5.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が6.0ポイント高くなっている。

男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・年収別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



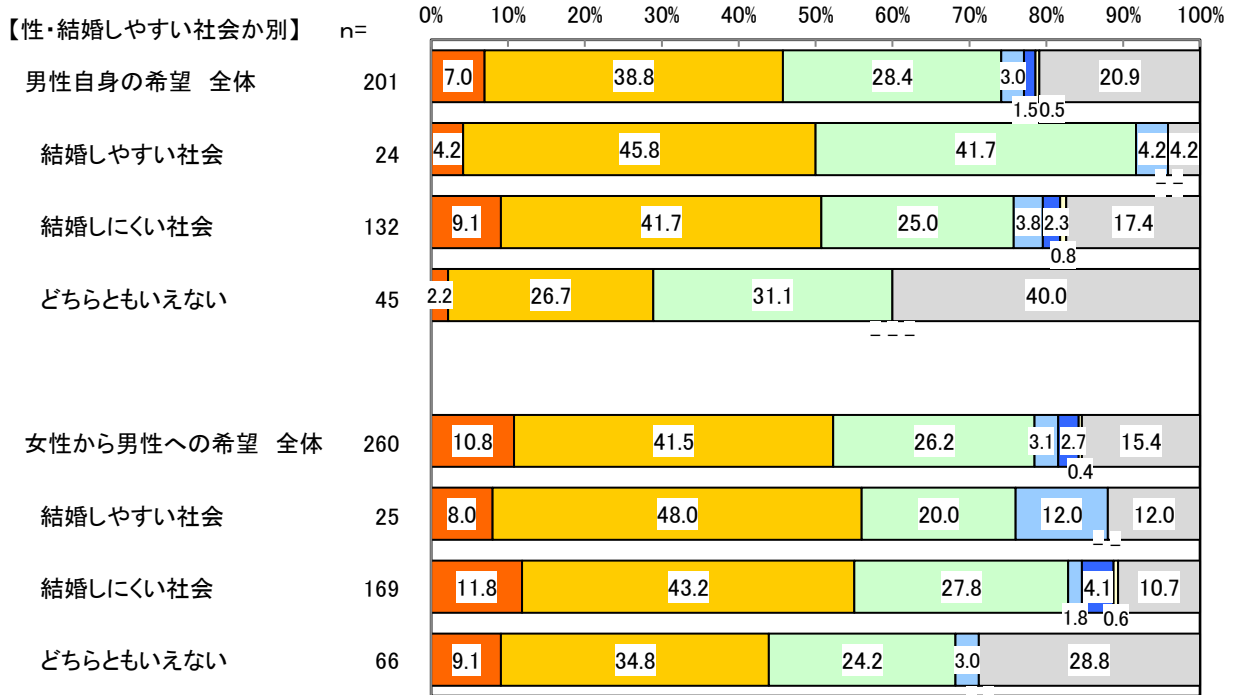
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性・年収別】

性・年収別でみると、女性は男性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が200万円未満で11.0ポイント、200万円～300万円未満で10.3ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が300万円～400万円未満で10.4ポイント高くなっている。

男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・結婚しやすい社会か別）

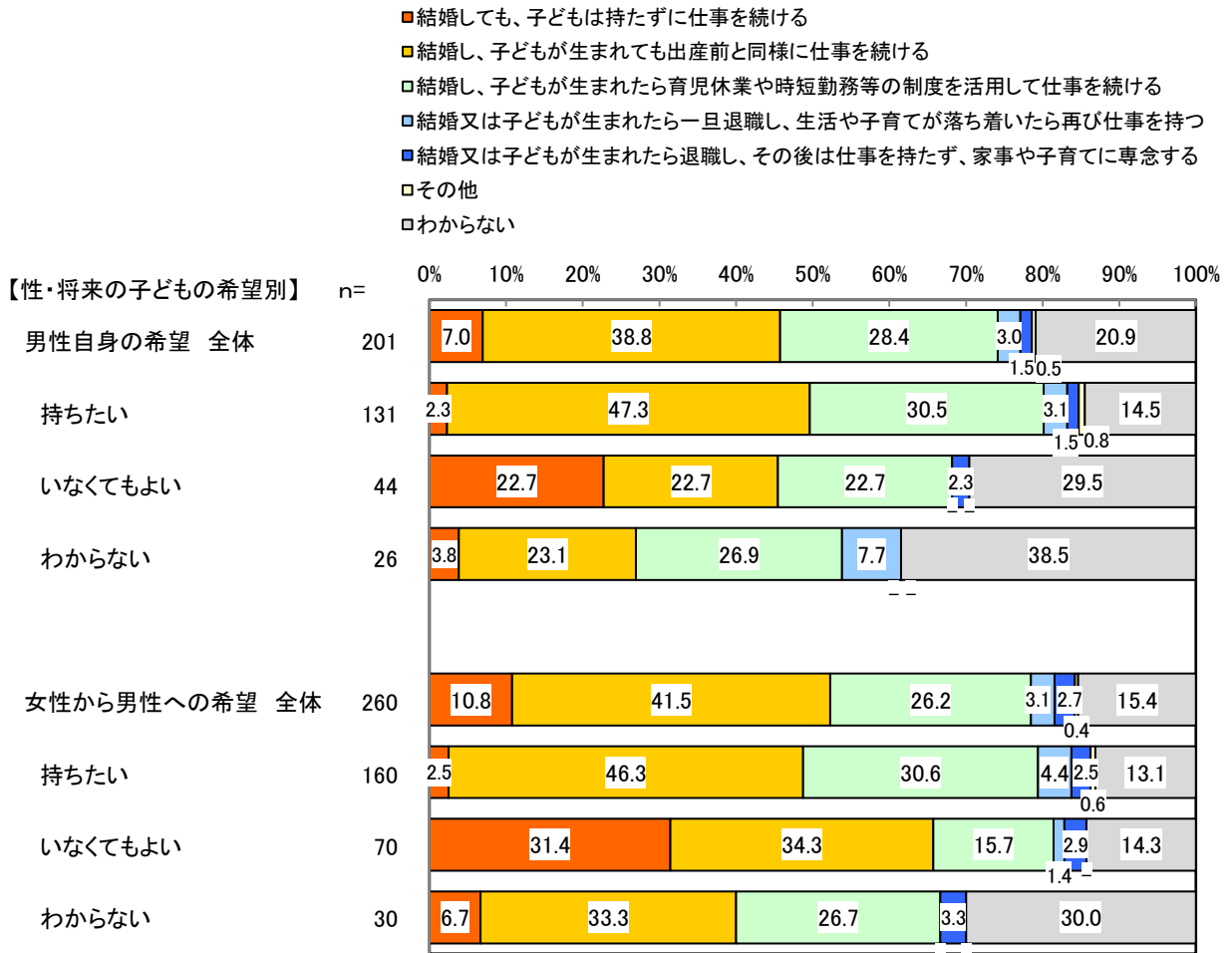
- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



【性・結婚しやすい社会か別】

性・結婚しやすい社会か別でみると、“結婚しやすい社会”において、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が21.7ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が7.8ポイント高くなっている。

男性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・将来の子どもの希望別）



【性・将来の子どもの希望別】

性・将来の子どもの希望別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が「いなくてもよい」で8.7ポイント、「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」も「いなくてもよい」で11.6ポイント、「わからない」で10.3ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が「いなくてもよい」で7.0ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・年齢別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



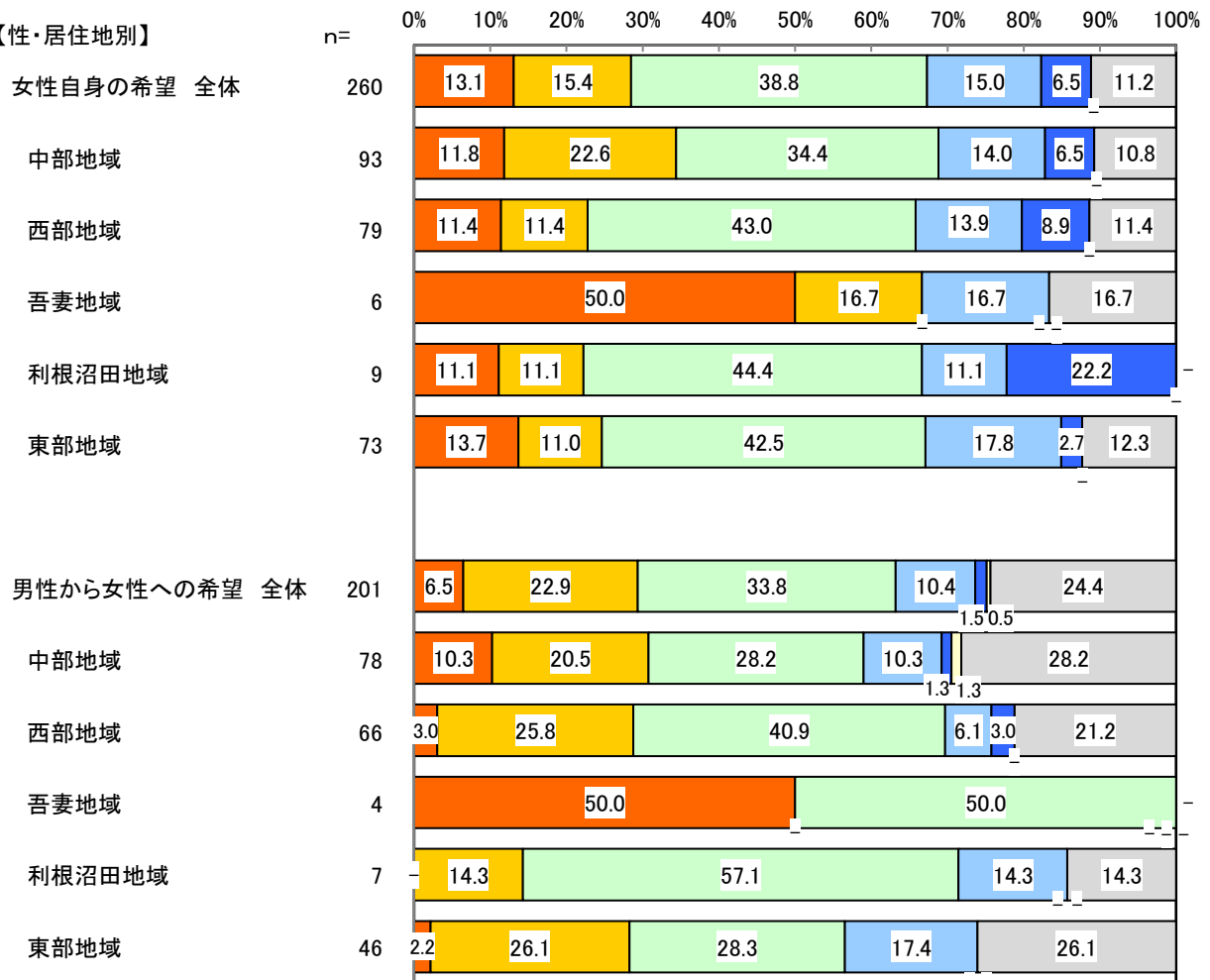
【性・年齢別】

女性について性・年齢別でみると、女性20歳代は男性20歳代よりも「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が5.7ポイント高くなっている。女性30歳代は男性30歳代よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が9.8ポイント、「結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が7.2ポイント高くなっている。一方、男性30歳代は女性30歳代よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が10.8ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・居住地別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

【性・居住地別】



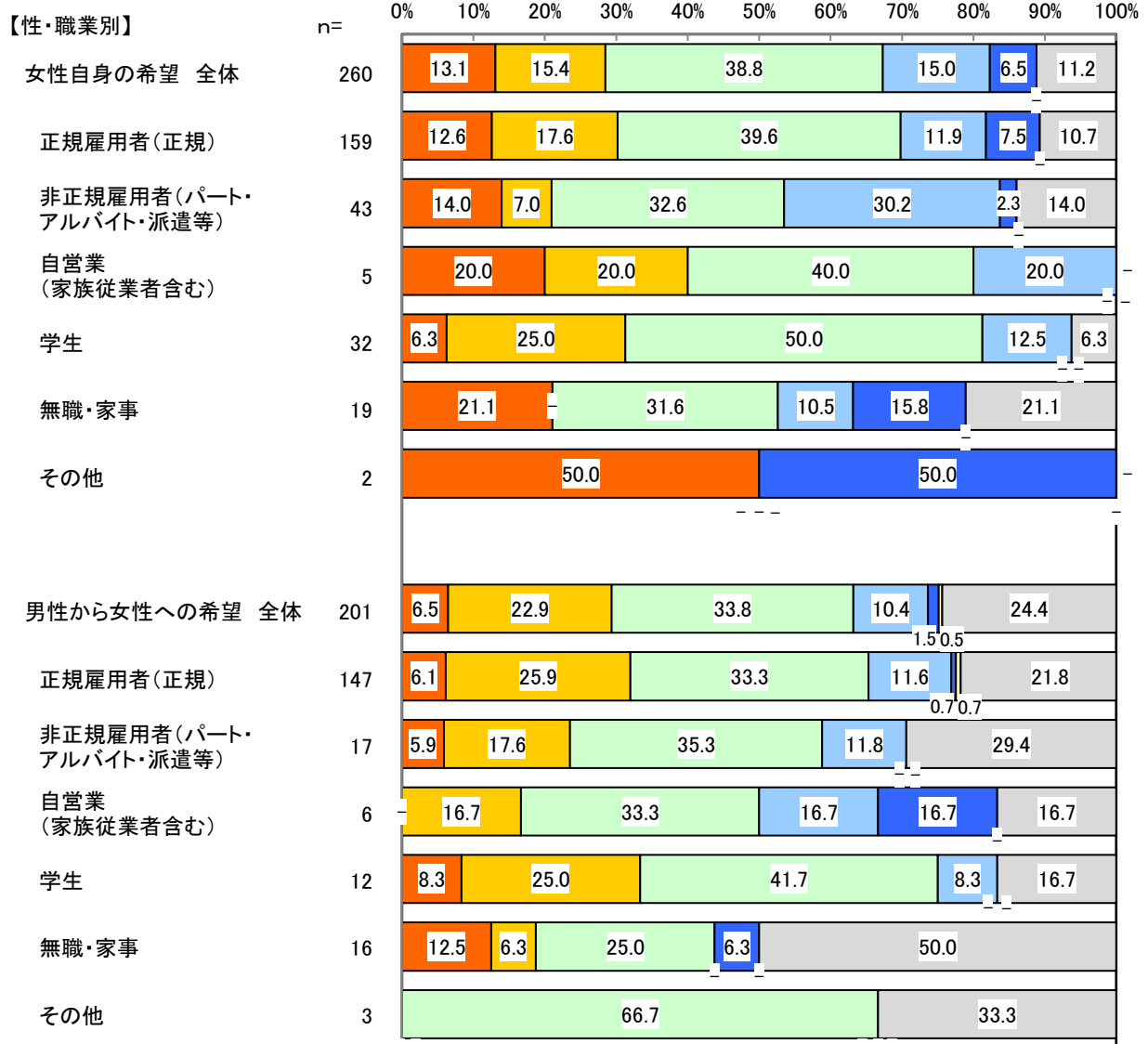
※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【性・居住地別】

性・居住地別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が東部地域で 11.5 ポイント、西部地域で 8.4 ポイント、「結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」も西部地域で 7.9 ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が東部地域で 15.1 ポイント、西部地域で 14.4 ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が東部地域で 14.2 ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・職業別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



※母数が20未満の項目は参考値とする。

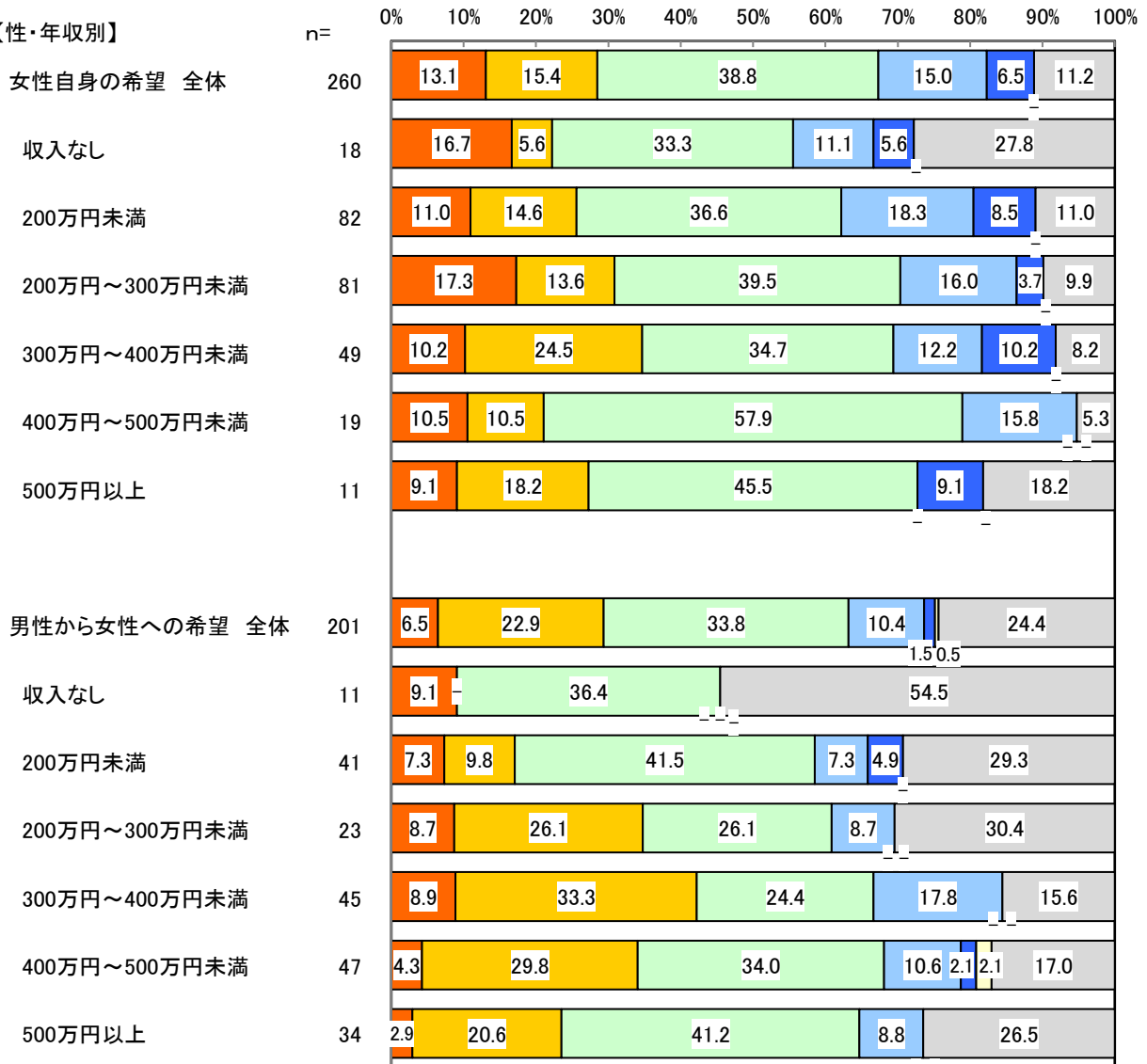
【性・職業別】

性・職業別でみると、正規雇用者（正規）では女性が男性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が6.5ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が6.3ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が8.2ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・年収別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

【性・年収別】



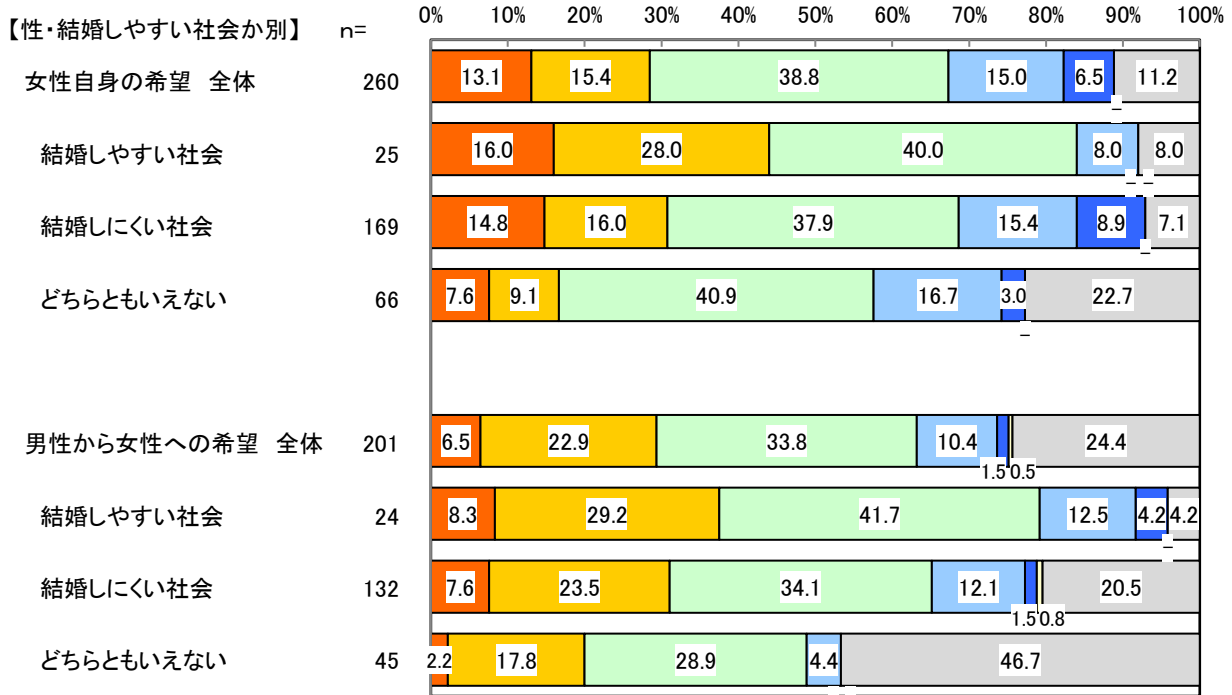
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性・年収別】

性・年収別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が200万円～300万円未満で8.6ポイント、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が200万円～300万円未満で13.4ポイント、300万円～400万円未満で10.2ポイント、「結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が200万円未満で11.0ポイント、200万円～300万円未満で7.4ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が200万円～300万円未満で12.5ポイント、300万円～400万円未満で8.8ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・結婚しやすい社会か別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれてから退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

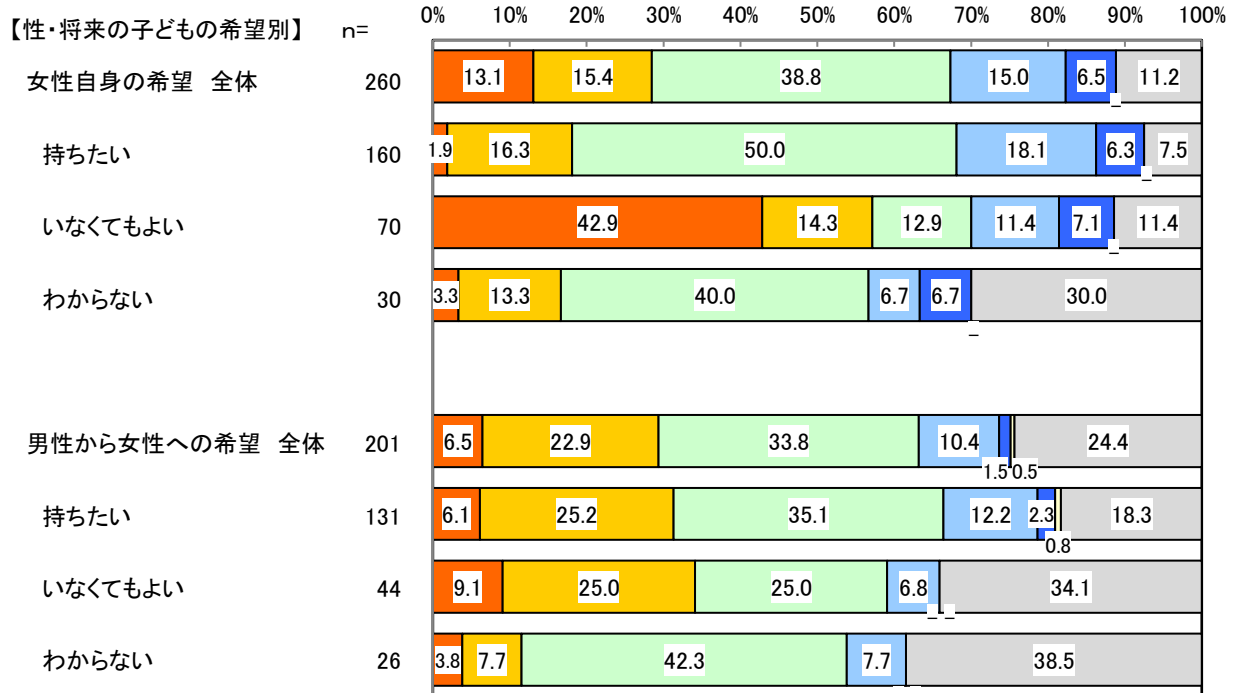


【性・結婚しやすい社会か別】

性・結婚しやすい社会か別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が全ての層で高く、「結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は“どちらともいえない”で12.0ポイント、「結婚又は子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」も“どちらともいえない”で12.2ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が“どちらともいえない”で8.7ポイント、「結婚しにくい社会」で7.5ポイント高くなっている。

女性の仕事と結婚・子育てについての希望（性・将来の子どもの希望別）

- 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 結婚又は子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 結婚又は子どもが生まれてから退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

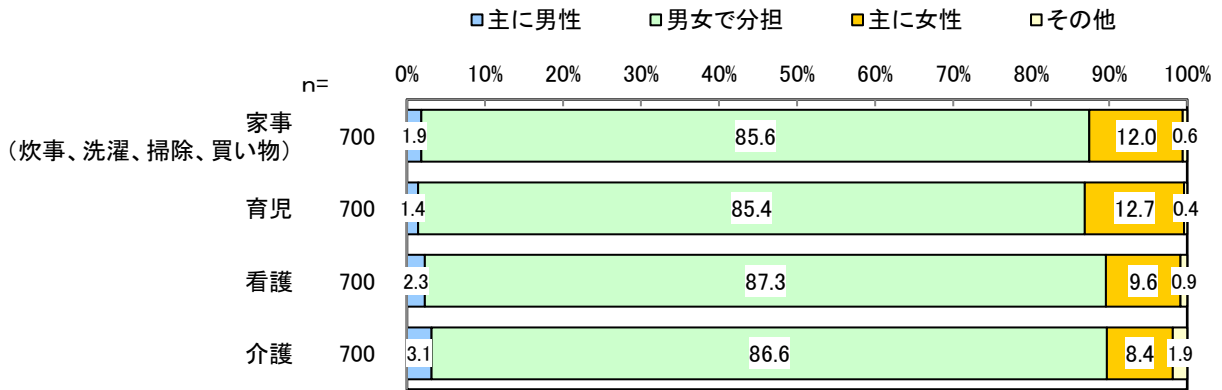


【性・将来の子どもの希望別】

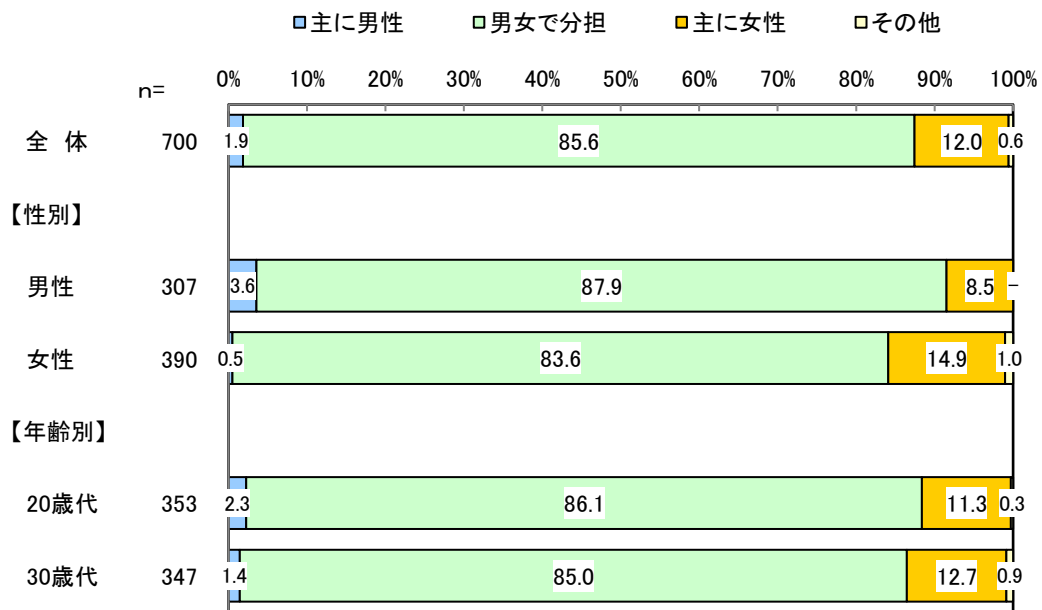
性・将来の子どもの希望別でみると、女性は男性よりも「結婚しても、子どもは持たずに仕事を続ける」が「いなくてもよい」で33.8ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が「いなくてもよい」で10.7ポイント、「持ちたい」で8.9ポイント高くなっている。「結婚し、子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は「持ちたい」で女性が男性よりも14.9ポイント高いが、「いなくてもよい」では男性が女性よりも12.1ポイント高くなっている。

問 25 あなたは、家庭内での家事、育児、看護、介護の分担について、どのように考えていますか。
 (回答はそれぞれ1つ)

家庭内での家事、育児、看護、介護の分担についての考えは、「男女で分担」がどの項目でも最も高くなっており、8割以上となっている。「主に女性」は育児が12.7%、家事（炊事、洗濯、掃除、買い物）が12.0%となっている。



家庭内の「家事」の分担についての考え（性別、年齢別）



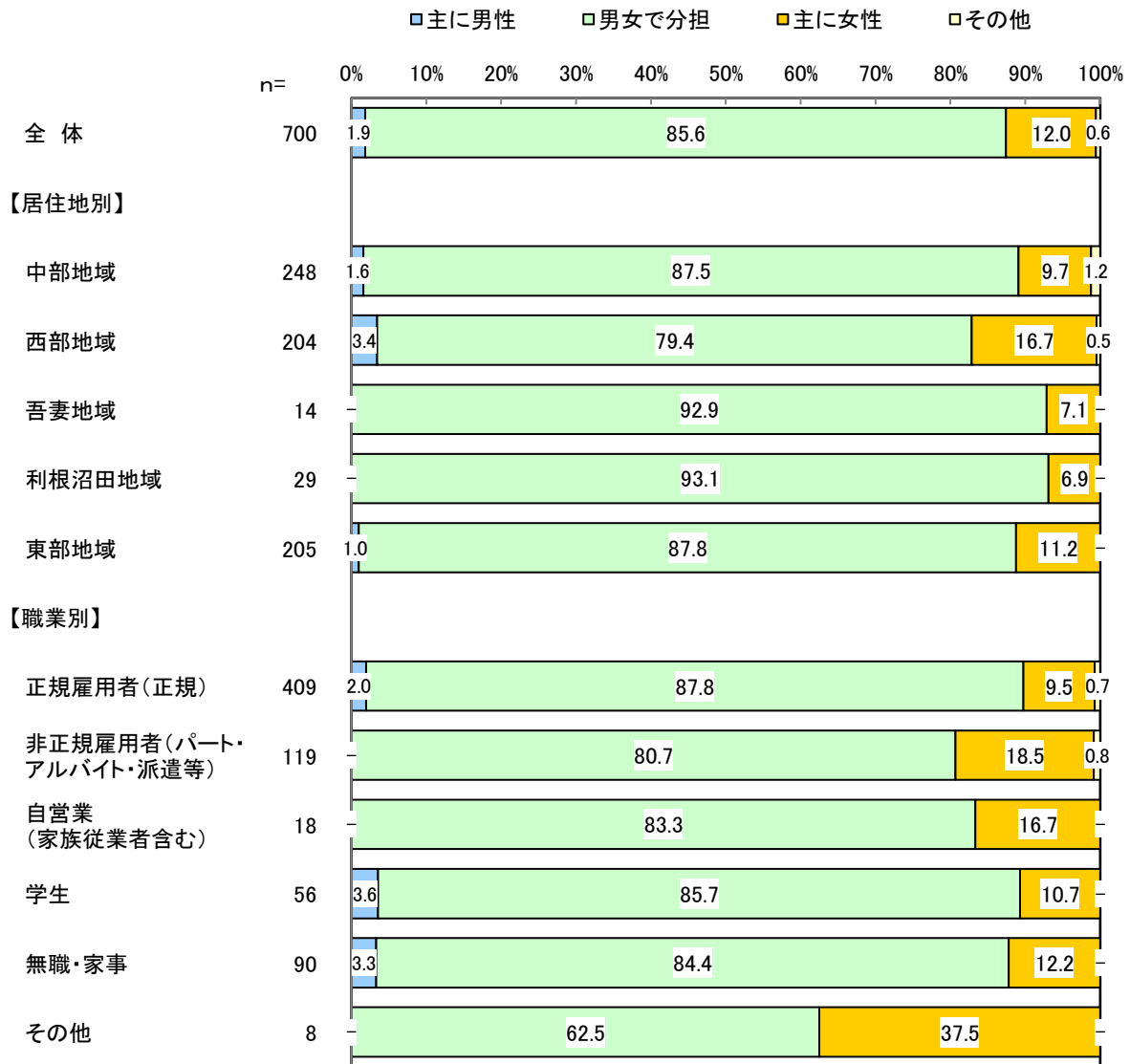
【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「男女で分担」が4.3ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「主に女性」が6.4ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、年齢による大きな差はみられない。

家庭内での「家事」の分担についての考え（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

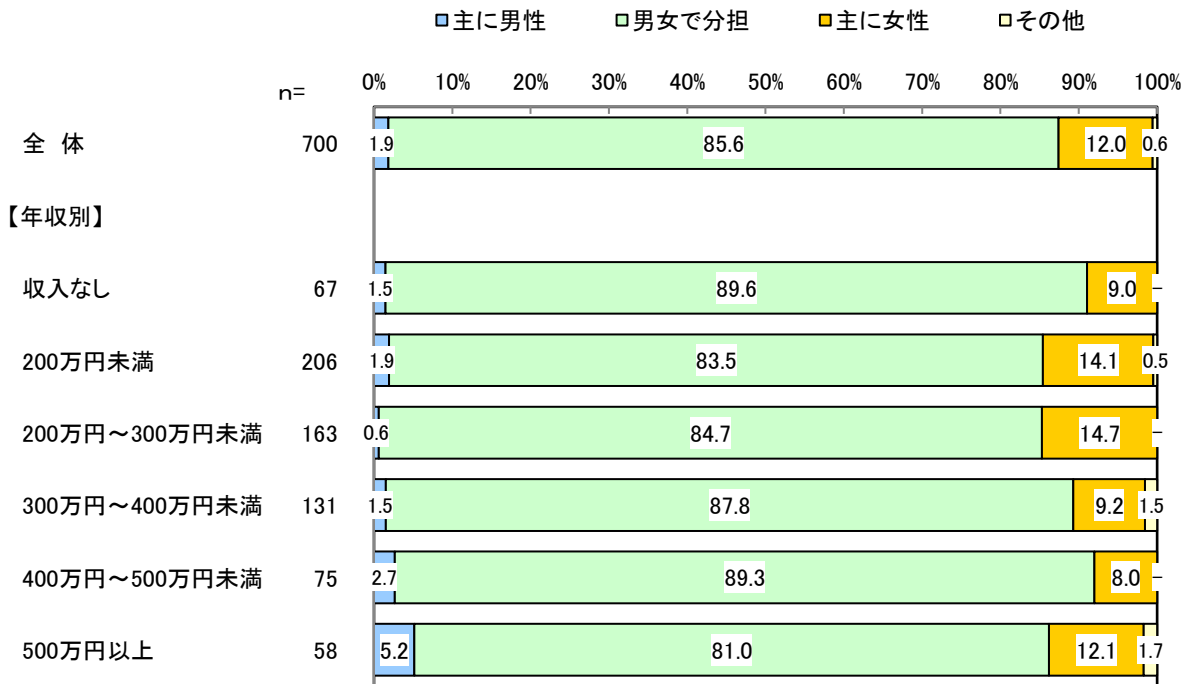
【居住地別】

居住地別でみると、「男女で分担」は利根沼田地域で93.1%と高くなっている。一方、西部地域では79.4%と低く、「主に女性」が16.7%とやや高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「男女で分担」は正規雇用者（正規）で87.8%と高くなっている。一方、非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）では80.7%と低く、「主に女性」が18.5%と高くなっている。

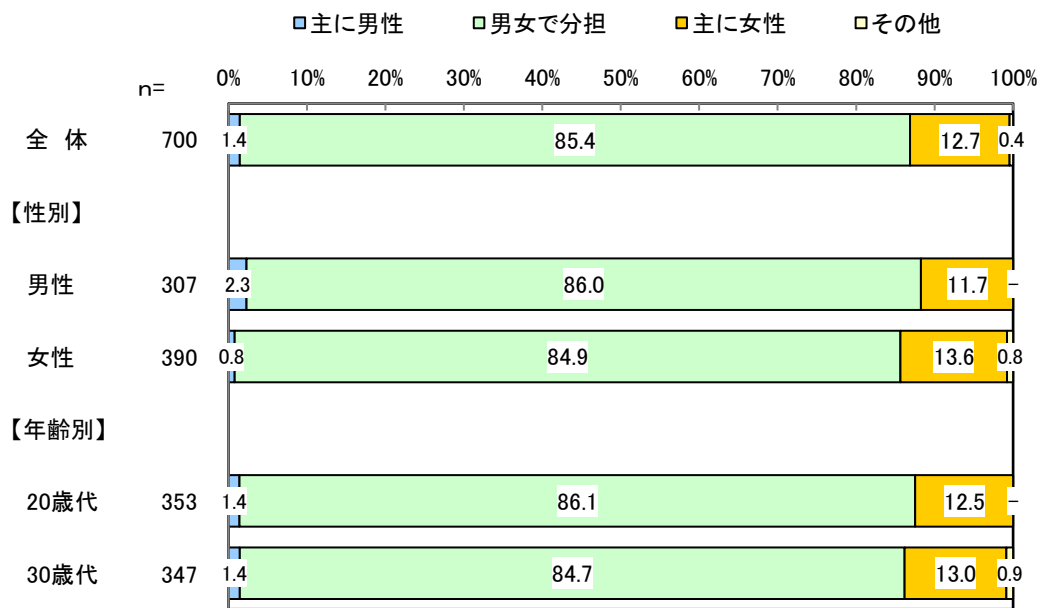
家庭内での「家事」の分担についての考え（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「男女で分担」は収入なしで89.6%、400万円～500万円未満で89.3%と高くなっている。一方、「主に女性」は200万円～300万円未満で14.7%、200万円未満で14.1%とやや高くなっている。

家庭内の「育児」の分担についての考え（性別、年齢別）



【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、年齢による大きな差はみられない。

家庭内での「育児」の分担についての考え（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

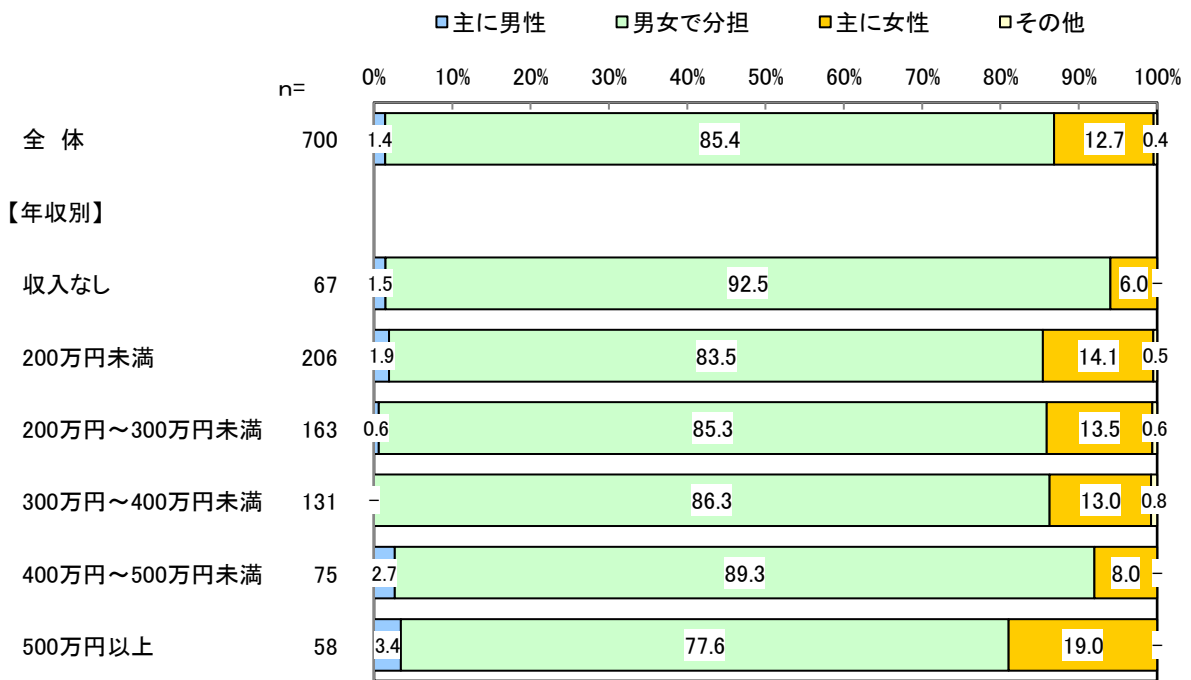
【居住地別】

居住地別で見ると、「主に女性」は西部地域で15.7%とやや高くなっている。

【職業別】

職業別で見ると、「男女で分担」は学生で87.5%と高くなっている。

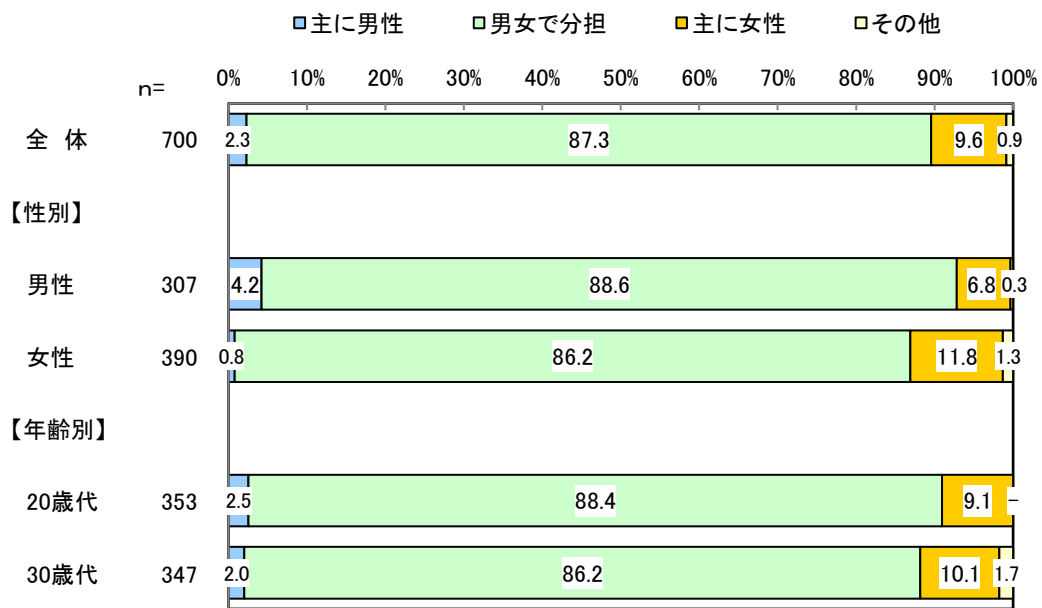
家庭内での「育児」の分担についての考え（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「男女で分担」は収入なしで 92.5%と高くなっている。一方、500 万円以上では 77.6%と低く、「主に女性」が 19.0%と高くなっている。

家庭内の「看護」の分担についての考え（性別、年齢別）



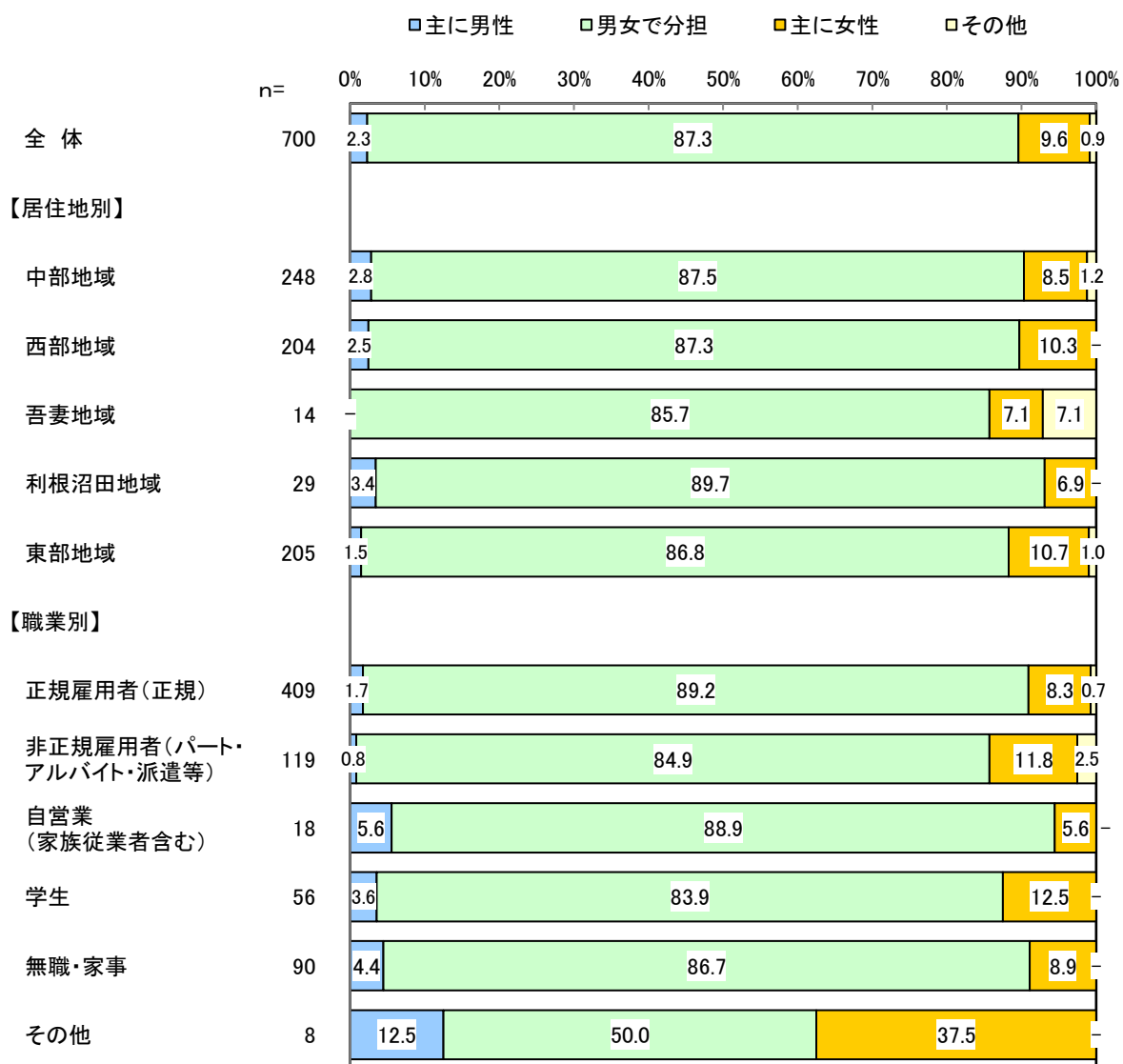
【性別】

性別で見ると、「主に女性」は女性が男性よりも5.0ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、年齢による大きな差はみられない。

家庭内での「看護」の分担についての考え（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

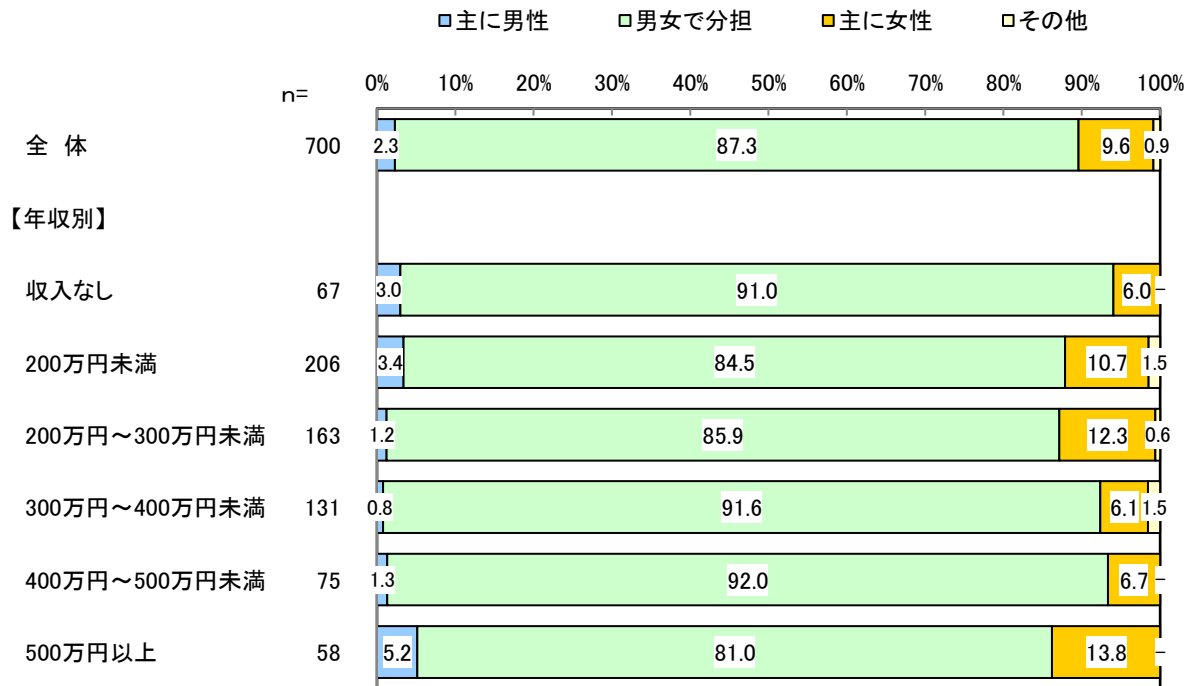
【居住地別】

居住地別でみると、「男女で分担」は利根沼田地域で89.7%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「男女で分担」は正規雇用者（正規）で89.2%と高くなっている。

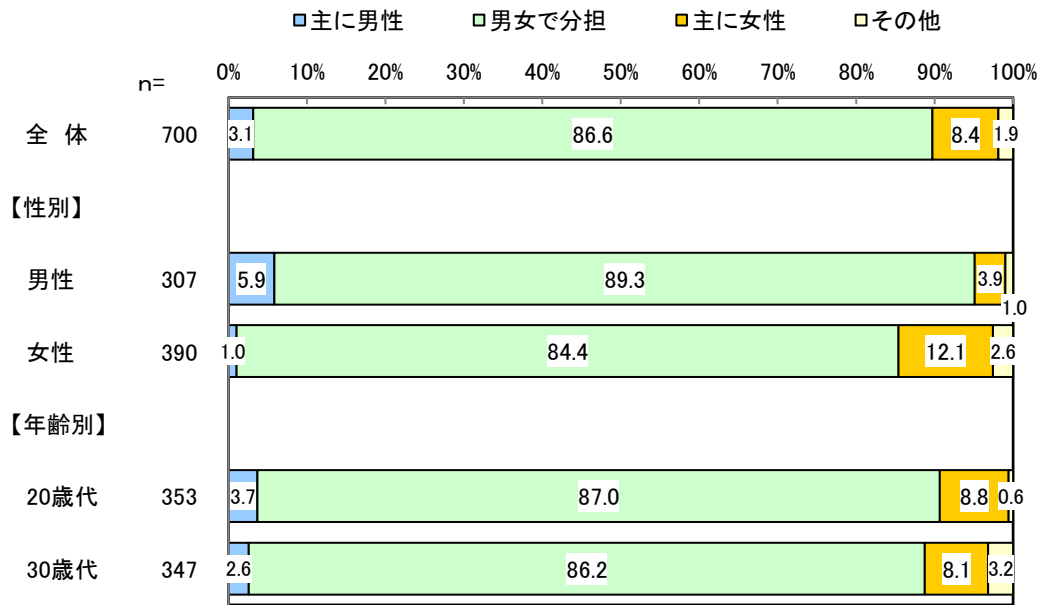
家庭内での「看護」の分担についての考え（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「男女で分担」は400万円～500万未満で92.0%と高くなっている。一方、500万円以上では81.0%と低く、「主に女性」が13.8%とやや高くなっている。

家庭内での「介護」の分担についての考え（性別、年齢別）



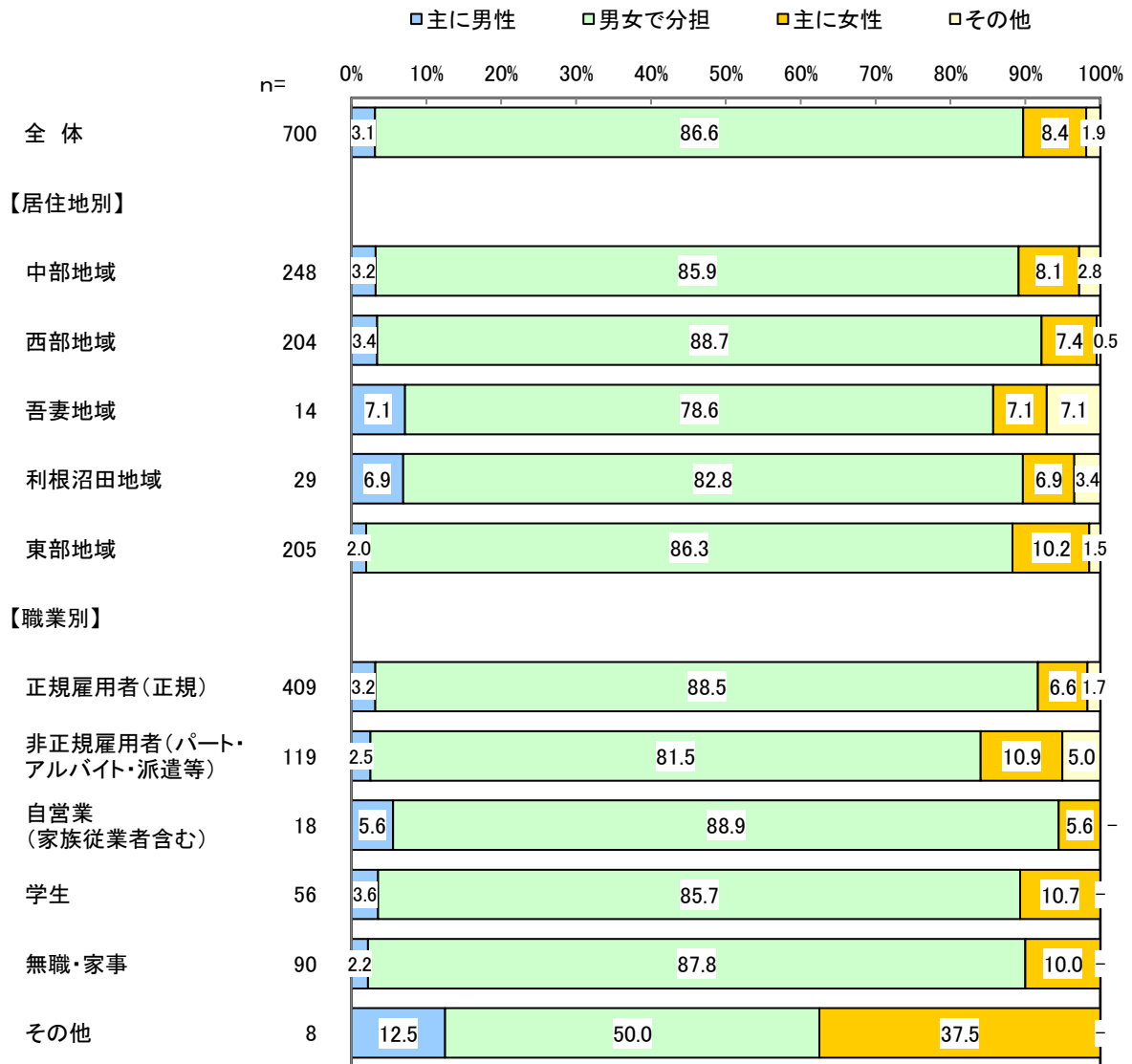
【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「男女で分担」が4.9ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「主に女性」が8.2ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、年齢による大きな差はみられない。

家庭内での「介護」の分担についての考え（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

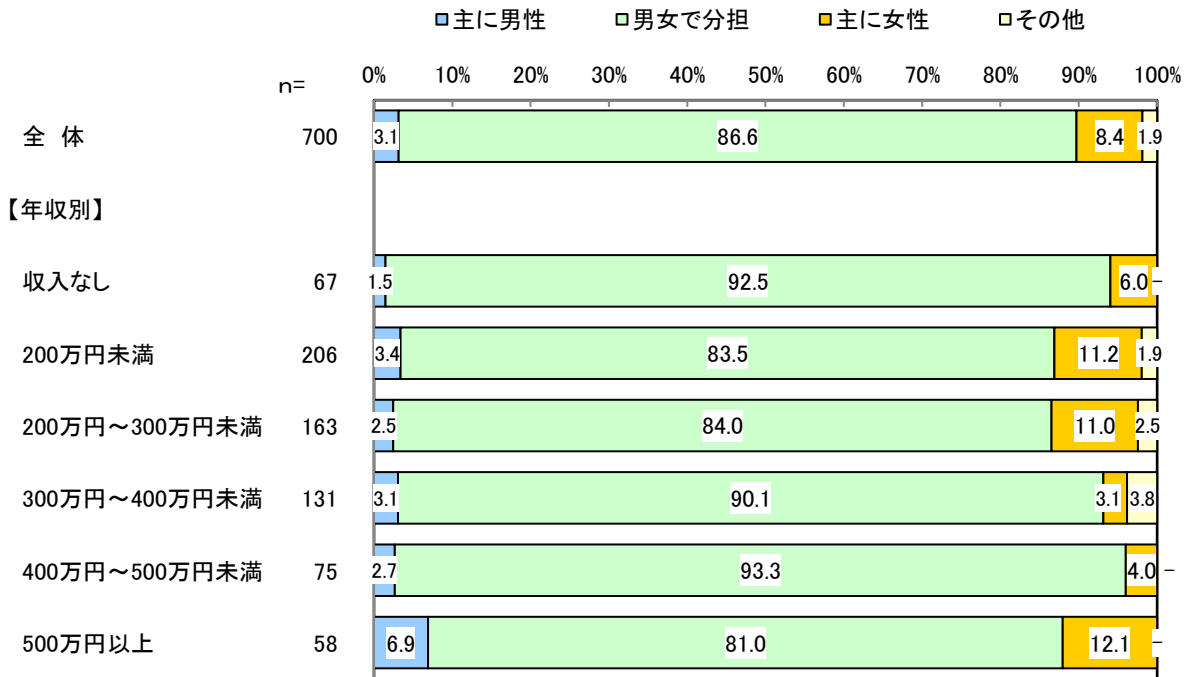
【居住地別】

居住地別で見ると、「男女で分担」は西部地域で88.7%と高くなっている。

【職業別】

職業別で見ると、「男女で分担」は正規雇用者（正規）で88.5%と高くなっている。一方、非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）では81.5%と低くなっている。

家庭内での「介護」の分担についての考え（年収別）



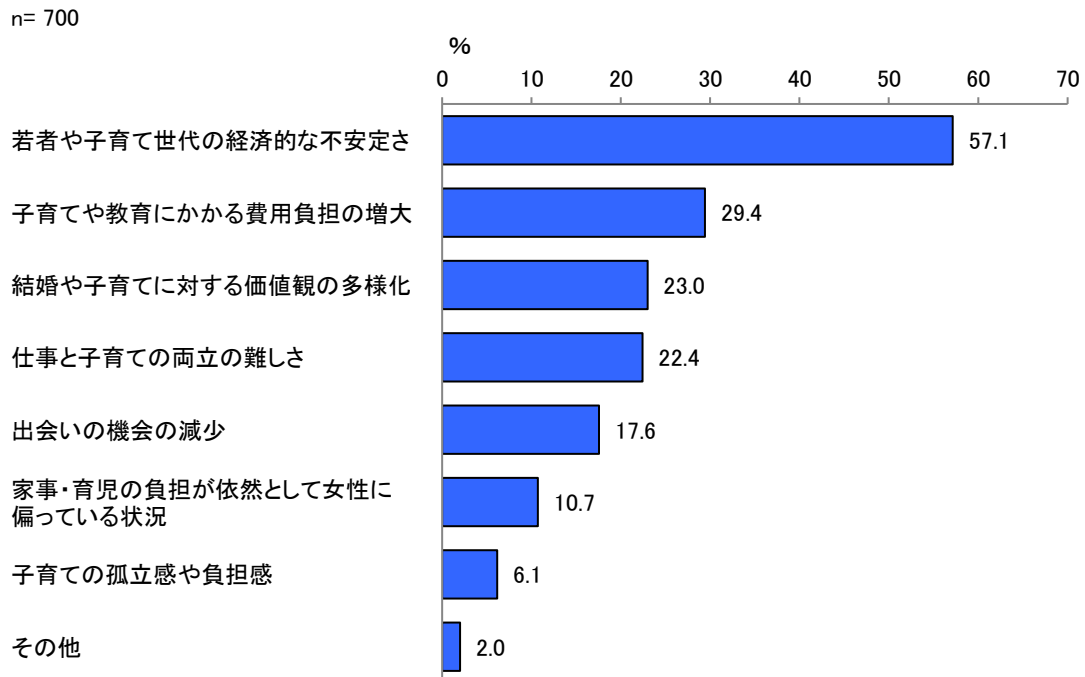
【年収別】

年収別で見ると、「男女で分担」は400万円～500万円未満で93.3%、収入なしで92.5%と高くなっている。

5 少子化対策について

問 26 現在、日本は出生率が低下し、子どもの数が少なくなっていく「少子化」が進んでいます。少子化の要因はどのようなことだと思いますか。(回答は2つまで)

少子化の要因は、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」が 57.1%で最も高く、次いで「子育てや教育にかかる費用負担の増大」が 29.4%、「結婚や子育てに対する価値観の多様化」が 23.0%となっている。



少子化の要因（性別、年齢別、居住地別）

(%)

	n	若者や子育て世代の経済的な不安定さ	子育てや教育にかかる費用負担の増大	結婚や子育てに対する価値観の多様化	仕事と子育ての両立の難しさ	出会いの機会の減少	家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況	子育ての孤立感や負担感	その他
全体	700	57.1	29.4	23.0	22.4	17.6	10.7	6.1	2.0
【性別】									
男性	307	57.3	30.3	24.8	17.3	24.1	3.6	5.9	2.6
女性	390	56.9	28.7	21.8	26.2	12.6	16.4	6.4	1.5
【年齢別】									
20歳代	353	55.5	30.9	20.7	24.4	15.3	14.7	7.1	1.1
30歳代	347	58.8	28.0	25.4	20.5	19.9	6.6	5.2	2.9
【居住地別】									
中部地域	248	55.6	27.0	22.2	23.0	19.4	10.5	7.7	1.2
西部地域	204	56.4	32.8	19.1	19.6	21.1	9.8	6.9	3.4
吾妻地域	14	64.3	35.7	21.4	28.6	14.3	14.3	-	7.1
利根沼田地域	29	62.1	31.0	37.9	17.2	24.1	3.4	3.4	-
東部地域	205	58.5	28.3	25.9	24.9	11.2	12.7	4.4	1.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況」が12.8ポイント、「仕事と子育ての両立の難しさ」が8.9ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「出会いの機会の減少」が11.5ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「結婚や子育てに対する価値観の多様化」は30歳代で25.4%と高くなっている。

【居住地別】

居住地別でみると、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」は利根沼田地域で62.1%と高く、「結婚や子育てに対する価値観の多様」も利根沼田地域で37.9%と高くなっている。

少子化の要因（職業別、年収別）

(%)

	n	若者や子育て世代の経済的な不安定さ	子育てや教育にかかる費用負担の増大	結婚や子育てに対する価値観の多様化	仕事と子育ての両立の難しさ	出会いの機会の減少	家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況	子育ての孤立感や負担感	その他
全体	700	57.1	29.4	23.0	22.4	17.6	10.7	6.1	2.0
【職業別】									
正規雇用者(正規)	409	56.7	30.8	22.2	23.0	18.8	11.2	6.1	1.2
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	66.4	30.3	23.5	20.2	15.1	8.4	5.9	2.5
自営業(家族従業員含む)	18	61.1	33.3	22.2	11.1	16.7	11.1	5.6	5.6
学生	56	46.4	32.1	10.7	41.1	17.9	14.3	7.1	-
無職・家事	90	53.3	18.9	32.2	15.6	15.6	10.0	6.7	4.4
その他	8	50.0	37.5	37.5	-	12.5	-	-	12.5
【年収別】									
収入なし	67	53.7	16.4	32.8	16.4	14.9	13.4	4.5	4.5
200万円未満	206	54.9	29.6	20.4	27.7	18.0	9.2	6.8	2.4
200万円～300万円未満	163	65.0	32.5	18.4	20.2	14.7	11.7	8.0	1.2
300万円～400万円未満	131	54.2	28.2	26.7	26.7	14.5	12.2	6.9	1.5
400万円～500万円未満	75	57.3	32.0	18.7	18.7	29.3	12.0	4.0	1.3
500万円以上	58	53.4	34.5	31.0	12.1	19.0	5.2	1.7	1.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で66.4%と高くなっている。「結婚や子育てに対する価値観の多様化」は無職・家事で32.2%と高くなっている。「仕事と子育ての両立の難しさ」は学生で41.1%と高くなっている。

【年収別】

年収別でみると、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」は200万円～300万円未満で65.0%と高くなっている。「子育てや教育にかかる費用負担の増大」は500万円以上で34.5%と高くなっている。「結婚や子育てに対する価値観の多様化」は収入なしで32.8%、500万円以上で31.0%と高くなっている。「出会いの機会の減少」は400万円～500万円未満で29.3%と高くなっている。

少子化の要因（将来の結婚意向別、結婚しやすい社会か別、将来の子どもの希望別）

(%)

	n	若者や子育て世代の経済的な不安定さ	子育てや教育にかかる費用負担の増大	結婚や子育てに対する価値観の多様化	仕事と子育ての両立の難しさ	出会いの機会の減少	家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況	子育ての孤立感や負担感	その他
全体	700	57.1	29.4	23.0	22.4	17.6	10.7	6.1	2.0
【将来の結婚意向別】									
結婚したい	249	61.8	27.7	18.1	26.5	21.7	10.4	6.8	1.6
どちらかといえば結婚したい	214	54.2	34.6	17.8	22.4	25.2	12.1	6.5	1.9
どちらかといえば結婚したくない	111	58.6	35.1	25.2	18.0	5.4	10.8	8.1	3.6
結婚したくない	126	51.6	19.0	39.7	18.3	7.1	8.7	2.4	1.6
【結婚しやすい社会か】									
結婚しやすい社会	59	45.8	23.7	20.3	23.7	28.8	10.2	11.9	-
結婚しにくい社会	424	64.2	33.3	17.2	25.0	17.9	12.7	5.4	1.4
どちらともいえない	217	46.5	23.5	35.0	17.1	13.8	6.9	6.0	3.7
【将来の子どもの希望別】									
持ちたい	307	56.7	31.3	19.9	26.1	23.5	11.1	6.5	0.7
いなくてもよい	267	64.4	29.2	23.6	19.9	10.1	9.0	6.7	2.6
わからない	126	42.9	25.4	29.4	19.0	19.0	13.5	4.0	4.0

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、「結婚や子育てに対する価値観の多様化」は結婚意向が低くなるほど高くなり、「結婚したくない」で39.7%となっている。

【結婚しやすい社会か別】

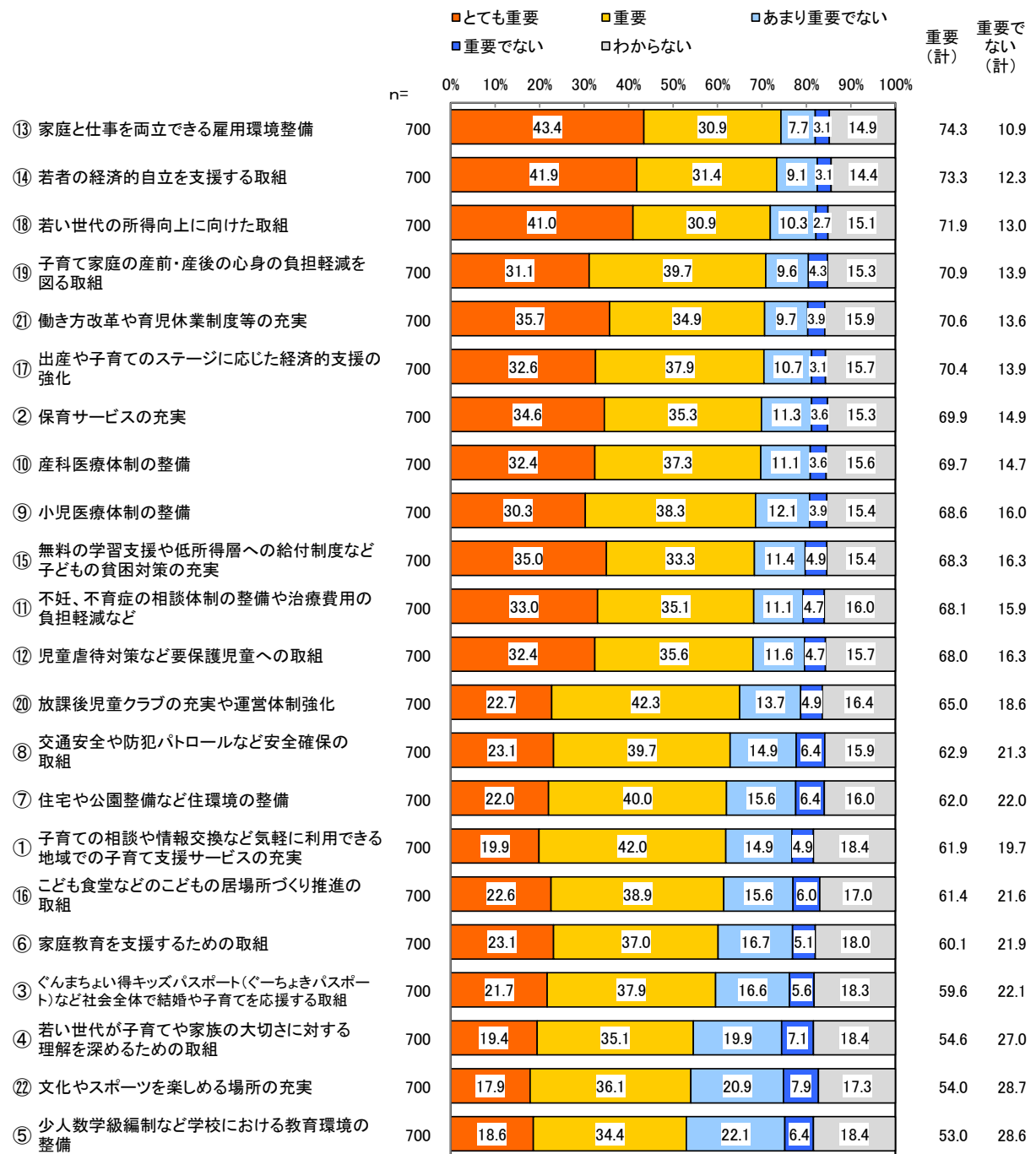
結婚しやすい社会か別でみると、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」は“結婚しにくい社会”で64.2%と高くなっている。一方、「出会いの機会の減少」は“結婚しやすい社会”で28.8%と高くなっている。

【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「若者や子育て世代の経済的な不安定さ」は“いなくてもよい”で64.4%と高くなっている。一方、「出会いの機会の減少」は“持ちたい”で23.5%と高くなっている。

問 27 次の各施策について、総合的にみて少子化対策としての重要度はどの程度だと思いますか。
(回答はそれぞれ1つ)

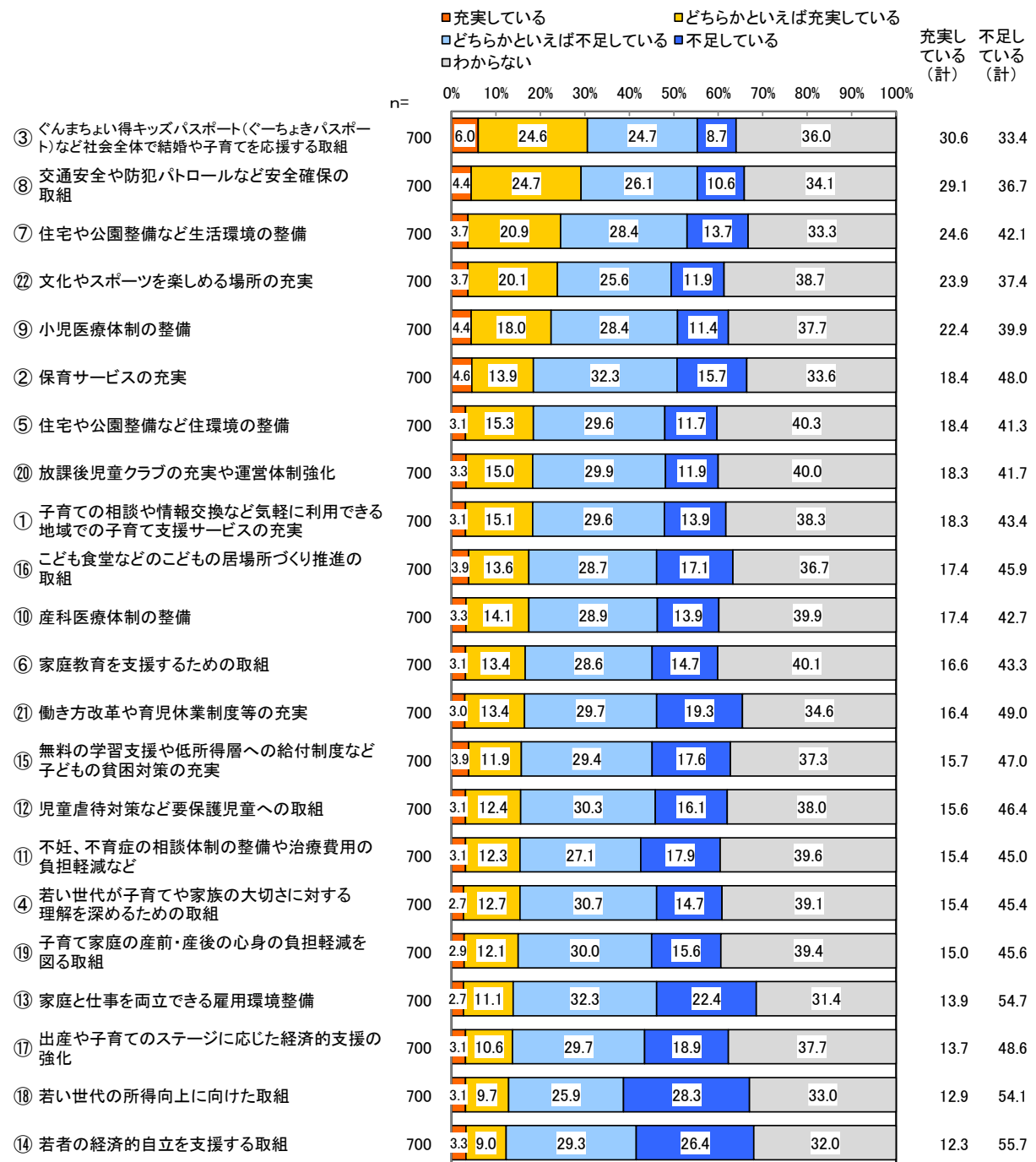
少子化対策の重要度については、「重要(計)」は“⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備”が74.3%、
“⑭若者の経済的自立を支援する取組”が73.3%、“⑱若い世代の所得向上に向けた取組”が71.9%
と高くなっている。一方、「重要でない(計)」は“㉒文化やスポーツを楽しめる場所の充実”が28.7%、
“⑤少人数学級編制など学校における教育環境の整備”が28.6%、“④若い世代が子育てや家族の大
切さに対する理解を深めるための取組”が27.0%と高くなっている。



※「とても重要」と「重要」の計を「重要(計)」、「あまり重要でない」と「重要でない」の計を「重要でない(計)」とした。

問 28 現状の少子化対策の各施策の取組状況についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つ)

少子化対策の取組状況については、「充実している(計)」は“③ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組”が30.6%、“⑧交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組”が29.1%、“⑦住宅や公園整備など生活環境の整備”が24.6%と高くなっている。一方、「不足している(計)」は“⑭若者の経済的自立を支援する取組”が55.7%、“⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備”が54.7%、“⑱若い世代の所得向上に向けた取組”が54.1%と高くなっている。



※「充実している」と「どちらかといえば充実している」の計を「充実している(計)」、「どちらかといえば不足している」と「不足している」の計を「不足している(計)」とした。

問 27 及び問 28 の 5 段階回答を指標化（※）した結果、重要度は「⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備」が 3.04 点で最も高く、次いで「⑭若者の経済的自立を支援する取組」が 3.00 点、「⑱若い世代の所得向上に向けた取組」が 2.97 点となっている。

充実度は「③ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）など社会全体で結婚や子育てを応援する取組」が 1.94 点で最も高く、次いで「⑧交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組」が 1.86 点、「⑳文化やスポーツを楽しめる場所の充実」が 1.78 点となっている。一方、「⑭若者の経済的自立を支援する取組」（1.33 点）、「⑱若い世代の所得向上に向けた取組」（1.34 点）、「⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備」（1.39 点）は低くなっている。

※指標化の方法

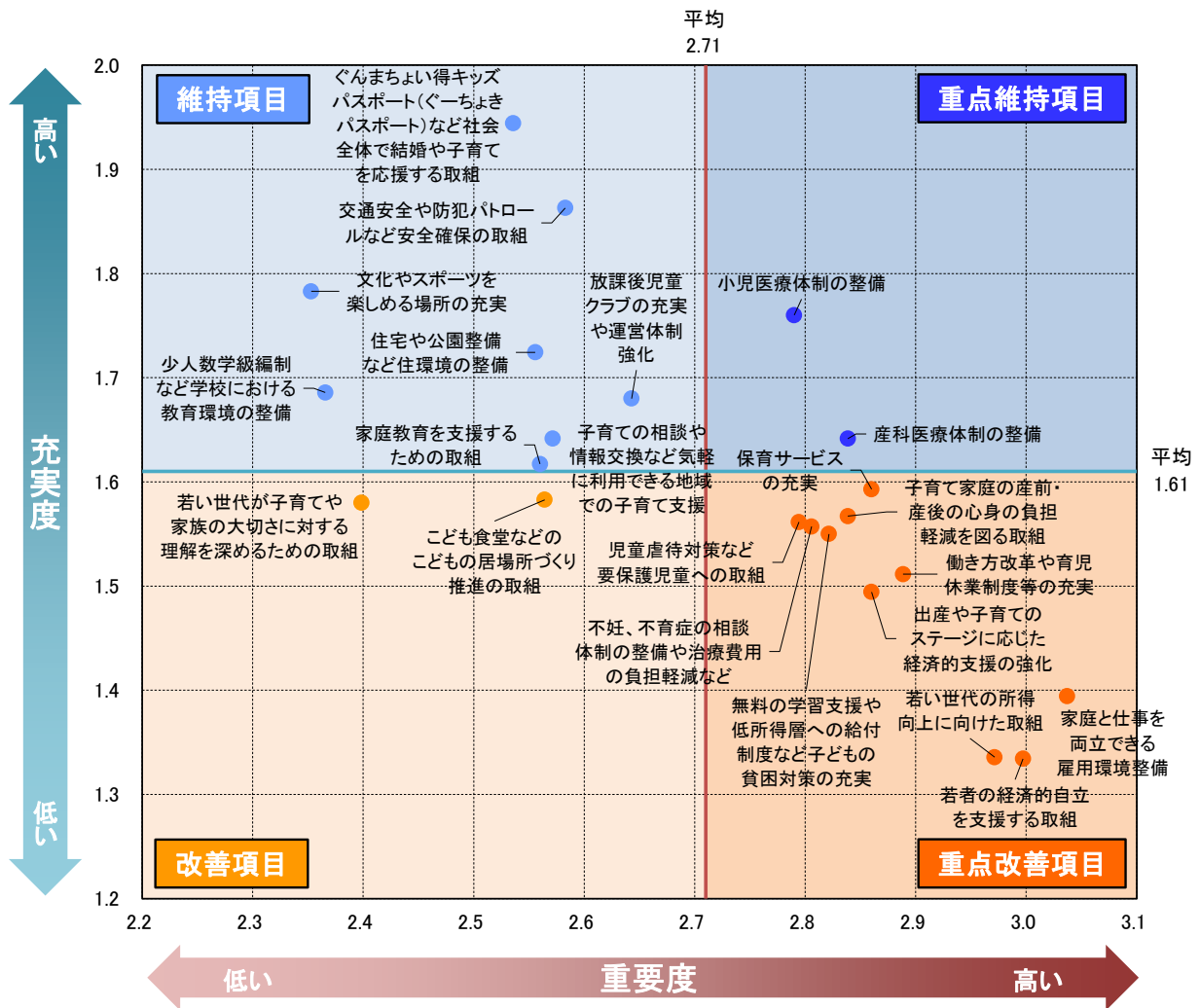
各項目の回答結果を下表の通りに得点化し、無回答を母数から除き、加重平均により指標化した。得点が高いほど、より重要に思っている／充実していることを示している。

	4点	3点	2点	1点	0点
重要度 (問 27)	とても重要	重要	わからない	あまり重要でない	重要でない
充実度 (問 28)	充実している	どちらかといえば充実している	わからない	どちらかといえば不足している	不足している

重要度・充実度の加重平均

	重要度	充実度
⑬ 家庭と仕事を両立できる雇用環境整備	3.04	1.39
⑭ 若者の経済的自立を支援する取組	3.00	1.33
⑱ 若い世代の所得向上に向けた取組	2.97	1.34
㉑ 働き方改革や育児休業制度等の充実	2.89	1.51
② 保育サービスの充実	2.86	1.59
⑰ 出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化	2.86	1.49
⑩ 産科医療体制の整備	2.84	1.64
⑲ 子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組	2.84	1.57
⑮ 無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実	2.82	1.55
⑪ 不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	2.81	1.56
⑫ 児童虐待対策など要保護児童への取組	2.79	1.56
⑨ 小児医療体制の整備	2.79	1.76
⑳ 放課後児童クラブの充実や運営体制強化	2.64	1.68
⑧ 交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	2.58	1.86
① 子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	2.57	1.64
⑯ こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組	2.56	1.58
⑥ 家庭教育を支援するための取組	2.56	1.62
⑦ 住宅や公園整備など住環境の整備	2.56	1.72
③ ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	2.54	1.94
④ 若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	2.40	1.58
⑤ 少人数学級編制など学校における教育環境の整備	2.37	1.69
⑳ 文化やスポーツを楽しめる場所の充実	2.35	1.78

重要度を横軸、充実度を縦軸として設定し、プロットした結果が、下図の通りである。



重点維持項目	重要度が高く、充実度も高いことから、今後もより重点的に維持（充実）すべき項目
維持項目	重要度が低いが、充実度が高いことから、現状を維持すべき項目
重点改善項目	重要度が高く、充実度が低いことから、重点的に改善すべき項目
改善項目	重要度が低く、充実度も低いことから、優先度は低い改善すべき項目

重要度及び充実度の平均値で区切った4つのグループに分類すると、重要度、充実度がともに高い“重点維持項目”は、「⑨小児医療体制の整備」、「⑩産科医療体制の整備」の2項目となっている。また、重要度が低いが充実度が高い“維持項目”は、「③ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）など社会全体で結婚や子育てを応援する取組」など8項目が該当している。

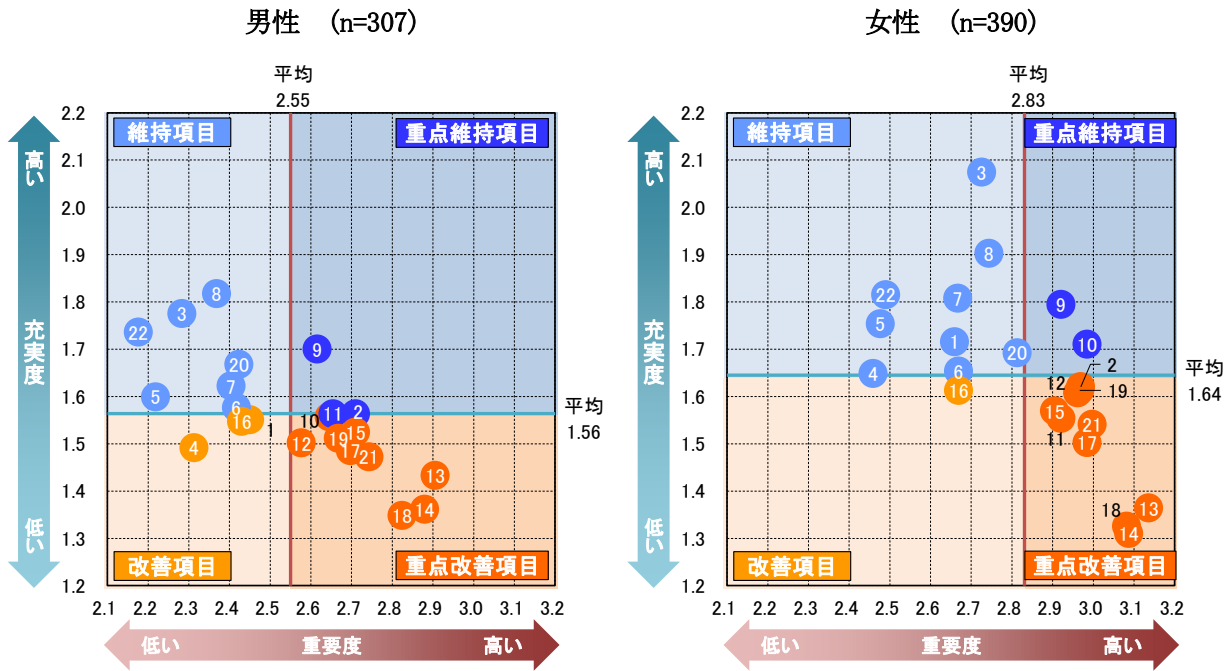
一方、重要度が高く充実度が低い“重点改善項目”は、「⑭若者の経済的自立を支援する取組」、「⑱若い世代の所得向上に向けた取組」など10項目が該当している。また、重要度も充実度も低い“改善項目”は、「⑩子ども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組」、「④若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組」の2項目となっている。

【性別】

性別でみると、全体的に重要度・充実度ともに女性が男性よりも高くなっている。全体で“重点維持項目”に属している項目をみると、「⑩産科医療体制の整備」は女性では“重点維持項目”だが男性では“重点改善項目”となっている。

一方、全体で“重点改善項目”に属している項目をみると、男女間に大きな違いはみられない。

少子化対策の重要度・充実度（性別）

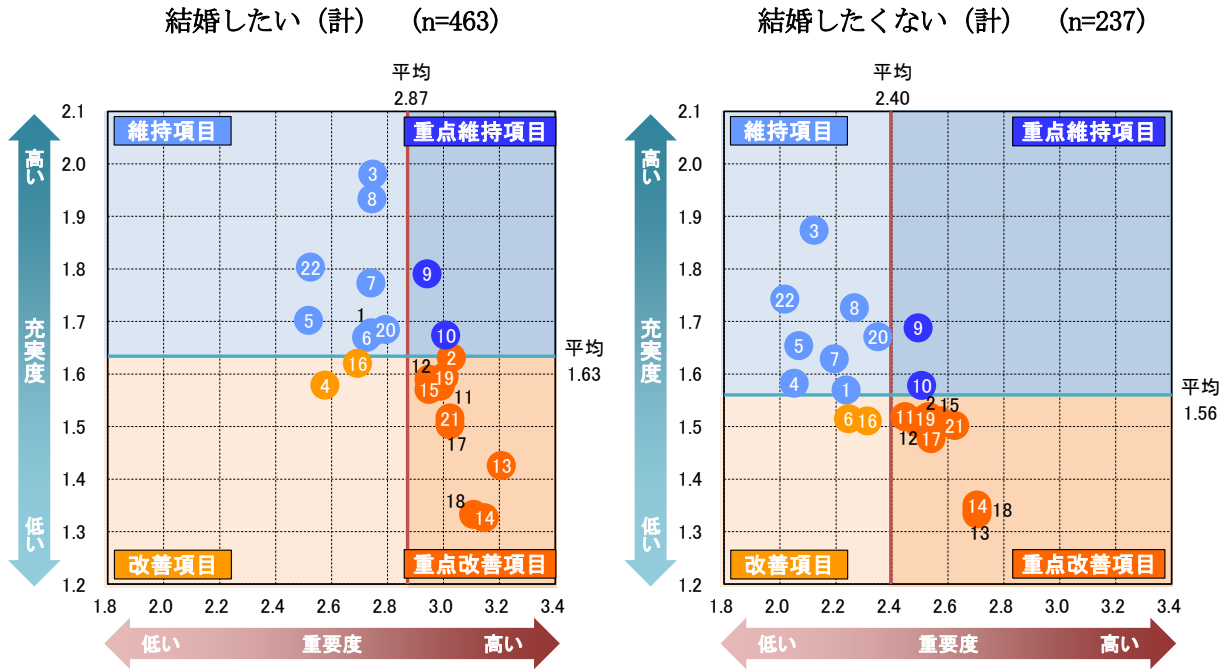


番号	項目名	番号	項目名
①	子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	⑫	児童虐待対策など要保護児童への取組
②	保育サービスの充実	⑬	家庭と仕事を両立できる雇用環境整備
③	ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	⑭	若者の経済的自立を支援する取組
④	若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	⑮	無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実
⑤	少人数学級編制など学校における教育環境の整備	⑯	こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組
⑥	家庭教育を支援するための取組	⑰	出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化
⑦	住宅や公園整備など住環境の整備	⑱	若い世代の所得向上に向けた取組
⑧	交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	⑲	子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組
⑨	小児医療体制の整備	⑳	放課後児童クラブの充実や運営体制強化
⑩	産科医療体制の整備	㉑	働き方改革や育児休業制度等の充実
⑪	不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	㉒	文化やスポーツを楽しめる場所の充実

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、4つのグループに属している項目は“結婚したい(計)”と“結婚したくない(計)”で概ね同じであるものの、全体的に“結婚したい(計)”が“結婚したくない(計)”よりも重要度が高くなっている。

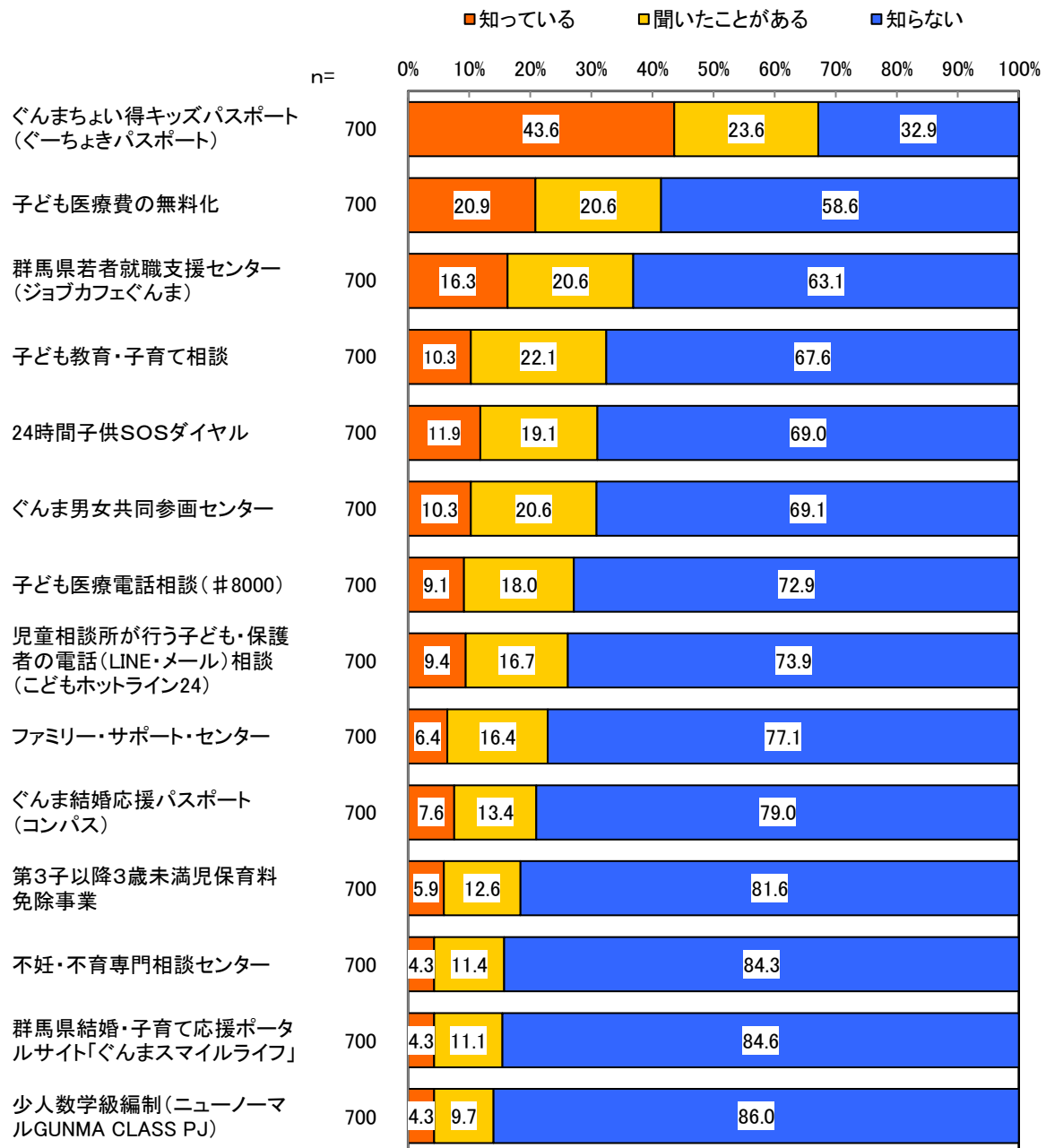
少子化対策の重要度・充実度 (将来の結婚意向別)



番号	項目名	番号	項目名
①	子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	⑫	児童虐待対策など要保護児童への取組
②	保育サービスの充実	⑬	家庭と仕事を両立できる雇用環境整備
③	ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	⑭	若者の経済的自立を支援する取組
④	若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	⑮	無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実
⑤	少人数学級編制など学校における教育環境の整備	⑯	こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組
⑥	家庭教育を支援するための取組	⑰	出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化
⑦	住宅や公園整備など住環境の整備	⑱	若い世代の所得向上に向けた取組
⑧	交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	⑲	子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組
⑨	小児医療体制の整備	⑳	放課後児童クラブの充実や運営体制強化
⑩	産科医療体制の整備	㉑	働き方改革や育児休業制度等の充実
⑪	不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	㉒	文化やスポーツを楽しめる場所の充実

問 29 次の少子化対策関連の制度や事業について、あなたはご存知でしたか。(回答はそれぞれ1つ)

少子化対策関連の制度や事業の認知度については、「知っている」は“ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）”が43.6%、“子ども医療費の無料化”が20.9%で高くなっている。一方、「知らない」は“少人数学級編制（ニューノーマルGUNMA CLASS PJ）”が86.0%、“群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」”が84.6%、“不妊・不育専門相談センター”が84.3%となっている。



少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合－性別、年齢別）

(%)

	n	ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話(LINE・メール)相談(こどもホットライン24)
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【性別】								
男性	307	33.9	12.4	19.5	8.8	7.5	10.1	6.8
女性	390	51.0	27.2	13.6	14.4	12.3	10.5	11.5
【年齢別】								
20歳代	353	51.0	24.9	15.9	17.8	14.2	11.3	14.2
30歳代	347	36.0	16.7	16.7	5.8	6.3	9.2	4.6

(%)

	n	子ども医療電話相談(#8000)	ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制(ニューノーマル GUNMA CLASS PJ)	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【性別】								
男性	307	5.9	7.2	4.2	2.6	4.6	4.6	4.2
女性	390	11.5	7.9	8.2	8.5	4.1	4.1	4.4
【年齢別】								
20歳代	353	12.2	7.1	8.8	7.9	4.2	5.4	4.8
30歳代	347	6.1	8.1	4.0	3.7	4.3	3.2	3.7

【性別】

「知っている」の割合を性別で見ると、女性は男性よりも「ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)」が17.1ポイント、「子ども医療費の無料化」が14.8ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)」が5.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)」は20歳代で51.0%と高く、「子ども医療費の無料化」も20歳代で24.9%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 居住地別）

(%)

	n	ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（こどもホットライン24）
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【居住地別】								
中部地域	248	48.4	21.4	15.7	11.7	8.5	11.3	7.3
西部地域	204	42.6	21.6	20.6	11.3	12.3	9.3	13.2
吾妻地域	14	42.9	28.6	14.3	7.1	7.1	21.4	14.3
利根沼田地域	29	34.5	20.7	24.1	20.7	20.7	10.3	3.4
東部地域	205	40.0	19.0	11.7	11.7	9.3	9.3	8.8

(%)

	n	子ども医療電話相談（#8000）	ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制（ニューノーマル GUNMA CLASS PJ）	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【居住地別】								
中部地域	248	11.3	8.5	5.2	7.3	4.0	4.0	4.4
西部地域	204	6.9	8.8	6.9	6.4	4.9	7.4	5.4
吾妻地域	14	14.3	7.1	7.1	14.3	14.3	-	7.1
利根沼田地域	29	6.9	-	3.4	-	-	3.4	-
東部地域	205	8.8	6.3	7.8	3.9	3.9	2.0	3.4

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）」は中部地域で48.4%と高くなっている。「群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）」は利根沼田地域で24.1%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 職業別）

(%)

	n	ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（こどもホットライン24）
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【職業別】								
正規雇用者（正規）	409	43.8	20.8	14.9	10.3	9.3	11.0	8.8
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	119	40.3	21.8	17.6	5.9	7.6	6.7	6.7
自営業（家族従業者含む）	18	50.0	22.2	27.8	16.7	16.7	11.1	16.7
学生	56	58.9	30.4	19.6	41.1	25.0	19.6	23.2
無職・家事	90	35.6	12.2	16.7	8.9	7.8	5.6	5.6
その他	8	50.0	37.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5

(%)

	n	子ども医療電話相談（#8000）	ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制（ニューノーマルGUNMA CLASS PJ）	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【職業別】								
正規雇用者（正規）	409	9.0	8.6	6.1	5.6	4.6	2.7	2.9
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	119	5.9	6.7	5.9	5.9	3.4	7.6	5.0
自営業（家族従業者含む）	18	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	16.7
学生	56	17.9	7.1	12.5	10.7	1.8	8.9	10.7
無職・家事	90	6.7	4.4	4.4	3.3	4.4	3.3	3.3
その他	8	-	-	-	-	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、学生で「ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）」が58.9%、「子ども医療費の無料化」が30.4%、「24時間子供SOSダイヤル」が41.1%、「子ども教育・子育て相談」が25.0%、「児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（こどもホットライン24）」が23.2%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 年収別）

(%)

	n	ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話(LINE・メール)相談(こどもホットライン24)
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【年収別】								
収入なし	67	28.4	9.0	11.9	10.4	11.9	4.5	4.5
200万円未満	206	47.1	24.8	18.0	15.5	10.7	10.7	12.1
200万円～300万円未満	163	48.5	25.2	12.9	11.0	8.6	6.7	8.0
300万円～400万円未満	131	42.7	19.8	20.6	13.0	15.3	14.5	10.7
400万円～500万円未満	75	48.0	17.3	13.3	6.7	2.7	12.0	8.0
500万円以上	58	31.0	15.5	19.0	6.9	10.3	13.8	8.6

(%)

	n	子ども医療費電話相談(#8000)	ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制(ニューノーマルGUNMA CLASS PJ)	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【年収別】								
収入なし	67	7.5	6.0	7.5	4.5	3.0	6.0	3.0
200万円未満	206	9.2	5.3	6.3	7.3	4.4	4.4	5.8
200万円～300万円未満	163	7.4	5.5	4.9	4.9	1.8	4.3	4.3
300万円～400万円未満	131	13.0	12.2	8.4	6.1	6.9	4.6	1.5
400万円～500万円未満	75	9.3	13.3	5.3	4.0	2.7	1.3	4.0
500万円以上	58	6.9	5.2	6.9	6.9	8.6	5.2	6.9

【年収別】

年収別で見ると、「子ども医療費の無料化」は200～300万円未満で25.2%、200万円未満で24.8%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 将来の結婚意向別）

(%)

	n	ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（子どもホットライン24）
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【将来の結婚意向別】								
結婚したい	249	50.2	25.7	19.7	16.5	14.1	13.3	12.9
どちらかといえば結婚したい	214	50.0	19.6	17.3	13.6	11.2	10.7	10.7
どちらかといえば結婚したくない	111	36.9	22.5	12.6	6.3	6.3	7.2	5.4
結婚したくない	126	25.4	11.9	11.1	4.8	4.8	6.3	4.0

(%)

	n	子ども医療電話相談（#8000）	ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制（ニューノーマル GUNMA CLASS PJ）	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【将来の結婚意向別】								
結婚したい	249	13.3	11.2	9.2	8.4	6.8	5.6	7.2
どちらかといえば結婚したい	214	10.3	8.4	7.5	6.5	3.3	5.1	4.2
どちらかといえば結婚したくない	111	3.6	3.6	2.7	2.7	3.6	2.7	0.9
結婚したくない	126	4.0	2.4	2.4	2.4	1.6	1.6	1.6

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど「ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）」が高く、“結婚したい”で50.2%、“どちらかといえば結婚したい”で50.0%となっている。その他の項目も同様の傾向がみられ、「子ども医療費の無料化」は“結婚したい”で25.7%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 将来の子どもの希望別）

(%)

	n	ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）	子ども医療費の無料化	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）	24時間子供SOSダイヤル	子ども教育・子育て相談	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（こどもホットライン24）
全体	700	43.6	20.9	16.3	11.9	10.3	10.3	9.4
【将来の子どもの希望別】								
持ちたい	307	55.4	26.7	18.9	18.6	15.0	14.7	13.0
いなくてもよい	267	40.1	17.6	14.2	8.2	9.0	9.0	8.6
わからない	126	22.2	13.5	14.3	3.2	1.6	2.4	2.4

(%)

	n	子ども医療電話相談（#8000）	ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）	ファミリー・サポート・センター	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	少人数学級編制（ニューノーマルGUNMA CLASS PJ）	不妊・不育専門相談センター
全体	700	9.1	7.6	6.4	5.9	4.3	4.3	4.3
【将来の子どもの希望別】								
持ちたい	307	13.4	11.7	9.1	10.1	5.5	6.2	7.2
いなくてもよい	267	7.5	4.9	5.2	3.0	3.4	3.4	2.2
わからない	126	2.4	3.2	2.4	1.6	3.2	1.6	1.6

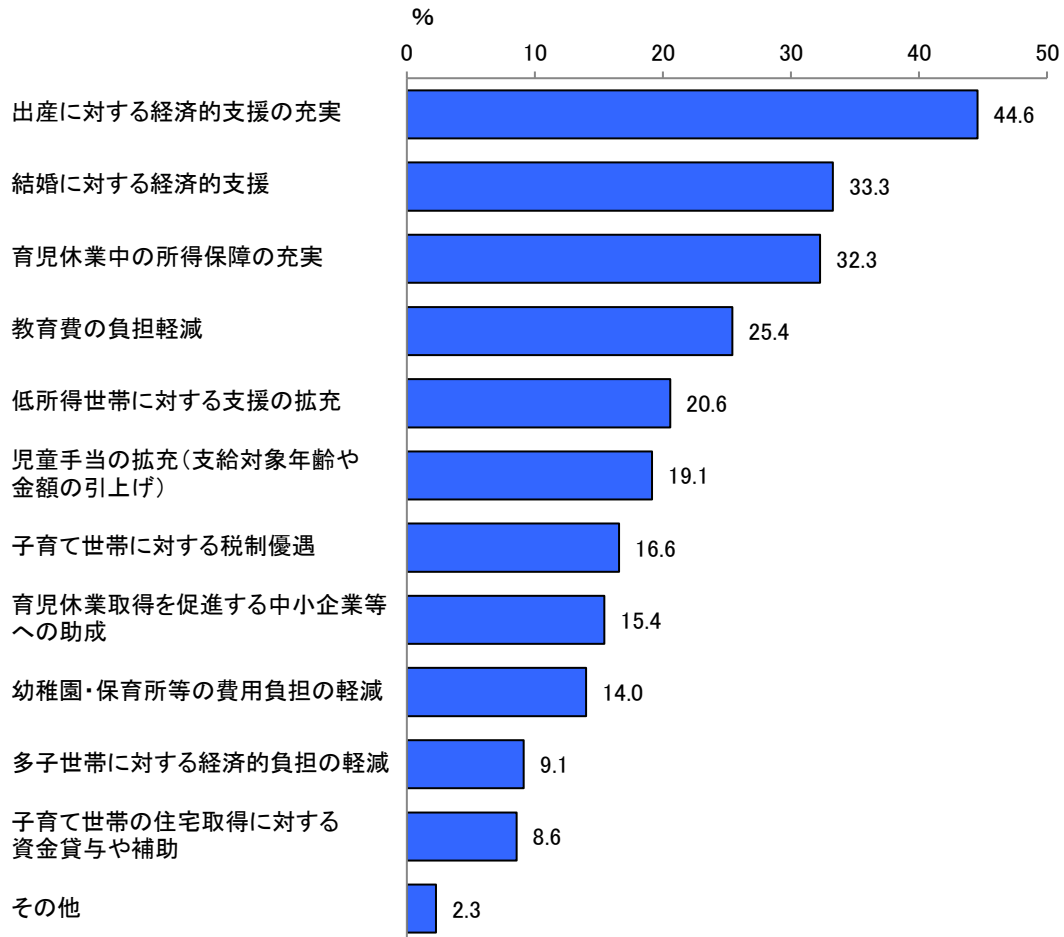
【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）」は“持ちたい”で55.4%と高く、「子ども医療費の無料化」も“持ちたい”で26.7%と高くなっている。

問 30 あなたは少子化対策としてどのような経済的支援が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

少子化対策に必要な経済的支援は、「出産に対する経済的支援の充実」が 44.6%で最も高く、次いで「結婚に対する経済的支援」が 33.3%、「育児休業中の所得保障の充実」が 32.3%となっている。

n= 700



少子化対策として必要な経済的支援（性別、年齢別）

(%)

	n	出産に対する 経済的援助の 充実	結婚に対する 経済的支援	育児休業中の 所得保障の充 実	教育費の負担 軽減	低所得世帯に 対する支援の 拡充	児童手当の拡 充(支給対象年 齢や金額の引 上げ)
全体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【性別】							
男性	307	37.1	41.0	28.3	21.8	24.4	17.3
女性	390	50.0	26.9	34.9	28.5	17.7	20.5
【年齢別】							
20歳代	353	47.3	28.6	32.3	28.9	17.6	21.2
30歳代	347	41.8	38.0	32.3	21.9	23.6	17.0

(%)

	n	子育て世帯に 対する税制優 遇	育児休業取得 を促進する中小 企業等への助 成	幼稚園・保育所 等の費用負担 の軽減	多子世帯に対 する経済的負 担の軽減	子育て世帯の 住宅取得に対 する資金貸与 や補助	その他
全体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【性別】							
男性	307	21.2	13.7	11.7	10.4	6.8	2.0
女性	390	13.1	16.9	15.9	8.2	10.0	2.6
【年齢別】							
20歳代	353	15.9	13.3	15.6	8.8	9.6	1.7
30歳代	347	17.3	17.6	12.4	9.5	7.5	2.9

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「出産に対する経済的援助の充実」が12.9ポイント、「教育費の負担軽減」が6.7ポイント、「育児休業中の所得保障の充実」が6.6ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚に対する経済的支援」が14.1ポイント、「子育て世帯に対する税制優遇」が8.1ポイント、「低所得世帯に対する支援の拡充」が6.7ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「出産に対する経済的支援の充実」は20歳代で47.3%と高く、「教育費の負担軽減」も20歳代で28.9%と高くなっている。一方、「結婚に対する経済的支援」は30歳代で38.0%と高く、「低所得世帯に対する支援の拡充」も30歳代で23.6%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（居住地別）

(%)

	n	出産に対する 経済的援助の 充実	結婚に対する 経済的支援	育児休業中の 所得保障の充 実	教育費の負担 軽減	低所得世帯に 対する支援の 拡充	児童手当の拡 充(支給対象 年齢や金額の 引上げ)
全 体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【居住地別】							
中部地域	248	41.9	29.0	31.5	26.6	22.2	21.0
西部地域	204	46.6	38.2	24.5	23.5	21.1	20.6
吾妻地域	14	50.0	42.9	21.4	42.9	35.7	7.1
利根沼田地域	29	41.4	24.1	51.7	20.7	24.1	13.8
東部地域	205	45.9	34.1	39.0	25.4	16.6	17.1

(%)

	n	子育て世帯に 対する税制優 遇	育児休業取得 を促進する中 小企業等への 助成	幼稚園・保育 所等の費用負 担の軽減	多子世帯に対 する経済的負 担の軽減	子育て世帯の 住宅取得に対 する資金貸与 や補助	その他
全 体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【居住地別】							
中部地域	248	19.0	13.3	12.5	10.5	10.1	2.4
西部地域	204	15.2	12.7	17.2	8.3	9.8	2.5
吾妻地域	14	28.6	14.3	7.1	14.3	-	-
利根沼田地域	29	20.7	17.2	10.3	10.3	10.3	3.4
東部地域	205	13.7	20.5	13.7	7.8	5.9	2.0

※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「育児休業中の所得保障の充実」は利根沼田地域で 51.7%と高くなっている。「育児休業取得を促進する中小企業等への助成」は東部地域で 20.5%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（職業別）

(%)

	n	出産に対する経済的援助の充実	結婚に対する経済的支援	育児休業中の所得保障の充実	教育費の負担軽減	低所得世帯に対する支援の拡充	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)
全体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【職業別】							
正規雇用者(正規)	409	44.5	36.4	32.0	24.9	15.9	21.3
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	40.3	31.9	37.8	23.5	31.9	16.0
自営業(家族従業員含む)	18	44.4	27.8	33.3	27.8	33.3	22.2
学生	56	57.1	25.0	30.4	33.9	21.4	25.0
無職・家事	90	44.4	28.9	28.9	22.2	24.4	10.0
その他	8	25.0	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5

(%)

	n	子育て世帯に対する税制優遇	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減	多子世帯に対する経済的負担の軽減	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【職業別】							
正規雇用者(正規)	409	20.0	15.6	12.0	8.6	9.3	1.0
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	15.1	16.0	16.0	10.1	7.6	2.5
自営業(家族従業員含む)	18	11.1	5.6	16.7	16.7	11.1	11.1
学生	56	5.4	8.9	19.6	14.3	8.9	-
無職・家事	90	10.0	20.0	14.4	5.6	5.6	7.8
その他	8	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「出産に対する経済的支援の充実」は学生で57.1%と高くなっている。「育児休業中の所得保障の充実」は非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で37.8%と高く、「低所得世帯に対する支援の拡充」も非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）で31.9%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（年収別）

(%)

	n	出産に対する経済的援助の充実	結婚に対する経済的支援	育児休業中の所得保障の充実	教育費の負担軽減	低所得世帯に対する支援の拡充	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)
全体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【年収別】							
収入なし	67	40.3	19.4	26.9	23.9	23.9	14.9
200万円未満	206	46.6	29.1	33.0	27.2	28.6	17.0
200万円～300万円未満	163	49.1	31.3	36.2	28.2	19.0	20.9
300万円～400万円未満	131	36.6	38.9	31.3	21.4	17.6	21.4
400万円～500万円未満	75	46.7	44.0	29.3	20.0	16.0	22.7
500万円以上	58	44.8	43.1	31.0	29.3	5.2	17.2

(%)

	n	子育て世帯に対する税制優遇	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減	多子世帯に対する経済的負担の軽減	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【年収別】							
収入なし	67	9.0	22.4	13.4	7.5	7.5	7.5
200万円未満	206	13.6	12.6	17.5	12.1	6.8	1.5
200万円～300万円未満	163	14.1	16.0	15.3	8.0	8.6	1.2
300万円～400万円未満	131	24.4	19.8	9.9	7.6	9.9	3.1
400万円～500万円未満	75	22.7	6.7	14.7	10.7	14.7	1.3
500万円以上	58	17.2	17.2	6.9	5.2	5.2	1.7

【年収別】

年収別でみると、「結婚に対する経済的支援」は年収が上がるほど高くなる傾向がみられ、400万円～500万円未満で44.0%、500万円以上で43.1%となっている。一方、「低所得世帯に対する支援の拡充」は200万円未満で28.6%と高く、「育児休業取得を促進する中小企業等への助成」は収入なしで22.4%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（将来の結婚意向別）

(%)

	n	出産に対する 経済的援助の 充実	結婚に対する 経済的支援	育児休業中の 所得保障の充 実	教育費の負担 軽減	低所得世帯に 対する支援の 拡充	児童手当の拡 充(支給対象 年齢や金額の 引上げ)
全体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【将来の結婚意向別】							
結婚したい	249	53.8	39.0	36.5	26.9	18.1	22.5
どちらかといえば 結婚したい	214	44.4	36.9	30.4	24.3	21.5	18.2
どちらかといえば 結婚したくない	111	40.5	27.9	36.9	29.7	23.4	19.8
結婚したくない	126	30.2	20.6	23.0	20.6	21.4	13.5

(%)

	n	子育て世帯に 対する税制優 遇	育児休業取得 を促進する中 小企業等への 助成	幼稚園・保育 所等の費用負 担の軽減	多子世帯に対 する経済的負 担の軽減	子育て世帯の 住宅取得に対 する資金貸与 や補助	その他
全体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【将来の結婚意向別】							
結婚したい	249	17.3	10.4	14.9	9.6	8.8	0.8
どちらかといえば 結婚したい	214	19.6	15.0	16.8	9.3	10.3	1.9
どちらかといえば 結婚したくない	111	13.5	18.9	14.4	9.0	5.4	5.4
結婚したくない	126	12.7	23.0	7.1	7.9	7.9	3.2

【将来の結婚意向別】

将来の結婚意向別でみると、結婚意向が高いほど「出産に対する経済的援助の充実」が高く、“結婚したい”で53.8%となっている。「結婚に対する経済的支援」も同様の傾向がみられ、“結婚したい”で39.0%となっている。一方、「育児休業取得を促進する中小企業等への助成」は結婚意向が低いほど高く、“結婚したくない”で23.0%となっている。

少子化対策として必要な経済的支援（結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	出産に対する 経済的援助 の充実	結婚に対する 経済的支援	育児休業中 の所得保障 の充実	教育費の負 担軽減	低所得世帯 に対する支援 の拡充	児童手当の 拡充(支給対 象年齢や金 額の引上げ)
全 体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【結婚しやすい社会か】							
結婚しやすい社会	59	52.5	40.7	35.6	10.2	15.3	18.6
結婚しにくい社会	424	46.5	37.0	34.2	29.0	26.7	21.0
どちらともいえない	217	38.7	24.0	27.6	22.6	10.1	15.7

(%)

	n	子育て世帯に 対する税制優 遇	育児休業取 得を促進する 中小企業等 への助成	幼稚園・保育 所等の費用 負担の軽減	多子世帯に 対する経済的 負担の軽減	子育て世帯 の住宅取得 に対する資金 貸与や補助	その他
全 体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【結婚しやすい社会か】							
結婚しやすい社会	59	16.9	10.2	16.9	13.6	5.1	-
結婚しにくい社会	424	17.9	12.0	12.7	9.9	9.2	1.9
どちらともいえない	217	13.8	23.5	15.7	6.5	8.3	3.7

【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「出産に対する経済的援助の充実」は“結婚しやすい社会”で52.5%と高く、「結婚に対する経済的支援」も“結婚しやすい社会”で40.7%と高くなっている。一方、「教育費の負担軽減」は“結婚しにくい社会”で29.0%と高く、「低所得世帯に対する支援の拡充」も“結婚しにくい社会”で26.7%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（将来の子どもの希望別）

(%)

	n	出産に対する経済的援助の充実	結婚に対する経済的支援	育児休業中の所得保障の充実	教育費の負担軽減	低所得世帯に対する支援の拡充	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)
全体	700	44.6	33.3	32.3	25.4	20.6	19.1
【将来の子どもの希望別】							
持ちたい	307	51.5	36.2	37.8	26.1	18.9	23.1
いなくてもよい	267	38.6	32.6	29.2	23.6	23.2	17.2
わからない	126	40.5	27.8	25.4	27.8	19.0	13.5

(%)

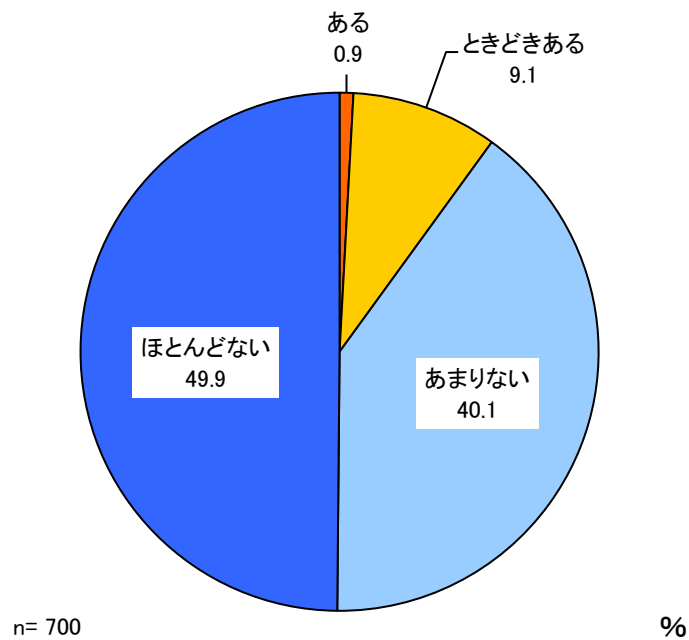
	n	子育て世帯に対する税制優遇	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減	多子世帯に対する経済的負担の軽減	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	16.6	15.4	14.0	9.1	8.6	2.3
【将来の子どもの希望別】							
持ちたい	307	17.9	9.8	15.3	10.1	8.1	1.0
いなくてもよい	267	17.2	18.0	10.9	9.7	9.4	3.4
わからない	126	11.9	23.8	17.5	5.6	7.9	3.2

【将来の子どもの希望別】

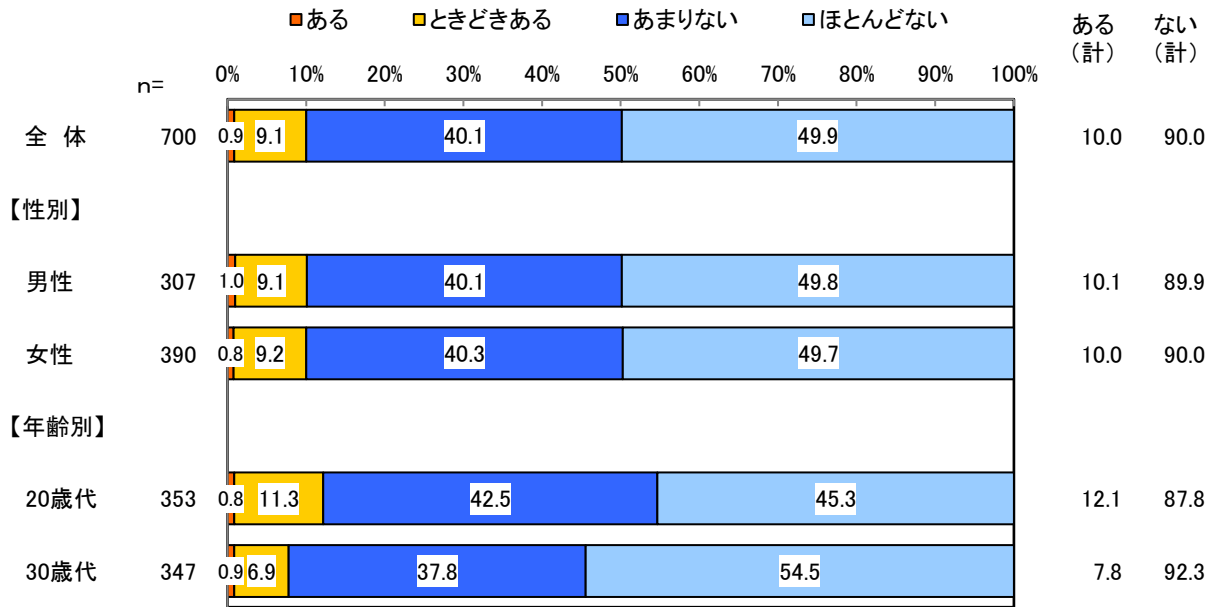
将来の子どもの希望別でみると、「出産に対する経済的援助の充実」は“持ちたい”で51.5%と高く、「育児休業中の所得保障の充実」も“持ちたい”で37.8%と高くなっている。

問 31 主に結婚、妊娠・出産、子育てや少子化対策について、行政の施策に対して自身の意見が反映されている実感がありますか。

行政の施策に対して自身の意見が反映されている実感は、「ほとんどない」が 49.9%で最も高く、次いで「あまりない」が 40.1%、「ときどきある」が 9.1%となっている。「ある（計）」（「ある」と「ときどきある」の合計）は 10.0%、「ない（計）」（「あまりない」と「ほとんどない」の合計）は 90.0%となっている。



行政施策に意見が反映されている実感（性別、年齢別）



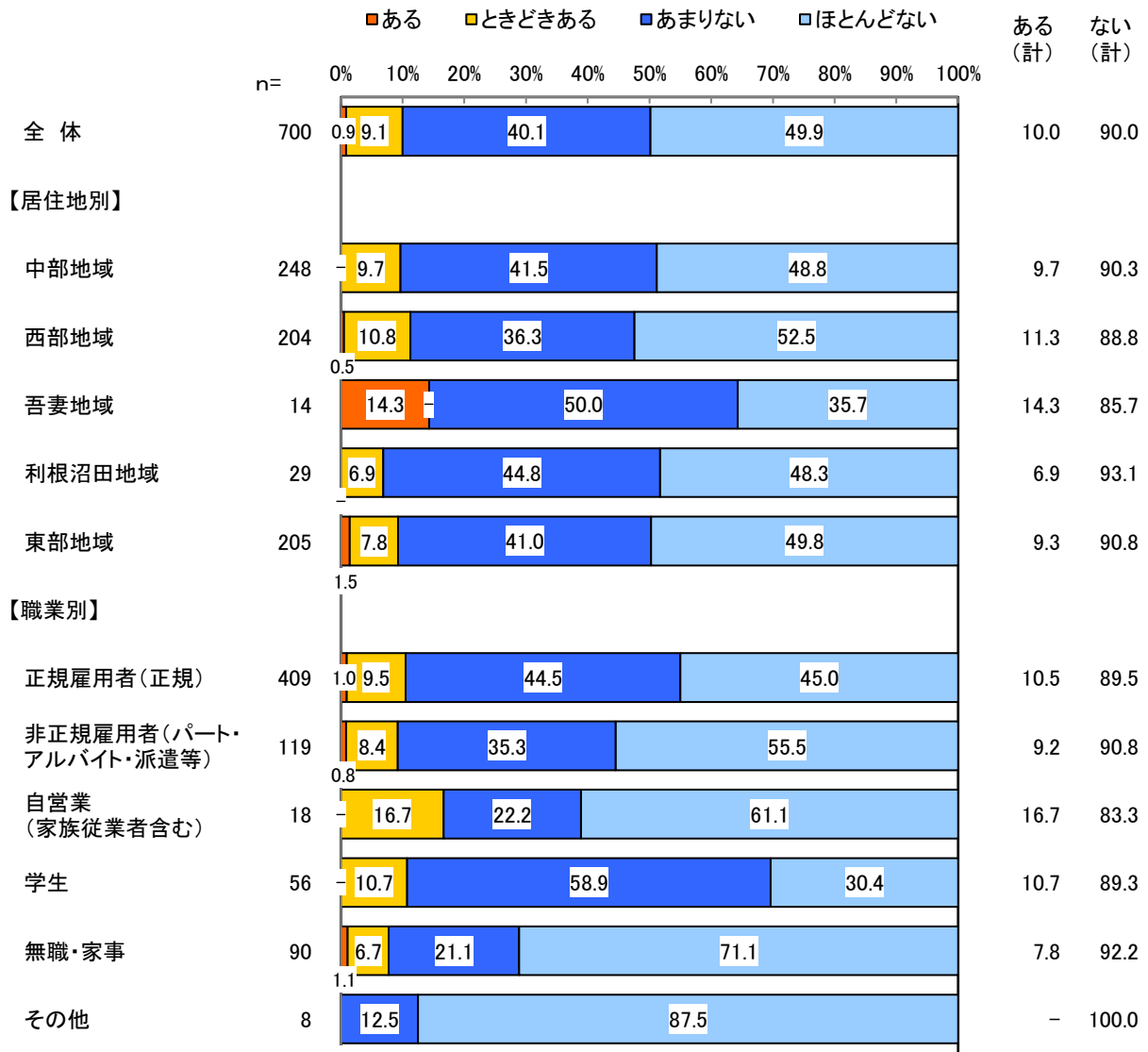
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「ない (計)」は30歳代で92.3%と高くなっている。

行政施策に意見が反映されている実感（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

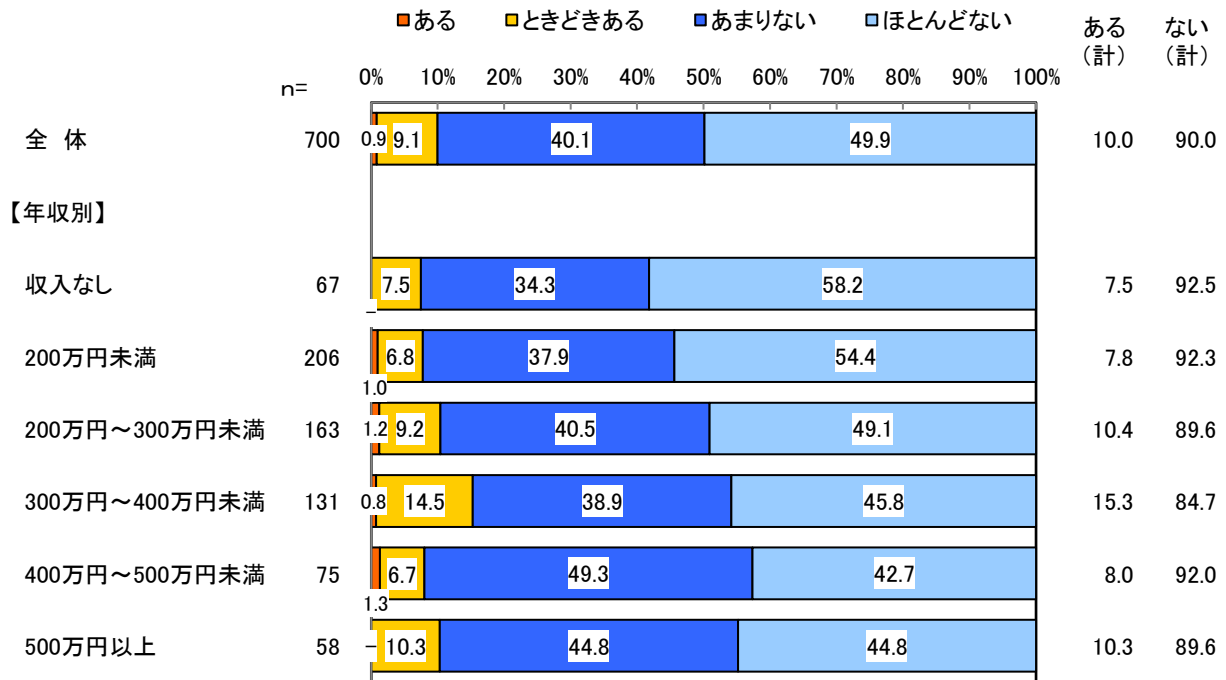
【居住地別】

居住地別でみると、「ない(計)」は利根沼田地域で93.1%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「ない(計)」は無職・家事で92.2%と高くなっている。

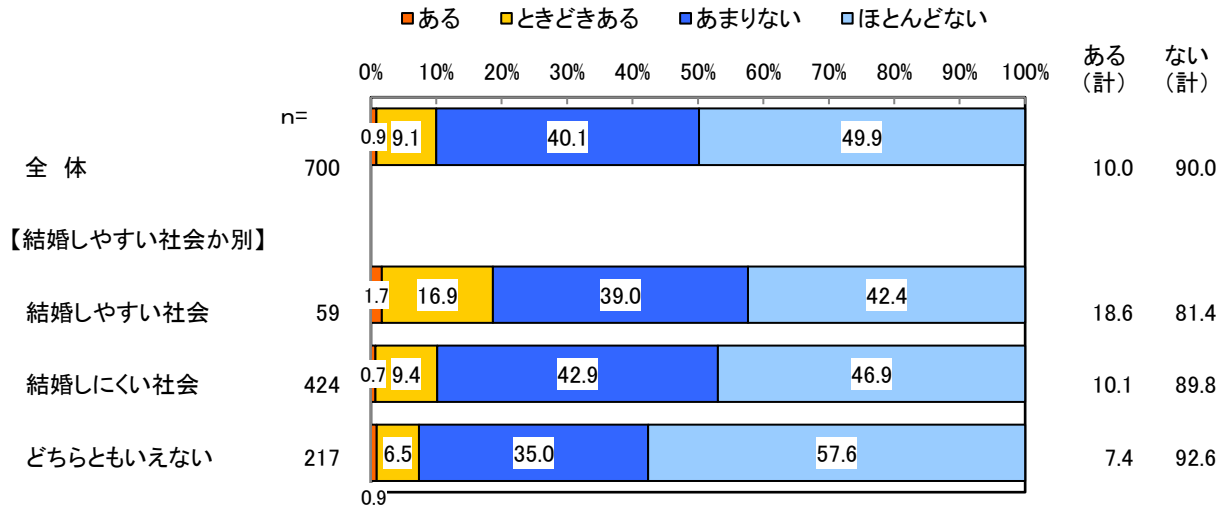
行政施策に意見が反映されている実感（年収別）



【年収別】

年収別でみると、「ある（計）」は300万円～400万円未満で15.3%とやや高くなっている。

行政施策に意見が反映されている実感（結婚しやすい社会か別）



【結婚しやすい社会か別】

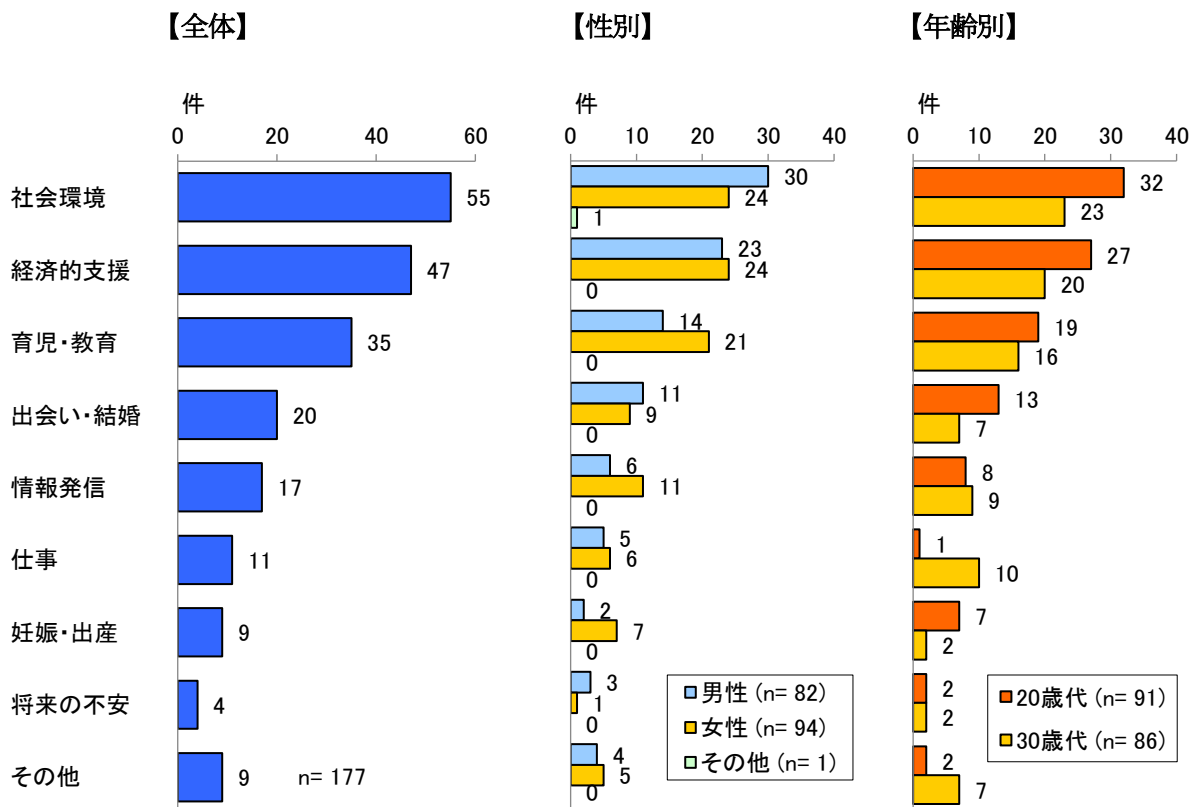
結婚しやすい社会か別でみると、「ある (計)」は“結婚しやすい社会”で18.6%と高くなっている。

問 32 結婚、妊娠・出産、子育てや少子化対策について、日頃お考えのことや行政に対する要望等がありましたらご自由にお書きください。(結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援に係る精神的支援など経済的支援以外の取組等)

自由意見については、9項目に分類した。全体でみると「社会環境」についての意見が55件で最も多く、次いで「経済的支援」が47件、「育児・教育」が35件となっている。

性別でみると、「社会環境」は男性、「育児・教育」は女性で多くなっている。また、「経済的支援」は男女ともに意見が多い。

年齢別でみると、「社会環境」、「経済的支援」、「育児・教育」がいずれも20歳代で多くなっている。



以下に代表的な意見を掲載する。

【社会環境】

- ・子どもを産める世代の賃金や制度が少ない。結婚してからの制度ではなく、結婚する前のお金のない若者に対する経済支援が必要だと思う。(男性 20～24 歳)
- ・少子化対策だからといって結婚し子どもを設ける人を善者、結婚しない人を悪者という認識の社会にはしないほしい。それよりも、子どもを持ちたいと思う人が経済的にも社会的にも精神的にも躊躇わずに子どもを持ち育て上げられる、そういった環境作りをしてほしい。(男性 30～34 歳)
- ・個人主義的な思想が普及していく中で出生率を上げるのは困難だと思う。結婚出産に相当なメリットを見出せる取組でもない限りは今後も下がり続けるのでは。(男性 35～39 歳)

【経済的支援】

- ・結婚することのメリットがはっきり感じられるような経済支援等が必要だと思う。現在の状況だと、結婚することはコストパフォーマンスが悪い。(男性 30～34 歳)

- ・現役世代の納税負担が大きいから消費税や所得税などの税制度の負担を減らしてほしい。

(男性 35～39 歳)

- ・子どもをほしいが経済的に不安で妊娠を先延ばししているので、出産から成人になるまで支援が大きく出れば2人でも3人でも子どもを作りたい。(女性 20～24 歳)
- ・子育てだけでなく介護の心配もあるため金銭面が心配。(女性 25～29 歳)

【育児・教育】

- ・奨学金返済が足かせとなって結婚を躊躇している人が多くいると思うので、結婚を機に返済負担を軽減するような制度が欲しい。(男性 30～34 歳)
- ・虐待などのニュースを聞く度に悲しくなり、産んだ後の方がいろんな負担が増えると思うので、出産後の家庭へのケアをもっと充実させてほしい。(女性 35～39 歳)

【出会い・結婚】

- ・出会いの場が少ないのもあるし、マッチングアプリなどでも出会えないことが多い中、自分との価値観の合う異性を見つけることはかなり難しいとも思うため、その辺も支援が必要ないとは言いきれないと思う。(男性 25～29 歳)
- ・社会人になると余計に出会いの場が少なくなるので、結婚支援をもっと積極的に行ってほしい。(女性 35～39 歳)

【情報発信】

- ・なんらかの支援活動を行っている場合、その周知・宣伝をもっとしてほしいと思っています。(男性 35～39 歳)
- ・まだまだ共働きでも母親の負担が大きいと感じる。男女で共に子どもを育てていくという意識づくりが必要だと思う。(女性 25～29 歳)

【仕事】

- ・出産後の職場復帰をスムーズにできるような支援。(男性 30～34 歳)
- ・最近は生活費が高くなっていて食費も光熱費もかかるが、収入が上がらないので生活が厳しく、結婚や育児にお金を使える余裕がない。(女性 30～34 歳)

【妊娠・出産】

- ・出産一時金だけでは出産費用(入院含む)は足りない上に検診でもお金がかなりかかる。地域によって一時金で足りているところもあるし、大幅に足りないところもあるみたいなので全部負担してほしい。(女性 25～29 歳)

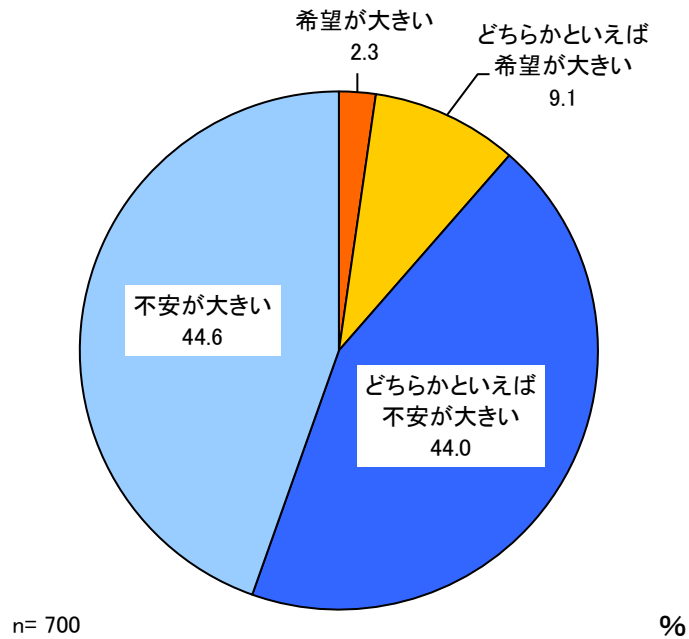
【将来の不安】

- ・結婚・子育てについてとにかく金銭面での不安や、自由の制約のイメージが強い。特に金銭面については、日本の不景気もあり、老後不安もあるので結婚を諦めている層がいると思う。(男性 35～39 歳)

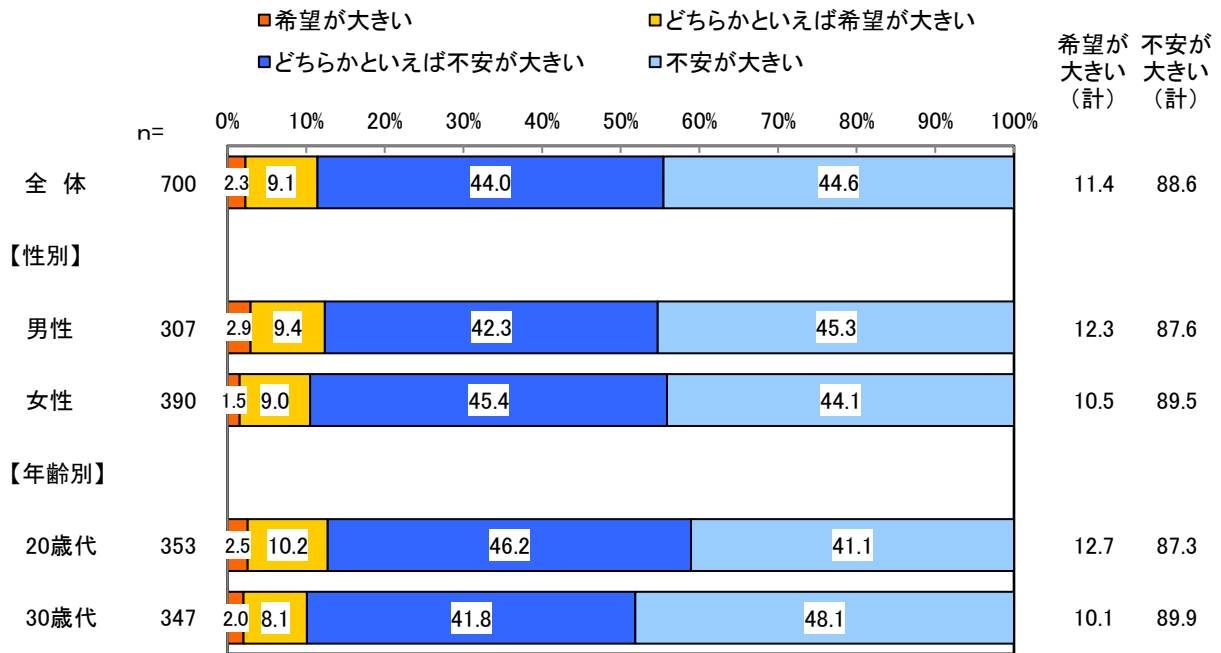
6 子どもの未来について

問 33 将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後の未来について、どのように思いますか。

将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後の未来は、「不安が大きい」が44.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば不安が大きい」が44.0%、「どちらかといえば希望が大きい」が9.1%となっている。「希望が大きい(計)」(「希望が大きい」と「どちらかといえば希望が大きい」の合計)は11.4%、「不安が大きい(計)」(「どちらかといえば不安が大きい」と「不安が大きい」の合計)は88.6%となっている。



子どもたちの10年後、20年後の未来（性別、年齢別）



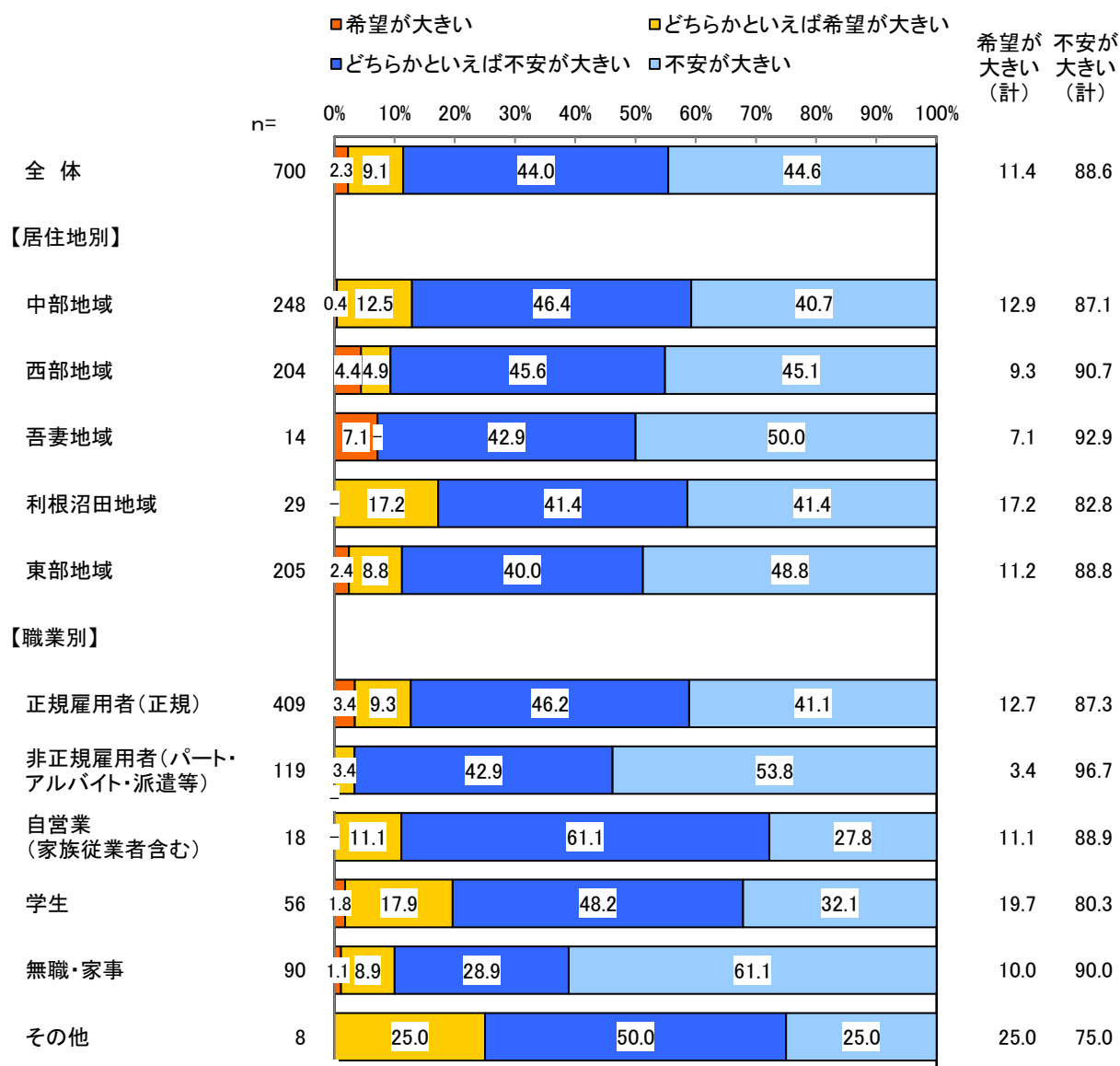
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「不安が大きい（計）」は30歳代で89.9%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の未来（居住地別、職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

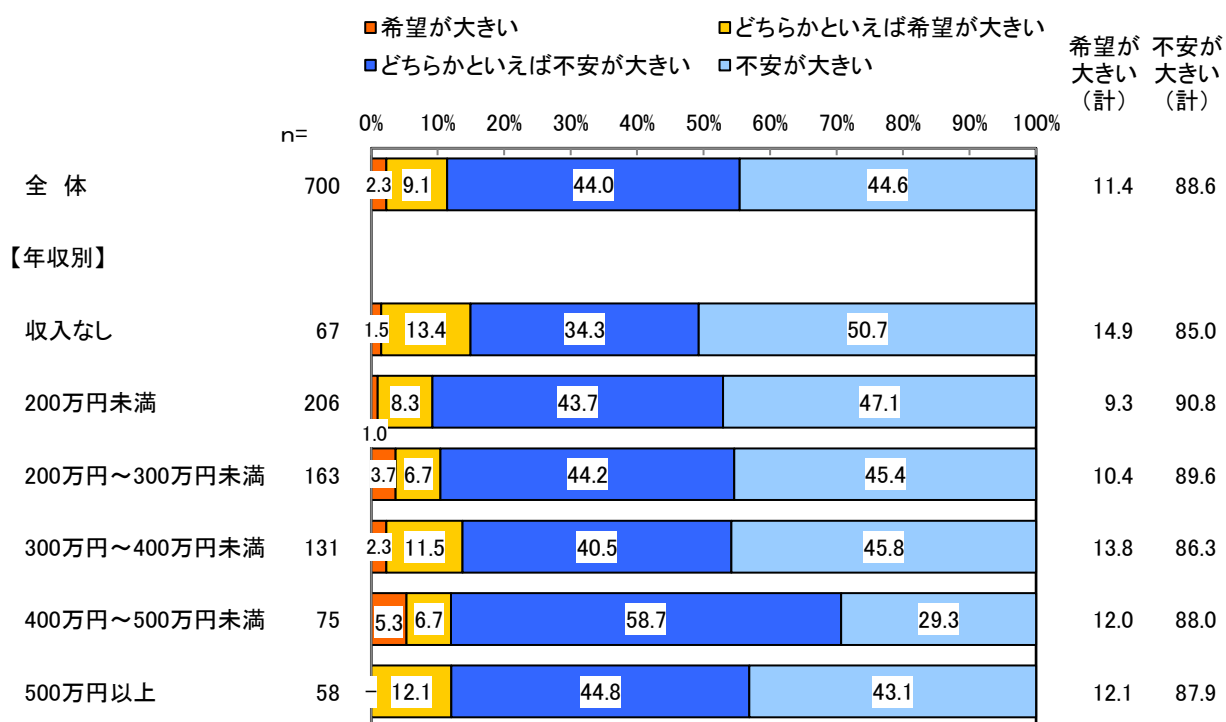
【居住地別】

居住地別でみると、「不安が大きい(計)」は西部地域で90.7%と高くなっている。

【職業別】

職業別でみると、「不安が大きい(計)」は非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)で96.7%と高くなっている。一方、「希望が大きい(計)」は学生で19.7%と高くなっている。

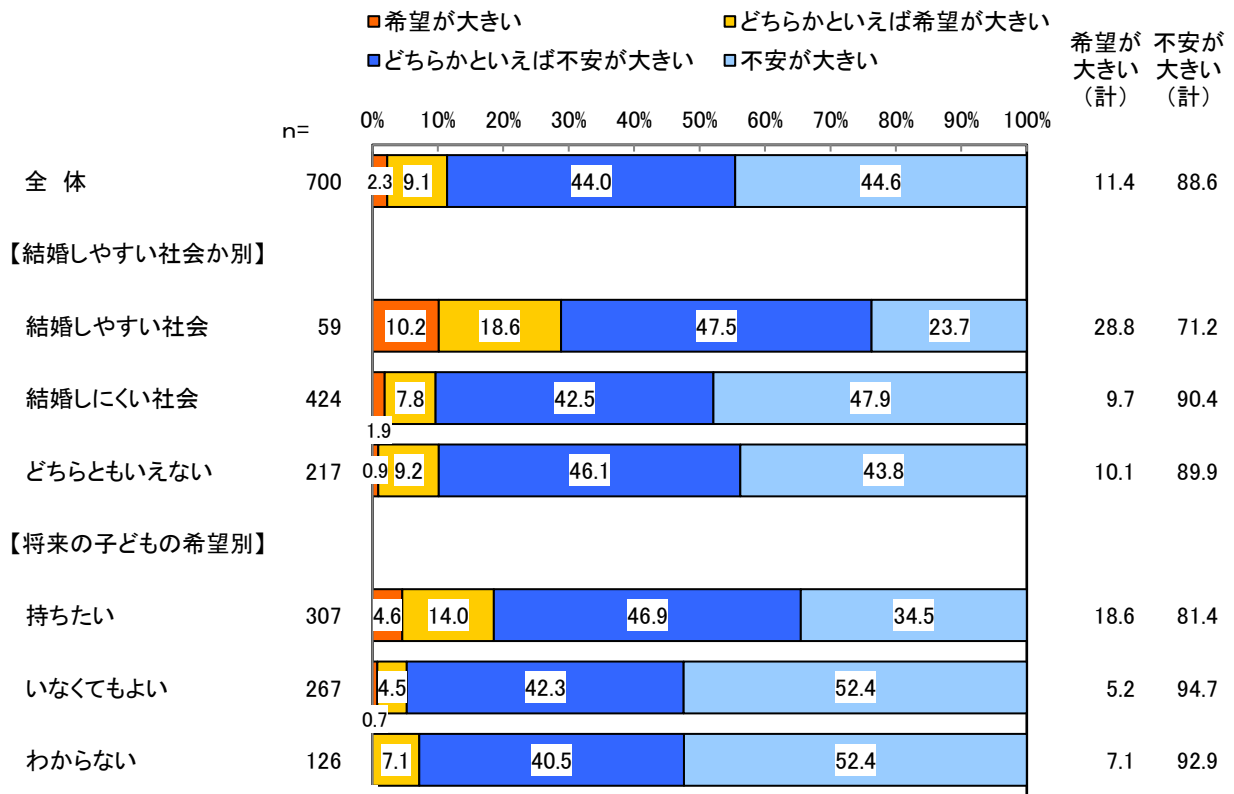
子どもたちの10年後、20年後の未来（年収別）



【年収別】

年収別で見ると、「不安が大きい（計）」は200万円未満で90.8%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の未来（結婚しやすい社会か別、将来の子どもの希望別）



【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「希望が大きい (計)」は“結婚しやすい社会”で28.8%と高くなっている。

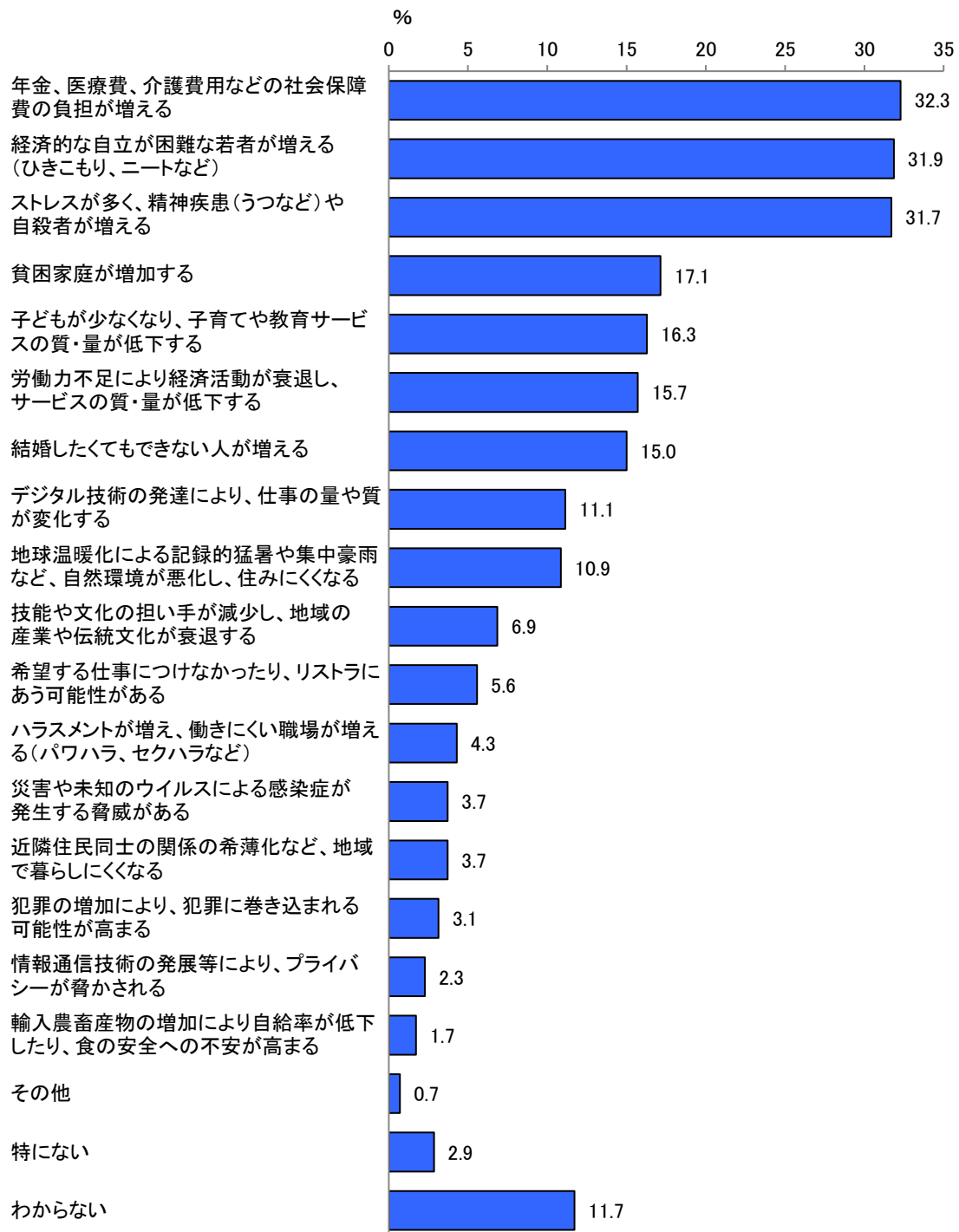
【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「希望が大きい (計)」は“持ちたい”で18.6%と高くなっている。一方、“いなくてもよい”では5.2%と低くなっている。

問 34 将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後に不安があるとすれば、どんなことだと思いますか。(回答は3つまで)

将来の社会を支える子ども達の10年後、20年後に対する不安は、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」が32.3%で最も高く、次いで「経済的な自立が困難な若者が増える(ひきこもり、ニートなど)」が31.9%、「ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える」が31.7%となっている。

n= 700



子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／性別、年齢別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）	ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える	貧困家庭が増加する	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【性別】						
男性	307	28.0	36.5	31.6	17.9	12.4
女性	390	35.4	27.9	31.8	16.4	19.2
【年齢別】						
20歳代	353	32.0	30.3	29.7	18.1	18.1
30歳代	347	32.6	33.4	33.7	16.1	14.4

(%)

	n	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる	技能や文化の担い手が減少し、地域の産業や伝統文化が衰退する
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【性別】						
男性	307	23.5	15.6	8.8	6.8	6.8
女性	390	9.5	14.4	13.1	14.1	6.9
【年齢別】						
20歳代	353	12.5	14.4	10.8	10.5	6.5
30歳代	347	19.0	15.6	11.5	11.2	7.2

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」が7.4ポイント、「地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる」が7.3ポイント、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」が6.8ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する」が14.0ポイント、「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」が8.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する」は30歳代で19.0%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／居住地別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）	ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える	貧困家庭が増加する	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【居住地別】						
中部地域	248	34.3	30.6	31.0	18.5	18.1
西部地域	204	30.4	35.3	29.4	17.6	13.7
吾妻地域	14	21.4	35.7	57.1	21.4	-
利根沼田地域	29	34.5	37.9	48.3	24.1	17.2
東部地域	205	32.2	28.8	30.7	13.7	17.6

(%)

	n	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる	技能や文化の担い手が減少し、地域の産業や伝統文化が衰退する
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【居住地別】						
中部地域	248	15.7	11.7	13.7	11.7	6.0
西部地域	204	16.2	20.6	10.3	9.3	8.3
吾妻地域	14	21.4	21.4	35.7	14.3	-
利根沼田地域	29	10.3	10.3	-	17.2	6.9
東部地域	205	15.6	13.7	8.8	10.2	6.8

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える」は利根沼田地域で48.3%と高く、「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」も利根沼田地域で37.9%と高くなっている。「結婚したくてもできない人が増える」は西部地域で20.6%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／職業別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える(ひきこもり、ニートなど)	ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える	貧困家庭が増加する	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【職業別】						
正規雇用者(正規)	409	34.5	33.3	29.3	16.9	15.9
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	31.9	30.3	42.0	18.5	17.6
自営業(家族従業員含む)	18	38.9	44.4	22.2	22.2	16.7
学生	56	32.1	23.2	21.4	14.3	26.8
無職・家事	90	22.2	32.2	35.6	16.7	11.1
その他	8	25.0	12.5	50.0	25.0	-

(%)

	n	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる	技能や文化の担い手が減少し、地域の産業や伝統文化が衰退する
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【職業別】						
正規雇用者(正規)	409	16.9	15.9	10.8	9.8	7.3
非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)	119	13.4	14.3	12.6	11.8	5.9
自営業(家族従業員含む)	18	27.8	33.3	11.1	-	5.6
学生	56	10.7	14.3	17.9	8.9	8.9
無職・家事	90	14.4	7.8	7.8	14.4	4.4
その他	8	12.5	25.0	-	50.0	12.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【職業別】

職業別でみると、「ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える」は非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等)で42.0%と高くなっている。「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」は学生で26.8%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／年収別）

(%)

	n	年金、医療費、 介護費用などの 社会保障費の 負担が増える	経済的な自立 が困難な若者 が増える（ひき こもり、ニートな ど）	ストレスが多く、 精神疾患（うつ など）や自殺者 が増える	貧困家庭が増 加する	子どもが少なく なり、子育てや 教育サービスの 質・量が低下す る
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【年収別】						
収入なし	67	22.4	23.9	28.4	19.4	16.4
200万円未満	206	28.6	30.6	36.9	15.0	16.0
200万円～300万円未満	163	38.7	31.3	32.5	17.8	15.3
300万円～400万円未満	131	34.4	30.5	26.7	21.4	16.8
400万円～500万円未満	75	33.3	38.7	32.0	17.3	14.7
500万円以上	58	32.8	41.4	25.9	10.3	20.7

(%)

	n	労働力不足によ り経済活動が衰 退し、サービス の質・量が低下 する	結婚したくても できない人が増 える	デジタル技術の 発達により、仕 事の量や質が 変化する	地球温暖化によ る記録的猛暑や 集中豪雨など、 自然環境が悪 化し、住みにく くなる	技能や文化の 担い手が減少 し、地域の産業 や伝統文化が 衰退する
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【年収別】						
収入なし	67	16.4	11.9	4.5	11.9	7.5
200万円未満	206	13.1	12.1	13.6	12.6	4.9
200万円～300万円未満	163	11.0	19.6	12.9	11.0	7.4
300万円～400万円未満	131	17.6	14.5	6.9	12.2	8.4
400万円～500万円未満	75	26.7	14.7	14.7	6.7	8.0
500万円以上	58	19.0	17.2	10.3	5.2	6.9

【年収別】

年収別でみると、「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」は500万円以上で41.4%、400万円～500万円未満で38.7%と高くなっている。「ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える」は200万円未満で36.9%と高くなっている。「労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する」は400万円～500万円未満で26.7と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／結婚しやすい社会か別）

(%)

	n	年金、医療費、 介護費用などの 社会保障費の負 担が増える	経済的な自立が 困難な若者が 増える（ひきこもり、 ニートなど）	ストレスが多く、 精神疾患（うつな ど）や自殺者が 増える	貧困家庭が増加 する	子どもが少なくな り、子育てや教 育サービスの 質・量が低下す る
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【結婚しやすい社会か】						
結婚しやすい社会	59	25.4	40.7	27.1	20.3	13.6
結婚しにくい社会	424	36.3	35.6	37.3	20.5	17.2
どちらともいえない	217	26.3	22.1	22.1	9.7	15.2

(%)

	n	労働力不足によ り経済活動が衰 退し、サービス の質・量が低下 する	結婚したくても できない人が増 える	デジタル技術の 発達により、仕 事の量や質が変 化する	地球温暖化によ る記録的猛暑や 集中豪雨など、 自然環境が悪化 し、住みにくく なる	技能や文化の担 い手が減少し、 地域の産業や伝 統文化が衰退す る
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【結婚しやすい社会か】						
結婚しやすい社会	59	8.5	18.6	16.9	8.5	3.4
結婚しにくい社会	424	18.2	18.4	11.6	11.8	7.1
どちらともいえない	217	12.9	7.4	8.8	9.7	7.4

【結婚しやすい社会か別】

結婚しやすい社会か別でみると、「ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える」は“結婚しにくい社会”で37.3%と高く、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」も“結婚しにくい社会”で36.3%と高くなっている。一方、「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」は“結婚しやすい社会”で40.7%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／将来の子どもの希望別）

(%)

	n	年金、医療費、 介護費用などの 社会保障費の 負担が増える	経済的な自立 が困難な若者 が増える（ひき こもり、ニートな ど）	ストレスが多く、 精神疾患（うつ など）や自殺者 が増える	貧困家庭が増 加する	子どもが少なく なり、子育てや 教育サービスの 質・量が低下す る
全体	700	32.3	31.9	31.7	17.1	16.3
【将来の子どもの希望別】						
持ちたい	307	31.3	31.9	32.2	16.9	21.2
いなくてもよい	267	37.8	34.8	33.3	18.0	12.7
わからない	126	23.0	25.4	27.0	15.9	11.9

(%)

	n	労働力不足によ り経済活動が衰 退し、サービス の質・量が低下 する	結婚したくても できない人が増 える	デジタル技術の 発達により、仕 事の量や質が 変化する	地球温暖化によ る記録的猛暑や 集中豪雨など、 自然環境が悪 化し、住みにく くなる	技能や文化の 担い手が減少 し、地域の産業 や伝統文化が 衰退する
全体	700	15.7	15.0	11.1	10.9	6.9
【将来の子どもの希望別】						
持ちたい	307	16.0	20.2	14.0	10.4	6.2
いなくてもよい	267	17.2	10.5	9.4	10.5	7.9
わからない	126	11.9	11.9	7.9	12.7	6.3

【将来の子どもの希望別】

将来の子どもの希望別でみると、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」は「いなくてもよい」で37.8%と高くなっている。一方、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」は「持ちたい」で21.2%と高く、「結婚したくてもできない人が増える」も「持ちたい」で20.2%と高くなっている。